

工事番号												(様式-1)
工 事 名	令和8年度 合葬墓2号基建設工事											金抜き設計書
施 工 箇 所	安曇野市 穂高墓地公園											
設 計 大 要						施 工 方 法			請 負			
■穂高墓地公園の合葬墓2号基建設工事一式 ・合葬墓2号基建設工事 計 22.17㎡ ・石板立て設置工事 計 5基 ・敷地北側駐車場整備工事 碎石舗装 A=1,189㎡ アスファルト舗装 (再生As13F t=4cm A=301.0㎡) ほか						施 工 期 間			日 間			
						契 約 年 月 日			令 和 年 月 日			
						竣 工 予 定 年 月 日			令 和 9 年 2 月 10 日			
						契 約 保 証 方 法			金 銭 的 保 証			
						・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合は除きます。						

総 括 表

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	令和8年度 合葬墓2号基建設工事						
I	直接工事費		1.00	式			
II	共通仮設費		1.00	式			
	純工事費						
III	現場管理費		1.00	式			
	工事原価						
IV	一般管理費		1.00	式			
	工事価格						
	消費税相当額	10%	1.00	式			
	工事費計						

総 括 表

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
I	直接工事費						
A	建築工事		1.00	式			
E	電気設備工事		1.00	式			
M	機械設備工事		1.00	式			
P	駐車場整備等工事		1.00	式			
	A-計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
II	共通仮設費						
	率 仮 設 費		1.00	式			
	< 率仮設 計 >						
	< 積上げ仮設 >						
	単管バリケード+ネット		105.00	m			
	A型バリケード		4.00	m			
	鉄板敷き	t=22 6ヶ月	248.00	m ²			
	交通誘導員B		15.00	人			
	< 積上げ仮設 計 >						
	II 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A	建築工事						
		(種目別内訳)					
1	建築本体工事		1.00	式			
2	外構工事		1.00	式			
3	場内撤去工事		1.00	式			
	A - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A-1	建築本体工事						
1	直接仮設工事		1.00	式			
2	土・地業工事		1.00	式			
3	鉄筋工事		1.00	式			
4	コンクリート工事		1.00	式			
5	型枠工事		1.00	式			
6	鉄骨工事		1.00	式			
7	防水工事		1.00	式			
8	石工事		1.00	式			
9	木工事		1.00	式			
10	屋根板金工事		1.00	式			
11	金属工事		1.00	式			
12	左官工事		1.00	式			
13	金属製建具工事		1.00	式			
14	吹付・塗装工事		1.00	式			
15	内外装工事		1.00	式			
	A - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	遣り方		39.30	建㎡			
	墨出し		30.50	延㎡			
	現寸型板		30.50	延㎡			
	外部足場 枠組本足場	H<10m W600 3ヶ月	114.00	架㎡			
	同上 最上部安全手摺		45.70	m			
	養生シート	メッシュシート	114.00	架㎡			
	外部足場	脚立足場	8.40	㎡			
	内部足場	脚立足場	22.20	㎡			
	養生費	躯体・仕上	30.50	延㎡			
	清掃片付け		30.50	延㎡			
	竣工時清掃		30.50	延㎡			
	1 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	土・地業工事						
	根切	機械	86.20	m ³			
	床付		84.90	m ²			
	埋戻し		37.00	m ³			
	残土処分	場外搬出（処分費別途）	49.20	m ³			
	残土処分	処分費	49.20	m ³			
	機械運搬費		1.00	往復			
	碎石地業	（再生材）基礎下	3.90	m ³			
	碎石地業	（再生材）土間下	5.50	m ³			
	土間下断熱	ポリスチレンフォームt50敷	27.50	m ²			
	2 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	鉄筋工事						
	異形鉄筋	D10 SD295	2.70	t			
	異形鉄筋	D13 SD295	0.70	t			
	異形鉄筋	D16 SD295	0.50	t			
	鉄筋加工組立費		3.90	t			
	鉄筋運搬費	4t車	3.90	t			
	スクラップ控除	4%×7割	-0.11	t			
	溶接金網敷き	6×100×100	12.50	m ²			
	3 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	コンクリート工事						
	捨てコンクリート	FC=18 S=15	2.30	m ³			
	基礎コンクリート	FC=30(24+3+3)N S=18	14.80	m ³			
	土間コンクリート	FC=30(24+3+3)N S=18	11.80	m ³			
	躯体コンクリート	FC=30(24+3+3)N S=18	20.60	m ³			
	コンクリート打設手間	捨てコン カート打ち	2.30	m ³			
	コンクリート打設手間	基礎コン ポンプ打設	14.80	m ³			
	コンクリート打設手間	土間コン ポンプ打設	11.80	m ³			
	コンクリート打設手間	躯体コン ポンプ打設	20.60	m ³			
	コンクリートポンプ圧送費		5.00	回			
	4 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	型枠工事						
	基礎 普通型枠		97.10	m ²			
	躯体 普通型枠		42.00	m ²			
	躯体 打放型枠		102.00	m ²			
	打放型枠R加工		10.10	m ²			
	型枠運搬費	4 t 車	241.00	m ²			
	面木	打放し部	76.40	m			
	5 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	鉄骨工事						
	L-50×50×6	SS400	196.00	kg			
	PL-16	SS400	130.00	kg			
	PL-9	SS400	12.00	kg			
	PL-6	SS400	145.00	kg			
	PL-4.5	SS400	49.00	kg			
	□-60×30×2.3	STKR400	139.00	kg			
	ショットブラスト処理	柱材	430.00	kg			
	工場加工費		671.00	kg			
	常温亜鉛メッキ塗装	ローバル 柱材	430.00	kg			
	錆止め塗装	K5674	241.00	kg			
	施工図・現寸費		1.00	式			
	運搬費		1.00	式			
	クレーン費		1.00	式			
	現場施工費		1.00	式			
	法定福利費		1.00	式			
	6 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	防水工事						
	外壁石張 目地シーリング	変成シリコン系 (2成分形)	243.00	m			
	建具廻りシーリング	変成シリコン系 (2成分形)	7.00	m			
	7 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	石工事						
	壁 花崗岩張り	G634本磨き t30 乾式工法	28.20	m ²			
	縦見切(役物) 花崗岩張り	G354本磨き t30×W80	17.50	m			
	横ボーダー 花崗岩張り	G354本磨き t30×H95	53.80	m			
	柱型壁 花崗岩張り	G634本磨き t30 乾式工法	10.00	m ²			
	柱型 横ボーダー 花崗岩張り	G354本磨き t30×H95	14.00	m			
	SW枠廻り 花崗岩張り	G634本磨き t30 H2150xW2300 三方枠 抱き石 W115共	1.00	ヶ所			
	向拝 床 花崗岩張り	G634JB仕上 t30	12.00	m ²			
	同上立下り H150 花崗岩張り	G634JB仕上 t30	12.00	m			
	向拝 スクリーン 花崗岩(黒系)	4方小口磨き 100x100xH1500	4.00	本			
	向拝 スクリーン 花崗岩(黒系)	4方小口磨き 200x100xH1500	2.00	本			
	向拝 スクリーン 花崗岩(黒系)	4方小口磨き 400x100xH1500	1.00	本			
	向拝 スクリーン 花崗岩(黒系)	4方小口磨き 60x100xH1500	2.00	本			
	花立 甲板 花崗岩	G634本磨き t40xW1070xL2100 r-3000 丸面取り共 花立SUS用開口2ヶ所共	1.00	ヶ所			
	花立 甲板 花崗岩	G354本磨き t60xW300xL2050 r-2970	1.00	ヶ所			
	花立 甲板下 花崗岩	G634本磨き H620xW2040xD320 r-2970(正面) 背面切欠き共	1.00	ヶ所			
	花立後方 壁 花崗岩	G634本磨き t30 乾式工法	1.20	m ²			
	香炉台	既製品	1.00	ヶ所			
	取付用モルタル材料	砂、セメント	14.00	m ³			
	リース費		1.00	式			

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	運搬費		1.00	式			
	諸経費		1.00	式			
	8 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	木工事						
	(サブ拝殿) 天井 羽目板	杉 上小節 本実 t12	10.70	m ²			
	同上 張り手間		9.30	m ²			
	天井下地組	材工	9.30	m ²			
	9 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10	屋根板金工事						
	<屋根仕様Ⅰ（主屋根）>						
	嵌合式立平葺 H25×W333	フッ素樹脂塗装鋼板 t0.4	56.80	㎡			
	下葺材	粘着層付ゴムアスファルトルーフィング t1.0	56.80	㎡			
	軒先水切・唐草	フッ素樹脂塗装鋼板 t0.4 補強下地共	29.50	m			
	鼻隠し破風巻き 2段	フッ素樹脂塗装鋼板 t0.4	29.50	m			
	鼻隠し破風巻き 2段	高圧木毛セメント板t18	29.50	m			
	角包み	フッ素樹脂塗装鋼板 t0.4 下地共	36.60	m			
	棟飾り	フッ素樹脂塗装鋼板 t0.4 下地共	1.00	ヶ所			
	<屋根仕様Ⅱ（サブ拝殿）>						
	嵌合式立平葺 H25×W333	フッ素樹脂塗装鋼板 t0.4	10.40	㎡			
	野地板	高圧木毛セメント板t18	10.40	㎡			
	下葺材	粘着層付ゴムアスファルトルーフィング t1.0	10.40	㎡			
	軒先水切・唐草	フッ素樹脂塗装鋼板 t0.4 曲げ加工	13.80	m			
	鼻隠し破風巻き 1段	フッ素樹脂塗装鋼板 t0.4	13.80	m			
	鼻隠し破風巻き 1段	高圧木毛セメント板t18	13.80	m			
	角包み	フッ素樹脂塗装鋼板 t0.4 下地共	8.70	m			

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	軒樋（正面拝礼側共）	タニハウジング / HAKO H6号同等品	10.00	m			
	落し口	タニハウジング / フラットレソ	2.00	ヶ所			
	豎樋	タニハウジング / ensui 概含む	2.00	ヶ所			
	運搬費		1.00	式			
	荷揚げ費		1.00	式			
	諸経費		1.00	式			
	法定福利費		1.00	式			
	10 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
11	金属工事						
	骨壺収納棚	SUS製 HL仕上					
		支柱:FB-4x40 受材:FB-4x25					
		棚材:□-9x25x1.5					
		仕切:□-9x30x1.5					
		前板:□-9x25x1.5					
		フック受材:FB-3x30					
		固定フック:SUS製 φ4					
	Aユニット	D300 W900 H2050 収納数 3個x5段 15個	14.00	ヶ所			
	Bユニット	D600 W600 H2050 収納数 4個x5段 20個	6.00	ヶ所			
	Cユニット	D600 W600 H2050 収納数 1個x5段 5個	2.00	ヶ所			
	献花台花飾り台	SUS製 HL仕上	2.00	ヶ所			
		器:t1.5 曲げ加工					
		400x400x300H 四周溶接目止め					
		落とし蓋(上蓋):400x400					
		SUS製蝶番開閉式					
		落とし蓋(下段蓋):350x350					
		持ち上げ脱着式					
		縦方向 FB-4x20 溝切込					
		横方向 FB-4x15 ｽﾟｯﾄ溶接					
		縦横共@50					
		オーバーフロー管用穴開加工共					

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	床点検ハッチ	開口サイズ 600x1200 蓋:アルミ製 縞鋼板t4 2分割	1.00	ヶ所			
		引き上げハンドル 4ヶ所 四周保護ガード`アルミL-50x50x6					
		四周枠:スチール L-50x50x6 常温亜鉛メッキ塗装0-バル2回塗					
		メーカー規格品にて 加納ウ:ARC 650x2枚割x4.5 補強付					
		アルミ製縞板t4.5 把手2個/蓋1枚 歩行荷重 アルミ枠共					
	床点検ハッチ	開口サイズ 300x300	2.00	ヶ所			
		蓋:アルミ製 縞鋼板t4 四周保護ガード`アルミL-50x50x6					
		四周枠:スチール L-50x50x6 常温亜鉛メッキ塗装0-バル2回塗					
		メーカー規格品にて 加納ウ:ARC 350x350x4.5 補強付					
		アルミ製縞板t4.5 把手2個/蓋1枚 歩行荷重 アルミ枠共					
	ステンレス製タラップ	φ19x400x300 滑り止め0-レット付	3.00	ヶ所			
	銘板	ステンレス切文字 75角 t5 焼付塗装 5文字「合葬墓 2号」持ち台固定	1.00	ヶ所			
	銘板	ステンレス切文字 75角 t5 焼付塗装 5文字「合葬墓 2号」持ち台固定に取付	1.00	ヶ所			
	運搬等諸経費		1.00	式			
	法定福利費		1.00	式			
	11 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
12	左官工事						
	床 コンクリート金ゴテ		14.10	m ²			
	床 モルタル金ゴテ	t30	22.20	m ²			
	屋根 モルタル金ゴテ	t30	56.80	m ²			
	コンクリート打放補修		97.60	m ²			
	12 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
13	金属製建具工事						
	SSD-1 両開きフラッシュドア	ステン製HL W1650xH1850	1.00	ヶ所			
	取付工事費		1.00	式			
	運搬養生費		1.00	式			
	作図・諸経費		1.00	式			
	法定福利費		1.00	式			
	13 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
14	吹付・塗装工事						
	軒裏 弾性複層塗膜樹脂塗装	ゆず肌仕上	34.40	m ²			
	素地ごしらえ	木部	9.30	m ²			
	木材保護塗料塗	2回塗	9.30	m ²			
	14 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
15	内外装工事						
	長尺床材	単層ビニル床シートTS	20.50	m ²			
	(サブ拝殿) 透水性天然石樹脂舗装	美州興産/アコア°イ°同等品	10.60	m ²			
	縁石	御影石 本磨き 100×150	14.60	m			
	15 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A-2	外構工事						
1	雨水排水工事		1.00	式			
2	アプローチ舗装工事		1.00	式			
3	銘盤掲示板設置工事		1.00	式			
4	水場設置工事		1.00	式			
5	既存拝殿場 床改修工事		1.00	式			
6	その他工事		1.00	式			
	A-2 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	雨水排水工事						
	雨水受 玉石敷き	t100程度 防草シート敷込共	12.60	m ²			
	雨水浸透柵	角柵 グレーチング 蓋	1.00	ヶ所			
	1 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	アプローチ舗装工事						
	鋤取り		17.20	m ³			
	床付		50.40	m ²			
	埋戻し		5.90	m ³			
	残土処理	場外搬出	11.30	m ³			
	残土処分	処分費	11.30	m ³			
	碎石地業	(再生材)土間下	5.00	m ²			
	溶接金網敷き	6×100×100	47.70	m ²			
	捨てコンクリート	FC=18 S=15	1.10	m ²			
	土間コンクリート	FC=21 S=18	7.20	m ²			
	コンクリート打設手間	捨てコン カート打ち	1.10	m ²			
	コンクリート打設手間	土間コン ポンプ打設	7.20	m ²			
	コンクリートポンプ圧送費		1.00	回			
	普通型枠		15.90	m ²			
	型枠運搬費	4 t 車	15.90	m ²			
	床 コンクリート金ゴテ		39.80	m ²			
	透水性天然石樹脂舗装	美州興産/アクアパイク 同等品	39.80	m ²			
	縁石	御影石 本磨き 100×150	53.00	m			
	浸透柵	角柵500 グレーチング 蓋	2.00	ヶ所			

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	銘盤掲示板設置工事	(5基)					
	根切	機械	19.20	m ³			
	床付		13.80	m ²			
	埋戻し		12.50	m ³			
	残土処理	場外搬出	6.70	m ³			
	残土処理	処分費	6.70	m ³			
	碎石地業	(再生材)基礎下	1.40	m ²			
	異形鉄筋	D13 SD295	0.30	t			
	異形鉄筋	D16 SD295	0.40	t			
	鉄筋加工組立費		0.70	t			
	鉄筋運搬費	4t車	0.70	t			
	スクラップ控除	4%×7割	-0.02	t			
	捨てコンクリート	FC=18 S=15	0.70	m ²			
	基礎コンクリート	FC=21 S=18	5.60	m ³			
	壁コンクリート	FC=21 S=18	3.00	m ³			
	コンクリート打設手間	捨てコン カート打ち	0.70	m ²			
	コンクリート打設手間	基礎コン ポンプ打設	5.60	m ³			
	コンクリート打設手間	壁コン ポンプ打設	3.00	m ³			
	コンクリートポンプ圧送費		2.00	回			
	基礎 普通型枠		18.40	m ²			

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	壁 普通型枠		33.80	m ²			
	型枠運搬費	4 t 車	52.20	m ²			
	コンクリート均し	金ゴテ	10.20	m ²			
	天端コンクリート直均し		10.70	m			
	芳名碑 花崗岩	G634本磨き t35接着張 D300xH1500xW2250 座彫り、ダボ穴加工共	5.00	ヶ所			
	芳名板 花崗岩(黒)	本磨き t9x75x150 (1300枚程度)	1,296.00	枚			
	銘板枠	SUS製 HL仕上 基盤:t1.0 曲げ加工 SUSダボピン固定	9.00	ヶ所			
		H165 D11 L2050 □-9x9x1.0上部通し					
		押え板:FB-2x20 SUSボルト固定 1列27名x6段 162名分					
	3 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	水場設置工事						
a	水場 (大)	(1ヶ所)	1.00	式			
b	水場 (小)	(1ヶ所)	1.00	式			
	4 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
a	水場（大）						
	根切	機械	1.10	m ³			
	床付		2.20	m ²			
	埋戻し		0.10	m ³			
	残土処理	場外搬出	1.00	m ³			
	残土処理	処分費	1.00	m ³			
	碎石地業		0.30	m ²			
	異形鉄筋	D10 SD295	34.30	kg			
	異形鉄筋	D13 SD295	21.20	kg			
	鉄筋加工組立費		55.50	kg			
	鉄筋運搬費	4t車	55.50	kg			
	コンクリート	FC=21 S=18	1.10	m ³			
	コンクリート打設手間	ポンプ打設	1.10	m ³			
	コンクリートポンプ圧送費		2.00	回			
	普通型枠		7.70	m ²			
	型枠運搬費	4 t 車	7.70	m ²			
	コンクリート面直均し	木ゴテ	1.60	m ²			
	モルタル塗り	木ゴテ タイル下地	8.70	m ²			
	磁器質タイル張	50角	8.70	m ²			
	会所柵（浸透式）設置	グレーチング 蓋共	1.00	ヶ所			

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	a-計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b	水場 (小)						
	根切	機械	0.70	m ³			
	床付		1.00	m ²			
	埋戻し		0.10	m ³			
	残土処理	場外搬出	0.60	m ³			
	残土処理	処分費	0.60	m ³			
	碎石地業		0.10	m ²			
	異形鉄筋	D10 SD295	6.10	kg			
	異形鉄筋	D13 SD295	9.70	kg			
	鉄筋加工組立費		15.80	kg			
	鉄筋運搬費	4t車	15.80	kg			
	コンクリート	FC=21 S=18	0.20	m ³			
	コンクリート打設手間	ポンプ打設	0.20	m ³			
	コンクリートポンプ圧送費			回			
	普通型枠		2.90	m ²			
	型枠運搬費	4 t 車	2.90	m ²			
	コンクリート面直均し	木ゴテ	0.60	m ²			
	モルタル塗り	木ゴテ タイル下地	3.40	m ²			
	磁器質タイル張		3.40	m ²			
	会所柵 (浸透式) 設置	グレーチング 蓋共	1.00	ヶ所			

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	既存拝殿場 床改修工事						
	鋤取り		1.40	m ³			
	床付		7.20	m ²			
	残土処理	場外搬出	1.40	m ³			
	残土処理	処分費	1.40	m ³			
	碎石地業	(再生材) 土間下	0.70	m ³			
	溶接金網敷き	6×100×100	7.20	m ²			
	土間コンクリート	FC=21 S=18	1.10	m ³			
	コンクリート打設手間	土間コン ポンプ打設	1.10	m ³			
	コンクリートポンプ圧送費			回			
	普通型枠		1.70	m ²			
	型枠運搬費	4 t 車	1.70	m ²			
	床 コンクリート金ゴテ		7.20	m ²			
	透水性天然石樹脂舗装	美州興産/アキア°イ° 同等品	7.20	m ²			
	(既存土間撤去	場内撤去工事による)					
	5 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	その他工事						
	手桶棚 本体	アルミニウム製 既製品	1.00	基			
	同上 基礎工事		1.00	式			
	6 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A-3	場内撤去工事						
1	伐倒・搬出		1.00	式			
2	伐根・搬出		1.00	式			
3	歩道縁石、東端杭 撤去・搬出		1.00	式			
4	土間スラブ、水呑み場 解体・搬出		1.00	式			
5	撤去材処理費		1.00	式			
6	機械運搬費		1.00	式			
	法定福利費		1.00	式			
	A-3 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	伐倒・搬出	(撤去範囲は図面記載)					
	撤去・運搬費	手間のみ	1.00	式			
	3トクラスZフォーク	保証料、燃料費等を含む	3.00	台・日			
	3トン深アオリダンプ	保証料、燃料費等を含む	2.00	台・日			
	チェーンソー損料、燃料費		3.00	台・日			
	1 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	伐根・搬出						
	撤去・運搬費	手間のみ	1.00	式			
	0.25m ³ クラスバックフォア	保証料、燃料費等を含む	3.00	台・日			
	3トンクラスZフォーク	保証料、燃料費等を含む	3.00	台・日			
	3トン深アオリダンプ	保証料、燃料費等を含む	3.00	台・日			
	2 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	歩道縁石、東端杭 撤去・搬出						
	撤去・運搬費	手間のみ	1.00	式			
	3トクラスZフォーク	保証料、燃料費等を含む	4.00	台・日			
	3トン深アオリダンプ	保証料、燃料費等を含む	3.00	台・日			
	3 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	土間スラブ、水呑み場 解体・搬出						
	撤去・運搬費	手間のみ	1.00	式			
	2トンクラスブレーカー	保証料、燃料費等を含む	3.00	台・日			
	3トンクラスZフォーク	保証料、燃料費等を含む	2.00	台・日			
	3トン深アオリダンプ	保証料、燃料費等を含む	2.00	台・日			
	4 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	撤去材処理費						
	幹売却費		8.30	t			
	枝葉処理費	現存木	1.70	t			
	枝葉処理費	過去残材	8.00	t			
	根株処理費	現存木を含む	28.40	t			
	コンクリートガラ処理費		36.80	t			
	5 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	機械運搬費						
	Zフォーク回送費		2.00	回			
	バックフォーク回送費		2.00	回			
	ブレーカー回送費		2.00	回			
	6 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
E	電気設備工事						
1	幹線設備		1.0	式			
2	電灯設備		1.0	式			
	E. 合計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	幹線設備						
	波付硬質ポリエチレン管	FEP30 地中	68.5	m			
	ケーブル	EM-CE5.5-2C FEP内	68.5	m			
	ハンドホール	H1-6 R2K-60	2.0	基			
	埋設標識シート	W=150 2倍	67.5	m			
	地中埋設標	コンクリート製	7.0	個			
	根伐り	機械1.3m ³	27.3	m ³			
	埋戻し	機械1.3m ³	19.1	m ³			
	クッション砂		6.8	m ³			
	碎石地業	0-25	0.4	m ³			
	残土処理	場内敷き均し	8.2	m ³			
	1. 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	電灯設備						
	電線管	PF16 コンクリート打込み	38.4	m			
	電線	EM-IE1.6 PF内	98.0	m			
	電線	EM-IE2.0 PF内	13.4	m			
	位置ボックス	樹脂製OB102×44C付	6.0	個			
	位置ボックス	樹脂製OB119×54C付	1.0	個			
	位置ボックス	樹脂製CB102×54C付	5.0	個			
	カバープレート	新金2連用	1.0	個			
	埋込スイッチ	1P15A×2NHL新金P共	1.0	個			
	手元開閉器	ELB2P20A PEB60E相当品	1.0	面			
	タイムスイッチ	24時間式 TB311K相当品	1.0	個			
	人感センサー	屋外壁付用8A WTK3481相当品	1.0	個			
	換気扇	ハ°イ°ファン V-12PED7相当品	1.0	台			
	給気グリル	φ150 P-18GLC4相当品	1.0	個			
	丸形フード	SUS防虫網付 P-18FSQ5相当品	1.0	個			
	照明器具 A	シーリングライト100形NNN54540B相当品	4.0	台			
	照明器具 B	直付トラフ20形XLW212NENZLE9相当品	3.0	台			
	接地工事	D種	1.0	ヶ所			
	2. 小計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
M	機械設備工事						
1	水飲み器（小）配管工事		1.00	式			
2	水飲み器（大）配管工事		1.00	式			
3	既設水飲み器給水管閉栓工事		1.00	式			
4	花飾り台排水配管工事		1.00	式			
5	給水申請・竣工申請手続き費		1.00	式			
6	給水管試掘土工事		1.00	式			
	M - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	水飲み器（小）配管工事						
a	既設給水管－不凍栓迄		1.00	式			
b	水飲み器給水配管		1.00	式			
c	機器取付費		1.00	式			
d	土工費		1.00	式			
	1 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
a	既設給水管－不凍栓迄						
	水道用耐衝撃性硬質 ポリ塩化ビニル管布設工	HIVP25	1.00	m			
	水道用耐衝撃性硬質 ポリ塩化ビニル管布設工	HIVP20	9.00	m			
	既設管分岐工	VP25	1.00	ヶ所			
	HI-LA-ソケット	25A	1.00	個			
	LA-S接合工	25A	2.00	口			
	不凍栓取付工	φ20-0.6m	1.00	個			
	不凍栓ボックス据付工	材工共	1.00	ヶ所			
	a-計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b	水飲み器給水配管						
	水道用硬質塩化ビニル ライニング鋼管布設工	SGP-VD20	1.00	m			
	水道用硬質塩化ビニル ライニング鋼管布設工	SGP-VB20	1.50	m			
	水道用硬質塩化ビニル ライニング鋼管布設工	SGP-VB15	0.10	m			
	配管防食	20A	1.00	m			
	b-計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
c	機器取付費						
	横水栓	参考:TOTO T28AUNH13	1.00	個			
	水栓類取付	φ13	1.00	個			
	c-計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
d	土工費						
	管路掘削工		5.60	m ³			
	管路埋戻工	良質土	1.40	m ³			
	管路埋戻工	洗砂	5.60	m ³			
	d-計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	水飲み器（大）配管工事						
a	既設給水管－不凍栓迄		1.00	式			
b	水飲み器給水配管		1.00	式			
c	機器取付費		1.00	式			
d	土工費		1.00	式			
	2 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
a	既設給水管-不凍栓迄						
	水道用ポリエチレン 二層管布設工	PEP20	6.00	m			
	配管分岐	PEP13	1.00	ヶ所			
	不凍栓取付工	φ20-0.6m	1.00	個			
	不凍栓ボックス据付工	材工共	1.00	ヶ所			
	a-計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b	水飲み器給水配管						
	水道用硬質塩化ビニル ライニング鋼管布設工	SGP-VD20	1.50	m			
	水道用硬質塩化ビニル ライニング鋼管布設工	SGP-VB20	3.00	m			
	水道用硬質塩化ビニル ライニング鋼管布設工	SGP-VB15	0.10	m			
	配管防食	20A	3.00	m			
	b-計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
c	機器取付費						
	横水栓	参考:TOTO T28AUNH13	3.00	個			
	水栓類取付	φ13	3.00	個			
	c-計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
d	土工費						
	管路掘削工		3.90	m ³			
	管路埋戻工	良質土	1.00	m ³			
	管路埋戻工	洗砂	3.90	m ³			
	d-計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	既設水飲み器給水管閉栓工事						
a	配管工費		1.00	式			
b	土工費		1.00	式			
	3 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
a	配管工費						
	ポリエチレン管布設工	PEP13	1.00	m			
	水道用ポリエチレン管金属継手	PEP13	2.00	個			
	既設ポリエチレン管切断工	PEP13	2.00	口			
	ポリエチレン管切断工	PEP13	1.00	口			
	ポリエチレン管据付工	PEP13	1.00	m			
	ポリエチレン管継手工	PEP13	4.00	口			
	a-計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b	土工費						
	管路掘削工		1.40	m ³			
	管路埋戻工	良質土	0.35	m ³			
	管路埋戻工	洗砂	1.40	m ³			
	b-計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	花飾り台排水配管工事						
	塩化ビニル管布設工	VP50	2.00	m			
	塩化ビニル管布設工	VP75	3.50	m			
	ステンレス排水目皿	参考:ミヤコ M19WST 50	2.00	個			
	排水金物取付工	φ50	2.00	個			
	4 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	給水申請・竣工申請手続き費						
	給水申請・竣工申請手続き費	官庁申請費含む	1.00	式			
	5 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	給水管試掘土工事						
	管路掘削工		20.00	m ³			
	管路埋戻工	洗砂	20.00	m ³			
	6 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
P	駐車場整備等工事						
1	駐車場整備工事		1.00	式			
2	駐車場乗入れスロープ並び付帯工事		1.00	式			
	P - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	駐車場整備工事						
a	舗装工		1.00	式			
b	区画口ーブ設置		1.00	式			
	法定福利費		1.00	式			
	1 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
a	舗装工						
	不陸調整	補足材なし	908.00	m ²			
	下層路盤工	RC-40 t=10cm	1,189.00	m ²			
	上層路盤工	M-25 t=10cm	1,189.00	m ²			
	a-計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b	区画ロープ設置						
	トラロープ設置	トラロープφ12mm	255.00	m			
	トラロープ設置	ロープ止め釘 φ8mm*230mm	153.00	本			
	b-計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	駐車場乗入れスロープ並び付帯工事						
a	道路土工		1.00	式			
b	植生工		1.00	式			
c	取壊し工		1.00	式			
d	排水工		1.00	式			
e	集水柵工		1.00	式			
f	浸透柵工		1.00	式			
g	床版蓋設置工		1.00	式			
h	安全施設工		1.00	式			
i	舗装工		1.00	式			
	法定福利費		1.00	式			
	2 - 計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
a	道路土工						
	機械掘削		240.00	m ³			
	機械床堀		10.00	m ³			
	路床盛土	W>4.0m (発生土)	270.00	m ³			
	機械埋戻	(発生土) W<1.0	3.00	m ³			
	残土運搬	L=1.1km (1.5km)	90.00	m ³			
	残土処分		90.00	m ³			
	不足土運搬	運搬距離1.1km	20.00	m ³			
	不足土購入		20.00	m ³			
	切土法面整形		10.00	m ²			
	盛土法面整形		40.00	m ²			
	基面整正		30.00	m ²			
	a-計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b	植生工						
	種子吹付工		40.00	m ²			
	b-計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
c	取壊し工						
	舗装版切断工	t=15cm以下	5.00	m			
	舗装版破碎		88.00	m ²			
	廃材運搬	AS塊 L=1.1km	4.00	m ³			
	廃材処分費	AS塊	8.00	t			
	擬木支柱撤去積込	二次製品	15.00	本			
	廃材運搬	二次製品 L=1.1km	0.10	m ³			
	廃材処分費	二次製品	0.40	t			
	無筋CON取壊し		0.30	m ³			
	廃材運搬	無筋CON L=1.1km	0.30	m ³			
	廃材処分費	無筋CON	0.70	t			
	木くず撤去積込		4.00	m ³			
	廃材運搬	木くず L=7.3km	4.00	m ³			
	廃材処分費	木くず (幹)	3.00	t			
	なまし鉄線撤去	丸太柵 #12	13.00	m			
	縞鋼板撤去	t=3.2mm 26kg	1.00	枚			
	チェーン撤去	擬木支柱	20.00	m			
	廃材運搬	スクラップ L=8.5km	0.04	t			
	廃材処分費	スクラップ	0.04	t			

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
d	排水工						
	自由勾配側溝工	300*300	10.00	m			
	自由勾配側溝工	300*400	8.00	m			
	横断用自由勾配側溝工	300*300	6.00	m			
	グレーチング蓋	300型 L=1.0	3.00	枚			
	横断用グレーチング蓋	300型 ねじ固定 L=1.0	3.00	枚			
	コンクリート蓋	300型 L=0.5	12.00	枚			
	インバートコンクリート工	18-8-25BB	0.20	m ³			
	小口止工	1型	1.00	ヶ所			
	小口止工	2型	1.00	ヶ所			
	SGP管布設工	φ150mm	13.00	m			
	溶接継手	φ150mm	1.00	ヶ所			
	鋼管切断	φ150mm	3.00	口			
	削孔	φ180	3.00	ヶ所			
	巻き立てコンクリート		3.00	ヶ所			
	d-計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
e	集水柵工						
	NO.1号集水柵	B500*H500*L500	1.00	ヶ所			
	NO.2号集水柵	B500*H500*L500	1.00	ヶ所			
	1号グレーチング	500*500用 受枠込 T-14	1.00	組			
	1号グレーチング	500*500用 受枠込 T-14	1.00	組			
	自由勾配側溝（接続柵）	B300H300	1.00	基			
	柵グレーチング	400*400用	1.00	組			
	自由勾配側溝（接続柵）	B300H400	1.00	基			
	柵グレーチング	400*400用	1.00	組			
	e-計						

内 訳 書

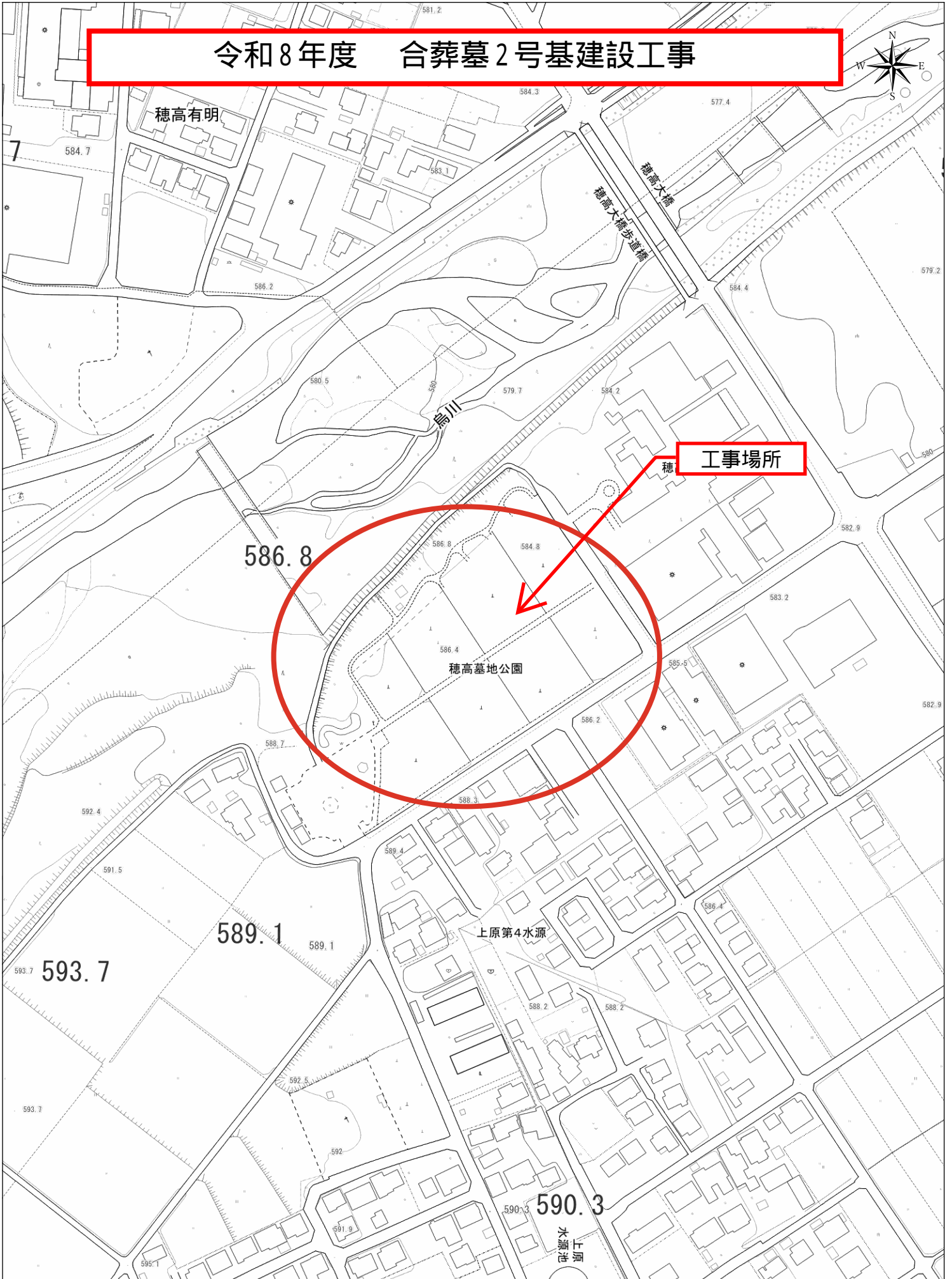
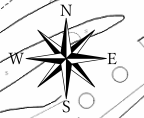
NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
f	浸透柵工						
	マンホール蓋	T-25 格子鉄蓋 (細目)	1.00	組			
	調整モルタル	1 : 3	0.01	m ³			
	浸透柵上部	1200*H770	1.00	基			
	浸透柵本体	1200*H1000	1.00	基			
	底板	1200*t150	1.00	基			
	樹脂巻き立てステップ		4.00	本			
	透水シート		17.00	m ²			
	単粒度碎石	4号又は5号	4.00	m ³			
	砂		0.20	m ³			
	管口フィルター	φ150	1.00	個			
	f-計						

内 訳 書

NO.	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
h	安全施設工						
	車両用防護柵	ガードレール Gr-C-4E 景観色:ダークブラウン	21.00	m			
	区画線設置	外側線 白 W=150	81.00	m			
	h-計						

位置図

令和8年度 合葬墓2号基建設工事



0 20 40 60m
1:2500

現場説明書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

1. 件名 (工事名称)

令和8年度 合葬墓2号基建設工事

2. 工事場所： 安曇野市 穂高墓地公園

3. 工事概要：

- ・穂高墓地公園の合葬墓2号基建設工事 計 22.17 m²
- ・石板立て設置工事 計 5基
- ・敷地北側駐車場整備工事
 - 砕石舗装 A=1,189 m²
 - アスファルト舗装 再生As13F t=4cm A=301.0 m² ほか

4. 工期 契約日 から 令和9年2月10日まで

5. 一般事項について

(1)現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書(案)及び現場説明書(以下「設計図書等」という。))によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2)設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話(ただし、指定の問い合わせ先は除く。)等は一切認めない。

(3)工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

(4)工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

6. 本工事における特記事項

(1)工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

(2)排水への対応

本工事施工に伴う排水は、沈殿処理・Ph 管理等の各法令を守り、自然環境等へ悪影響を及ぼすことのないよう適正に処理し、特に指示のある場合を除き近傍の公共

用水域又は排水路等に排水する。また、排水路等は、常に適切な維持管理を行い、従前の機能を損なわないようにすること。ただし、周辺水路についての排水は、管理者と協議のうえ、同意を得ること。

- (3) 工事着手前に事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。
- (4) 夜間、早朝及び休日での施工を実施する場合は監理者・監督員と打合せを行い、監理者・監督員の承諾を得たのちに、必要な場合は近隣への事前通達のうえ施工すること。
- (5) 墓地公園来園者及び周辺住民の安全に十分配慮すること。
- (6) 感染症対策は十分に講じること。
- (7) 各官公庁手続きについて、事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。
- (8) 残土関係
本工の施工において生じる発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費運搬費を計上している。
なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。

○建設発生土

受入れ場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項
共和興行	指定	1.3m	

距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。

- (9) 合葬墓・石板立てに使用する石材は事前に納期を確認し早期で発注すること。
- (10) 本工事は、「安曇野市週休2日工事実施要領」の通期の週休2日工事の対象である。

7. 本工事に関連する別途発注工事の予定

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

・本工事に近接・競合する工事の予定

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。

8. 安全対策関係

①交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

②安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときは設計変更の対象とする。

9. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

10. その他

火災保険等への加入期間は、請負契約後から契約工期末日後 14 日までとする。

特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明事項・施工条件明示事項に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

- (1) 公共事業労務費調査等
- (2) 資材調査、建設副産物実態調査等

3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

- (1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。
- (2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

- ① 工事受注時契約締結後10日以内
- ② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内
- ③ 工事完成時工事完成後10日以内

6. 施工体制台帳に係る書類について

- (1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。
- (2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。
- (3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

- ・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約

- ・クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合
- ・クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- (1) 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- (2) 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- (3) エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- (4) 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときには、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。

(3)足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省 基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めると。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12. 過積載の禁止

(1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」いう。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

(2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

13. ~~セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

- ~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~
- ~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~
- ~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基~~

~~準を超えないことを確認する。~~

14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

(1) 石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。

○報告書の記載内容

①アスベスト材料の種別

②アスベスト形状、飛散可能性の有無

③製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

(2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

15. 建設業退職金制度について

(1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。

(2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。

(3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

(1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。

(2) 工事受注者は、工事中資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。

(3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、I類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。

ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議する。

19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

○添付書類

- ・ 工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）
- ・ 工事打合わせ記録簿（当月分）
- ・ 工事写真（工事の進捗状況がわかるものを数枚）

20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

①完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用することができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。

②以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りではない。

イ. 完成写真を公表すること。

ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複製させ、又は譲渡すること。

23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

24. 工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知について

落札者（随意契約の場合にあっては、契約の相手方）は、建設業法（昭和24年法律第100号第20条の2第2項に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定（随意契約の場合にあっては、契約の相手方の決定）から請負契約を締結するまでに、契約を担当する者に対して、その旨を当該事業の状況の把握のため必要な情報を合わせて通知すること。

25. 設計変更による工事費について

設計変更に伴い算出する変更請負額は、次式により算出する。

$$[\text{変更請負額}] = \{[\text{変更設計工事価格}] \times [\text{当初請負比率}]\} \times 1.1 + [\text{消費税相当額}]$$

当初請負比率：[当初請負代金額から消費税等相当額を減じた額] / [当初設計額の工事価格]

※1 有効桁上位4桁、5桁目以降及び一千万円未満の場合は一万円単位となるよう切り捨て

令和8年4月1日適用版


<p>8 コンクリートブロック ALCパネル 押出成形セメント板 工事</p> <p>1. 建築用 コンクリートブロック</p> <p>2. ALCパネル</p> <p>3. 押出成形セメント板 (ECP)</p>	<p>④床及び階段の石張り</p> <p>11 タイル工事</p> <p>①陶磁器質タイル</p> <p>②珪り付け用材料</p> <p>③壁タイル張りの工法</p> <p>4 陶磁器質タイル 型枠先付け工法</p>	<p>14 金属工事</p> <p>①スチールの表面仕上げ</p> <p>2. 7mm及び6mm合金の表面処理</p> <p>3. 鉄の亜鉛めっき</p> <p>4. 軽量鉄骨天井下地</p> <p>5. 金属成形板張り</p> <p>6. 7mm合金鋼板</p> <p>7. 手すり及びタラップ</p>	<p>16 建具工事</p> <p>1. 見本の製作等</p> <p>2. 防犯建物部品</p> <p>3. 7mm合金建具</p> <p>4. 網戸</p> <p>5. 網張建具</p> <p>6. 鋼製軽建具</p> <p>①スチール建具</p> <p>8. 木製建具</p> <p>②建具用金物</p> <p>10. 自動ドア開閉装置</p> <p>11. 自閉式上吊り引装置</p> <p>12. 重量シャッター</p> <p>13. 軽量シャッター</p> <p>14. ガラスドア</p>
<p>9 防水工事</p> <p>1. アスファルト 防水</p> <p>2. 改質アスファルト シート 防水</p> <p>3. 合成高分子系 ルビングシート 防水</p> <p>4. 塗膜防水</p>	<p>12 木工事</p> <p>1. 木材の品質</p> <p>2. 樹種</p> <p>3. 集材材等</p> <p>4. 接着剤</p> <p>5. 防蟻・防蟻処理</p> <p>6. 防虫処理</p> <p>7. 床板張り</p> <p>8. 建築材料</p>	<p>15 左官工事</p> <p>①モルタル塗り材料</p> <p>②床コンクリートの直打ち 仕上げ</p> <p>3. 仕上げ塗料仕上げ</p>	<p>②スチール建具</p> <p>10. 自動ドア開閉装置</p> <p>11. 自閉式上吊り引装置</p> <p>12. 重量シャッター</p> <p>13. 軽量シャッター</p> <p>14. ガラスドア</p>
<p>10 石工事</p> <p>①天然石張り</p> <p>2. テラゾ張り</p> <p>③壁の石張り工法</p>	<p>13 屋根及びとい工事</p> <p>①長尺金属板葺き</p> <p>2. 折板葺</p> <p>(1及び2についての保証)</p> <p>②とい</p>	<p>4. 珪藻土</p>	<p>13. 軽量シャッター</p> <p>14. ガラスドア</p> <p>検印欄</p> <p>安曇野市 総務部 財産管理課</p> <p>工事名 令和8年度 合葬墓2号基建設工事</p> <p>年月日 2026. 3.</p> <p>図面名称 特記仕様書(2)</p> <p>図面番号 A-02</p>

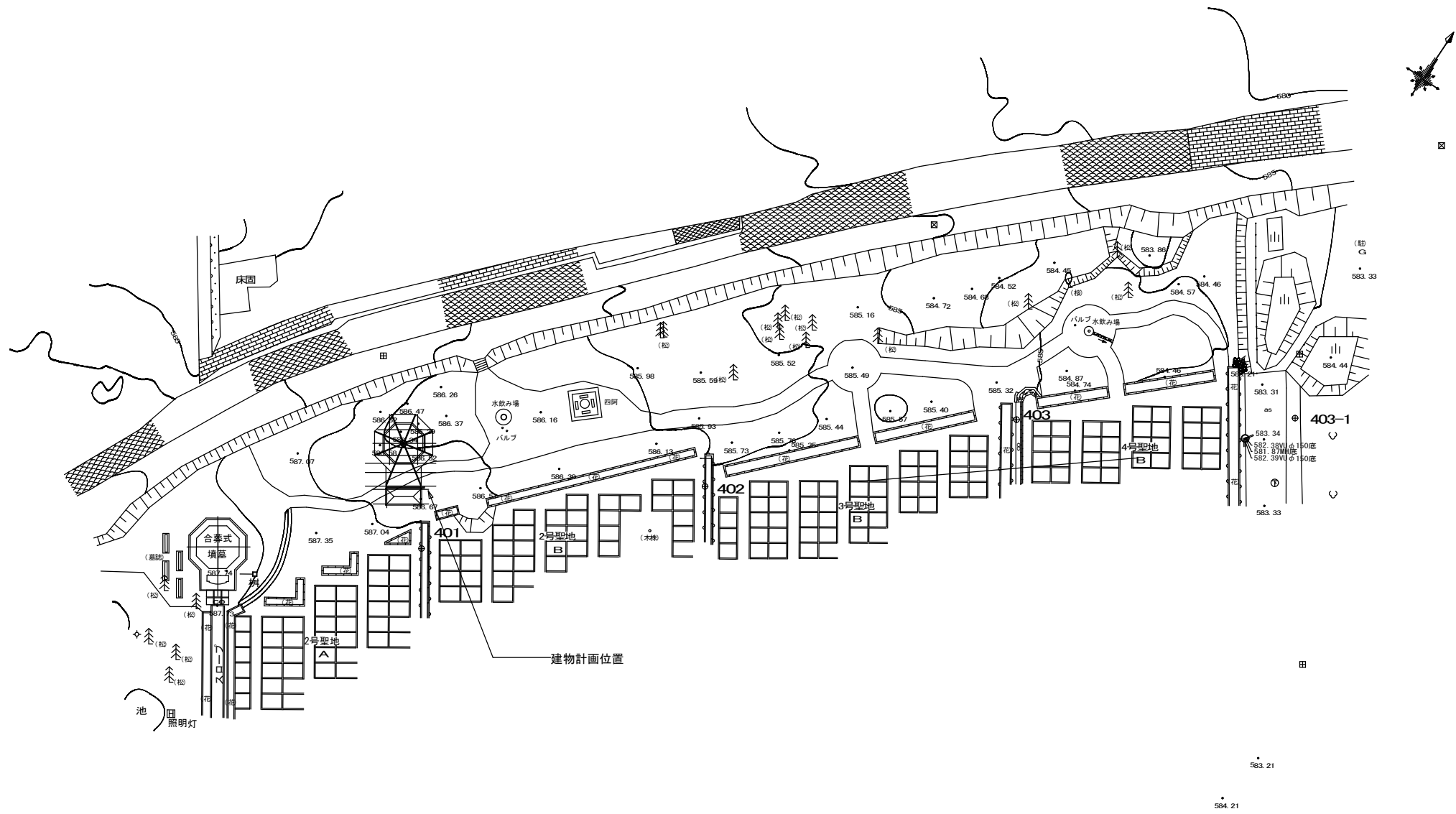
20	ユニット及びその他工事 10. 煙突パイプ	・煙突用成形パイプ材 (20.2.11) 最高使用温度 ・400℃ ・650℃ ・パイプ/耐火材 (20.2.11) 工法 ※にて押さえ 最高使用温度 ※400℃																											
11.	ブラインド (20.2.12)	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラットの幅 (mm)</th> </tr> <tr> <td>※横型</td> <td>※平ア式 ・コード式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・縦型</td> <td>・1本操作コード ※2本操作コード</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> </tr> </table>	形式	種類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)	※横型	※平ア式 ・コード式	※アルミニウム合金製	※25	・縦型	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100															
形式	種類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)																										
※横型	※平ア式 ・コード式	※アルミニウム合金製	※25																										
・縦型	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100																										
12.	ロールスクリーン (20.2.13)	<table border="1"> <tr> <th>防炎性能</th> <th>※有り</th> <th>・無し</th> </tr> <tr> <th>操作方式</th> <th>幅 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>材種</th> <th>品質</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	防炎性能	※有り	・無し	操作方式	幅 (mm)	高さ (mm)	材種	品質	備考																		
防炎性能	※有り	・無し																											
操作方式	幅 (mm)	高さ (mm)	材種	品質	備考																								
13.	カーテン (20.2.14)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>設置</th> <th>ひだの種類</th> <th>性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>片引 引分</td> <td>電動 手引</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	形式	設置	ひだの種類	性能	備考		片引 引分	電動 手引																		
施工箇所	形式	設置	ひだの種類	性能	備考																								
	片引 引分	電動 手引																											
14.	カーテンレール (20.2.14)	材種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 形式 ・片引き ・引分け (※幅幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする)																											
15.	ブラインドボックス 及びカーテンボックス	・市販品 (アルミニウム製 押し出し型材) 溝幅×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 色彩 ※B-1 ・B-2 (※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) ・図示																											
16.	耐震スリット	<table border="1"> <tr> <th>方向</th> <th>タイプ</th> <th>耐火性能</th> <th>防水性能</th> </tr> <tr> <td>・垂直方向</td> <td>※完全 (全貫通型) スリット</td> <td>・耐火型</td> <td>・有り</td> </tr> <tr> <td>・水平方向</td> <td></td> <td>・非耐火型</td> <td>・無し</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>目地</th> <th>内壁 (幅×深さ)</th> <th>外壁 (幅×深さ)</th> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td>シーリング材 (見え掛かりのみ)</td> <td>シーリング材 (内外とも)</td> </tr> <tr> <td>目地寸法 (mm)</td> <td>※2.0×1.0</td> <td>※2.0×1.0</td> </tr> </table>	方向	タイプ	耐火性能	防水性能	・垂直方向	※完全 (全貫通型) スリット	・耐火型	・有り	・水平方向		・非耐火型	・無し	目地	内壁 (幅×深さ)	外壁 (幅×深さ)	目地材	シーリング材 (見え掛かりのみ)	シーリング材 (内外とも)	目地寸法 (mm)	※2.0×1.0	※2.0×1.0						
方向	タイプ	耐火性能	防水性能																										
・垂直方向	※完全 (全貫通型) スリット	・耐火型	・有り																										
・水平方向		・非耐火型	・無し																										
目地	内壁 (幅×深さ)	外壁 (幅×深さ)																											
目地材	シーリング材 (見え掛かりのみ)	シーリング材 (内外とも)																											
目地寸法 (mm)	※2.0×1.0	※2.0×1.0																											
17.	止水板	形状 ・差込式 ・掘固式 ・壁掘り式 寸法																											
18.	天井点検口	材質 ・アルミニウム製 (※樹脂タイプ ・目地タイプ)																											
19.	床点検口	材質 アルミニウム製 受け枠(3)アルミ製 ・ステンレス製																											
20.	鋼製書架及び物品棚	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>・鋼製書架</td> <td>JISS 1039の規格による</td> <td>・1種 ・2種 ・3種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・4種 ・5種 ・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	JISによる種類	・鋼製書架	JISS 1039の規格による	・1種 ・2種 ・3種	・鋼製物品棚		・4種 ・5種 ・6種																		
種類	規格等	JISによる種類																											
・鋼製書架	JISS 1039の規格による	・1種 ・2種 ・3種																											
・鋼製物品棚		・4種 ・5種 ・6種																											
21.	錠箱	市販品 形式 ・30組用 ・60組用 ・120組用																											
22.	転るきマット	市販品 材質 ・塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミニウム製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)																											
23.	話し台ユニット	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (L=mm)</th> <th>適用内容</th> <th>規格・品質等</th> </tr> <tr> <td>・話し台</td> <td>※1200 ・1500 ・1800</td> <td>トランプ付き</td> <td>※優良住宅部品 (特) (特付1型)</td> </tr> <tr> <td>・コソ口台</td> <td>※800 ・700</td> <td>ボックガード ※有り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・つり戸棚</td> <td>※1200 ・900 ・600</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水切り棚</td> <td>※1200 ・900</td> <td>対パ製 ※1段式</td> <td>※市販品</td> </tr> </table>	種類	寸法 (L=mm)	適用内容	規格・品質等	・話し台	※1200 ・1500 ・1800	トランプ付き	※優良住宅部品 (特) (特付1型)	・コソ口台	※800 ・700	ボックガード ※有り		・つり戸棚	※1200 ・900 ・600			・水切り棚	※1200 ・900	対パ製 ※1段式	※市販品							
種類	寸法 (L=mm)	適用内容	規格・品質等																										
・話し台	※1200 ・1500 ・1800	トランプ付き	※優良住宅部品 (特) (特付1型)																										
・コソ口台	※800 ・700	ボックガード ※有り																											
・つり戸棚	※1200 ・900 ・600																												
・水切り棚	※1200 ・900	対パ製 ※1段式	※市販品																										
24.	屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩化ビニルシート張り																											
25.	洗面カウンター	材種 ・メラミン樹脂化粧板張り (芯材:集成材) ・人工大理石 (品質 ※図示) 奥行き (mm) ・約450 ・約600																											
26.	防煙垂れ壁	・固定式 <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※網入り腐板ガラス</td> <td>※6.8</td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> <tr> <td>・網入り腐板ガラス</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>可動式</th> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直降下式 (巻取り型)</td> <td>※不燃布 (不燃認定品)</td> <td></td> <td>※800 ・800</td> <td>ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井埋込型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td></td> <td>※800 ・800</td> <td>表面仕上げ ※天井材張り</td> </tr> </table> 降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考	※網入り腐板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き	・網入り腐板ガラス				可動式	種類	材質	高さ (mm)	備考	・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)		※800 ・800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井埋込型)	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製		※800 ・800	表面仕上げ ※天井材張り
材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考																										
※網入り腐板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き																										
・網入り腐板ガラス																													
可動式	種類	材質	高さ (mm)	備考																									
・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)		※800 ・800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井埋込型)																									
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製		※800 ・800	表面仕上げ ※天井材張り																									
27.	譲渡用及び注意喚起用床材 (19.2.2)	ブロックタイルはJIS T 9251による 色彩は黄色を原則とする 屋内 ※塩化ビニル製 ・磁器又はせっ器質タイル (※300 ・レジンコンクリート製 屋外 ※レジンコンクリート製 ・磁器又はせっ器質タイル (※300																											
28.	畳年	材質 ※アルミニウム合金製 形式 ※チーバー型 ・同一断面型 地上高さ (m) ・6 ・8 ・10 ・12 操作方法 ※ハンドル式 ・ロープ式 固定方法 ・埋込式 ・ベース式 ・バンド式																											
29.	旗竿受金物	材質 ステンレス製 SUS304																											
30.	フェンス	※ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス																											

31.	屋根掲示板	照明器具 ※有り ・無し 施設 ※有り ・無し																																				
32.	車止めの支柱	ステンレス製 (上下式埋込型) 径114.3mm t=2.5mm H=Q+700mm ※スプリング付き ・スプリング無し																																				
33.	収納収納家具	材質 (3)図示 形状・寸法 (3)図示 ホルムアルデヒド放出量の等級 ※初期対象外 ・第三種																																				
34.	エキスポーション ・ジョイント金物	材質 ・アルミ ・ステンレス クリアランス ・50 ・100 ・150 耐火性能 ・有り () ・無し 防水型 ※適用する ・適用しない																																				
21.	排水工事	排水管用材料 (21.2.1) (表21.2.1) (21.3.3)																																				
1.	排水管	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>管の種類</th> <th>管形状 (接合方法)</th> </tr> <tr> <td>※透心力鉄筋コンクリート管</td> <td>※外圧管 (※1種 ・2種)</td> <td>B形 (ゴム接合)</td> </tr> <tr> <td>・硬質塩化ビニル管</td> <td>※VP ・VU</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・併用硬質塩化ビニル発泡三層管</td> <td>・RS-VU ・RS-VP</td> <td></td> </tr> </table> 車道部の排水管の敷設 (21.3.1) (21.3.2) ・砂基礎 (地床厚さ20cm以上 材料 山砂の類)	材種	管の種類	管形状 (接合方法)	※透心力鉄筋コンクリート管	※外圧管 (※1種 ・2種)	B形 (ゴム接合)	・硬質塩化ビニル管	※VP ・VU		・併用硬質塩化ビニル発泡三層管	・RS-VU ・RS-VP																									
材種	管の種類	管形状 (接合方法)																																				
※透心力鉄筋コンクリート管	※外圧管 (※1種 ・2種)	B形 (ゴム接合)																																				
・硬質塩化ビニル管	※VP ・VU																																					
・併用硬質塩化ビニル発泡三層管	・RS-VU ・RS-VP																																					
2.	排水網及びふた	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> </tr> <tr> <td>・水封形</td> <td>・密閉形 (チーバー・バッキン式) ・T-2用 ・T-6用</td> </tr> <tr> <td>・簡易気密形 (バッキン式)</td> <td>・中蓋付密閉形 ・T-14用 ・T-20用</td> </tr> </table>	種類	適用荷重	・水封形	・密閉形 (チーバー・バッキン式) ・T-2用 ・T-6用	・簡易気密形 (バッキン式)	・中蓋付密閉形 ・T-14用 ・T-20用																														
種類	適用荷重																																					
・水封形	・密閉形 (チーバー・バッキン式) ・T-2用 ・T-6用																																					
・簡易気密形 (バッキン式)	・中蓋付密閉形 ・T-14用 ・T-20用																																					
3.	グレーチングふた (21.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>メンバーピッチ</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>・鋼製</td> <td>(3)受枠付き</td> <td>(3)溝ふた用</td> <td>・歩行用 (3)題目</td> <td></td> <td>(3)凹凸形</td> </tr> <tr> <td>(3)ステンレス製</td> <td>ボルト固定</td> <td>・かさ上げ用 (3)T-6用</td> <td>※普通目</td> <td></td> <td>※平形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・図示</td> <td>・U字溝用 (3)T-14用</td> <td>・細目</td> <td></td> <td>・凹凸形</td> </tr> </table>	材質	形式	種類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状	・鋼製	(3)受枠付き	(3)溝ふた用	・歩行用 (3)題目		(3)凹凸形	(3)ステンレス製	ボルト固定	・かさ上げ用 (3)T-6用	※普通目		※平形		・図示	・U字溝用 (3)T-14用	・細目		・凹凸形												
材質	形式	種類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状																																	
・鋼製	(3)受枠付き	(3)溝ふた用	・歩行用 (3)題目		(3)凹凸形																																	
(3)ステンレス製	ボルト固定	・かさ上げ用 (3)T-6用	※普通目		※平形																																	
	・図示	・U字溝用 (3)T-14用	・細目		・凹凸形																																	
4.	その他の材料 (21.2.3)	<table border="1"> <tr> <td>地床の材料</td> <td>※標準4.6.2による</td> <td>(21.2.3)</td> </tr> <tr> <td>コンクリート発注強度</td> <td>※18N/mm²</td> <td>(21.2.3)</td> </tr> <tr> <td>鉄筋の種類</td> <td>※SD295A</td> <td>(21.2.3) (表2.1)</td> </tr> <tr> <td>埋戻し土</td> <td>※B種</td> <td>(21.2.3) (表2.1)</td> </tr> </table>	地床の材料	※標準4.6.2による	(21.2.3)	コンクリート発注強度	※18N/mm ²	(21.2.3)	鉄筋の種類	※SD295A	(21.2.3) (表2.1)	埋戻し土	※B種	(21.2.3) (表2.1)																								
地床の材料	※標準4.6.2による	(21.2.3)																																				
コンクリート発注強度	※18N/mm ²	(21.2.3)																																				
鉄筋の種類	※SD295A	(21.2.3) (表2.1)																																				
埋戻し土	※B種	(21.2.3) (表2.1)																																				
22.	舗装工事 (22.2.3) (表2.2.1)	<table border="1"> <tr> <td>1. 盛土に用いる材料</td> <td>・A種 ※B種 ・C種 ・D種</td> <td>(22.2.3) (表2.2.1)</td> </tr> <tr> <td>2. 遊歩帯及び車上抑留帯の材料</td> <td>・遊歩帯 ※引割、海砂又は良質天然砂 ・車上抑留帯 ※再生クラッシャー・ケラリン ・切り込み砂利 ・砂</td> <td>(22.2.2) (22.2.3)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>3. 路床安定処理 (22.2.2) (22.2.3) (表2.2.1)</td> <td>※添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメント B種 ・生石灰 () ・消石灰 () 添加量 kg/m³ (目標C/B R ※5以上)</td> <td>(22.2.2) (22.2.3) (表2.2.1)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>4. 路床土の支持力比試験</td> <td>※行う (※派した土 ・派さない土)</td> <td>(22.2.5)</td> </tr> <tr> <td>5. 路床締め固め度の試験</td> <td>※行う</td> <td>(22.2.5)</td> </tr> <tr> <td>6. 砂の粒度試験</td> <td>※行う</td> <td>(22.2.5)</td> </tr> <tr> <td>7. 路床材料 (22.2.3)</td> <td>(3)再生クラッシャーラン (RC-4.0) ・クラッシャーラン (C-4.0) 又はクラッシャーランスラグ (CS-4.0) 透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの</td> <td>(22.2.3)</td> </tr> <tr> <td>8. 路床の締め固め度の試験</td> <td>※行う</td> <td>(22.2.5) (表2.2.4)</td> </tr> </table>	1. 盛土に用いる材料	・A種 ※B種 ・C種 ・D種	(22.2.3) (表2.2.1)	2. 遊歩帯及び車上抑留帯の材料	・遊歩帯 ※引割、海砂又は良質天然砂 ・車上抑留帯 ※再生クラッシャー・ケラリン ・切り込み砂利 ・砂	(22.2.2) (22.2.3)	3. 路床安定処理 (22.2.2) (22.2.3) (表2.2.1)	※添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメント B種 ・生石灰 () ・消石灰 () 添加量 kg/m ³ (目標C/B R ※5以上)	(22.2.2) (22.2.3) (表2.2.1)	4. 路床土の支持力比試験	※行う (※派した土 ・派さない土)	(22.2.5)	5. 路床締め固め度の試験	※行う	(22.2.5)	6. 砂の粒度試験	※行う	(22.2.5)	7. 路床材料 (22.2.3)	(3)再生クラッシャーラン (RC-4.0) ・クラッシャーラン (C-4.0) 又はクラッシャーランスラグ (CS-4.0) 透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの	(22.2.3)	8. 路床の締め固め度の試験	※行う	(22.2.5) (表2.2.4)												
1. 盛土に用いる材料	・A種 ※B種 ・C種 ・D種	(22.2.3) (表2.2.1)																																				
2. 遊歩帯及び車上抑留帯の材料	・遊歩帯 ※引割、海砂又は良質天然砂 ・車上抑留帯 ※再生クラッシャー・ケラリン ・切り込み砂利 ・砂	(22.2.2) (22.2.3)																																				
3. 路床安定処理 (22.2.2) (22.2.3) (表2.2.1)	※添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメント B種 ・生石灰 () ・消石灰 () 添加量 kg/m ³ (目標C/B R ※5以上)	(22.2.2) (22.2.3) (表2.2.1)																																				
4. 路床土の支持力比試験	※行う (※派した土 ・派さない土)	(22.2.5)																																				
5. 路床締め固め度の試験	※行う	(22.2.5)																																				
6. 砂の粒度試験	※行う	(22.2.5)																																				
7. 路床材料 (22.2.3)	(3)再生クラッシャーラン (RC-4.0) ・クラッシャーラン (C-4.0) 又はクラッシャーランスラグ (CS-4.0) 透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの	(22.2.3)																																				
8. 路床の締め固め度の試験	※行う	(22.2.5) (表2.2.4)																																				
9.	アスファルト舗装 (22.4.3) (表22.4.1)	<table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>車道部の基層</th> <th>カラー舗装の種類</th> </tr> <tr> <td>(3)アスファルト舗装</td> <td>※無し (3)有り</td> <td>※顔料混入加熱アスファルト混合物</td> </tr> <tr> <td>・カラー舗装</td> <td>※無し ・有り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カラー舗装の着色骨材</td> <td>・着色骨材 (焼成)</td> <td>・着色骨材 (樹脂練成)</td> </tr> <tr> <td>アスファルト</td> <td>※再生アスファルト ・ストレートアスファルト</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.4)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>区分</td> <td>※一般地域 (3)寒冷地域</td> <td></td> </tr> <tr> <td>表層</td> <td>※密精度アスファルト混合物 (1.3) (3)密精度アスファルト混合物 (1.3 F)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・細精度アスファルト混合物 (1.3) ・細精度ギャップアスファルト混合物 (1.3 F)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基層</td> <td>※密精度アスファルト混合物 (2.0)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シールコート</td> <td>※行わない ・行う (施工範囲)</td> <td>(22.4.5)</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物の抽出試験</td> <td>※行わない ・行う</td> <td>(22.4.6)</td> </tr> </table>	舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類	(3)アスファルト舗装	※無し (3)有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物	・カラー舗装	※無し ・有り		カラー舗装の着色骨材	・着色骨材 (焼成)	・着色骨材 (樹脂練成)	アスファルト	※再生アスファルト ・ストレートアスファルト		加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.4)			区分	※一般地域 (3)寒冷地域		表層	※密精度アスファルト混合物 (1.3) (3)密精度アスファルト混合物 (1.3 F)			・細精度アスファルト混合物 (1.3) ・細精度ギャップアスファルト混合物 (1.3 F)		基層	※密精度アスファルト混合物 (2.0)		シールコート	※行わない ・行う (施工範囲)	(22.4.5)	アスファルト混合物の抽出試験	※行わない ・行う	(22.4.6)
舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類																																				
(3)アスファルト舗装	※無し (3)有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物																																				
・カラー舗装	※無し ・有り																																					
カラー舗装の着色骨材	・着色骨材 (焼成)	・着色骨材 (樹脂練成)																																				
アスファルト	※再生アスファルト ・ストレートアスファルト																																					
加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.4)																																						
区分	※一般地域 (3)寒冷地域																																					
表層	※密精度アスファルト混合物 (1.3) (3)密精度アスファルト混合物 (1.3 F)																																					
	・細精度アスファルト混合物 (1.3) ・細精度ギャップアスファルト混合物 (1.3 F)																																					
基層	※密精度アスファルト混合物 (2.0)																																					
シールコート	※行わない ・行う (施工範囲)	(22.4.5)																																				
アスファルト混合物の抽出試験	※行わない ・行う	(22.4.6)																																				
10.	コンクリート舗装 (22.5.3) (表22.5.3)	<table border="1"> <tr> <td>早強セメント</td> <td>※使用しない ・使用する</td> <td>(22.5.3)</td> </tr> <tr> <td>注入目地材料</td> <td>※低弾性タイプ ・高弾性タイプ</td> <td>(22.5.3) (表22.5.3)</td> </tr> <tr> <td>溶接金網</td> <td>※有り ・無し</td> <td>(22.5.3) (22.5.4)</td> </tr> <tr> <td>厚さ試験</td> <td>※行わない ・行う</td> <td>(22.5.6)</td> </tr> </table>	早強セメント	※使用しない ・使用する	(22.5.3)	注入目地材料	※低弾性タイプ ・高弾性タイプ	(22.5.3) (表22.5.3)	溶接金網	※有り ・無し	(22.5.3) (22.5.4)	厚さ試験	※行わない ・行う	(22.5.6)																								
早強セメント	※使用しない ・使用する	(22.5.3)																																				
注入目地材料	※低弾性タイプ ・高弾性タイプ	(22.5.3) (表22.5.3)																																				
溶接金網	※有り ・無し	(22.5.3) (22.5.4)																																				
厚さ試験	※行わない ・行う	(22.5.6)																																				
11.	透水性 アスファルト舗装 (22.7.3) (表22.7.6)	アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う																																				
12.	排水性 アスファルト舗装 (22.7.3) (表22.7.2)	アスファルト混合物 (22.7.3) (表22.7.2) ※改質アスファルト I 型 ・改質アスファルト II 型 タックコート用ゴム入りアスファルト 乳液の種類 (22.7.3) 適用時期 種類 下記以外 P.K.R-T-1 冬期 P.K.R-T-2 アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.7.6)																																				
13.	ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> </tr> <tr> <td>※普通平板 (N)</td> <td>※300角</td> <td>※60</td> <td>※砂</td> </tr> <tr> <td>・透水平板 (P)</td> <td></td> <td></td> <td>・モルタル</td> </tr> </table>	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	※普通平板 (N)	※300角	※60	※砂	・透水平板 (P)			・モルタル																								
種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材																																			
※普通平板 (N)	※300角	※60	※砂																																			
・透水平板 (P)			・モルタル																																			

14.	路面標示用塗料	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>色</th> <th>幅 (mm)</th> <th>布厚さ (mm)</th> <th>揮発性有機溶剤の含有率</th> </tr> <tr> <td>※小粒径 (花こう岩)</td> <td>※8.0-10.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2%以下</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2%以下</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工</th> <th>適用</th> <th>色</th> <th>幅 (mm)</th> <th>布厚さ (mm)</th> <th>揮発性有機溶剤の含有率</th> </tr> <tr> <td>・1種</td> <td>常温</td> <td>液状</td> <td>※白</td> <td>※150</td> <td>※0</td> <td>※揮発性有機溶剤に対して5%以下</td> </tr> <tr> <td>・2種</td> <td>加熱</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※3種</td> <td>溶解</td> <td>粉体状</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	厚さ (mm)	色	幅 (mm)	布厚さ (mm)	揮発性有機溶剤の含有率	※小粒径 (花こう岩)	※8.0-10.0				※2%以下	・					※2%以下	種類	施工	適用	色	幅 (mm)	布厚さ (mm)	揮発性有機溶剤の含有率	・1種	常温	液状	※白	※150	※0	※揮発性有機溶剤に対して5%以下	・2種	加熱						※3種	溶解	粉体状																																																																				
種類	厚さ (mm)	色	幅 (mm)	布厚さ (mm)	揮発性有機溶剤の含有率																																																																																																											
※小粒径 (花こう岩)	※8.0-10.0				※2%以下																																																																																																											
・					※2%以下																																																																																																											
種類	施工	適用	色	幅 (mm)	布厚さ (mm)	揮発性有機溶剤の含有率																																																																																																										
・1種	常温	液状	※白	※150	※0	※揮発性有機溶剤に対して5%以下																																																																																																										
・2種	加熱																																																																																																															
※3種	溶解	粉体状																																																																																																														
23.	植栽工事及び屋上緑化工事	<table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>工法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>※行う</td> <td>・行わない</td> <td>※液種</td> <td>※植栽範囲 ・図示</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>樹木の種類</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>工法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>・12以上</td> <td>※100 ・120 ・150</td> <td>※A種</td> <td>・築造りの範囲</td> </tr> <tr> <td>・7以上-12未満</td> <td>※80 ・100</td> <td>B種</td> <td>ただし、樹木は植栽範囲</td> </tr> <tr> <td>・3以上-7未満</td> <td>※80 ・80</td> <td>C種</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・3未満</td> <td>※50</td> <td>D種</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで埋込み土で盛土を行う。</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>※現場発生土の良質土 ・寄土 (※粗土 ・黒土)</td> <td>(23.3.2)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>※適用する</td> <td>(23.2.3) (表23.2.4)</td> </tr> <tr> <td>施工箇所</td> <td>※植栽範囲 ・図示</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>有機物の含有量 (乾物)</th> <th>炭素窒素比 (C/N比)</th> <th>窒素全量 (現物)</th> <th>リン酸全量 (現物)</th> <th>pH</th> <th>アルカリ全量 (現物)</th> </tr> <tr> <td>・70%以上</td> <td>・35以下</td> <td>・0.5%以上</td> <td>・0.2%以上</td> <td>・5.5-7.5</td> <td>・1.0%以上</td> </tr> <tr> <td>炭素窒素比 (C/N比)</td> <td>・35以下</td> <td>窒素全量 (現物)</td> <td>・0.5%以上</td> <td>pH</td> <td>・8.5以下</td> </tr> <tr> <td>陽イオン交換容量 (乾物)</td> <td>・70meq/100g以上</td> <td>リン酸全量 (現物)</td> <td>・0.2%以上</td> <td>水分</td> <td>・50%以下</td> </tr> <tr> <td>pH</td> <td>・5.5-7.5</td> <td>アルカリ全量 (現物)</td> <td>・1.0%以上</td> <td>水分</td> <td>・55-65%</td> </tr> <tr> <td>水分</td> <td>・55-65%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>幼樹植栽の結果</td> <td>・生育阻害その他の異常を認めない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>発酵下水処理コンポスト</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽効果の調査の結果、書が認められないものとする。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ヒ素</td> <td>・0.00%以下</td> <td>炭素窒素比 (C/N比)</td> <td>・20以下</td> </tr> <tr> <td>カドミウム</td> <td>・0.000%以下</td> <td>pH</td> <td>・8.5以下</td> </tr> <tr> <td>水銀</td> <td>・0.002%以下</td> <td>水分</td> <td>・50%以下</td> </tr> <tr> <td>ニッケル</td> <td>・0.0%以下</td> <td>窒素全量 (現物)</td> <td>・0.8%以上</td> </tr> <tr> <td>クロム</td> <td>・0.05%以下</td> <td>リン酸全量 (現物)</td> <td>・1.0%以上</td> </tr> <tr> <td>鉛</td> <td>・0.01%以下</td> <td>アルカリ全量 (現物)</td> <td>・15%以下</td> </tr> <tr> <td>有機物の含有量 (乾物)</td> <td>・35%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	適用	有効土層の厚さ (cm)	工法	整備範囲	※行う	・行わない	※液種	※植栽範囲 ・図示	樹木の種類	有効土層の厚さ (cm)	工法	整備範囲	・12以上	※100 ・120 ・150	※A種	・築造りの範囲	・7以上-12未満	※80 ・100	B種	ただし、樹木は植栽範囲	・3以上-7未満	※80 ・80	C種	・図示	・3未満	※50	D種		工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで埋込み土で盛土を行う。		※現場発生土の良質土 ・寄土 (※粗土 ・黒土)	(23.3.2)	※適用する	(23.2.3) (表23.2.4)	施工箇所	※植栽範囲 ・図示	有機物の含有量 (乾物)	炭素窒素比 (C/N比)	窒素全量 (現物)	リン酸全量 (現物)	pH	アルカリ全量 (現物)	・70%以上	・35以下	・0.5%以上	・0.2%以上	・5.5-7.5	・1.0%以上	炭素窒素比 (C/N比)	・35以下	窒素全量 (現物)	・0.5%以上	pH	・8.5以下	陽イオン交換容量 (乾物)	・70meq/100g以上	リン酸全量 (現物)	・0.2%以上	水分	・50%以下	pH	・5.5-7.5	アルカリ全量 (現物)	・1.0%以上	水分	・55-65%	水分	・55-65%					幼樹植栽の結果	・生育阻害その他の異常を認めない					発酵下水処理コンポスト		「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽効果の調査の結果、書が認められないものとする。		ヒ素	・0.00%以下	炭素窒素比 (C/N比)	・20以下	カドミウム	・0.000%以下	pH	・8.5以下	水銀	・0.002%以下	水分	・50%以下	ニッケル	・0.0%以下	窒素全量 (現物)	・0.8%以上	クロム	・0.05%以下	リン酸全量 (現物)	・1.0%以上	鉛	・0.01%以下	アルカリ全量 (現物)	・15%以下	有機物の含有量 (乾物)	・35%以上		
適用	有効土層の厚さ (cm)	工法	整備範囲																																																																																																													
※行う	・行わない	※液種	※植栽範囲 ・図示																																																																																																													
樹木の種類	有効土層の厚さ (cm)	工法	整備範囲																																																																																																													
・12以上	※100 ・120 ・150	※A種	・築造りの範囲																																																																																																													
・7以上-12未満	※80 ・100	B種	ただし、樹木は植栽範囲																																																																																																													
・3以上-7未満	※80 ・80	C種	・図示																																																																																																													
・3未満	※50	D種																																																																																																														
工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで埋込み土で盛土を行う。																																																																																																																
※現場発生土の良質土 ・寄土 (※粗土 ・黒土)	(23.3.2)																																																																																																															
※適用する	(23.2.3) (表23.2.4)																																																																																																															
施工箇所	※植栽範囲 ・図示																																																																																																															
有機物の含有量 (乾物)	炭素窒素比 (C/N比)	窒素全量 (現物)	リン酸全量 (現物)	pH	アルカリ全量 (現物)																																																																																																											
・70%以上	・35以下	・0.5%以上	・0.2%以上	・5.5-7.5	・1.0%以上																																																																																																											
炭素窒素比 (C/N比)	・35以下	窒素全量 (現物)	・0.5%以上	pH	・8.5以下																																																																																																											
陽イオン交換容量 (乾物)	・70meq/100g以上	リン酸全量 (現物)	・0.2%以上	水分	・50%以下																																																																																																											
pH	・5.5-7.5	アルカリ全量 (現物)	・1.0%以上	水分	・55-65%																																																																																																											
水分	・55-65%																																																																																																															
幼樹植栽の結果	・生育阻害その他の異常を認めない																																																																																																															
発酵下水処理コンポスト																																																																																																																
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽効果の調査の結果、書が認められないものとする。																																																																																																																
ヒ素	・0.00%以下	炭素窒素比 (C/N比)	・20以下																																																																																																													
カドミウム	・0.000%以下	pH	・8.5以下																																																																																																													
水銀	・0.002%以下	水分	・50%以下																																																																																																													
ニッケル	・0.0%以下	窒素全量 (現物)	・0.8%以上																																																																																																													
クロム	・0.05%以下	リン酸全量 (現物)	・1.0%以上																																																																																																													
鉛	・0.01%以下	アルカリ全量 (現物)	・15%以下																																																																																																													
有機物の含有量 (乾物)	・35%以上																																																																																																															
4.	支柱材 (23.3.2)	※杉、ひのき又はから松 (皮はぎもの、間伐材) ※加工防虫処理 ・真竹 (良質な2年生以上)																																																																																																														
5.	幹巻き用テープ (23.3.2)	※幹巻き用テープ ・わら及びにも																																																																																																														
6.	芝張り (23.4.2)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>※こうらひ定</th> <th>・野芝</th> </tr> <tr> <td>工法</td> <td>・地盤張り</td> <td>・べた張り</td> </tr> </table>	種類	※こうらひ定	・野芝	工法	・地盤張り	・べた張り																																																																																																								
種類	※こうらひ定	・野芝																																																																																																														
工法	・地盤張り	・べた張り																																																																																																														
7.	植栽費等 (23.3.4) (23.4.7)	<table border="1"> <tr> <td>新植樹木の植栽期間</td> <td>※1年</td> <td></td> <td>(23.3.4)</td> </tr> <tr> <td>移植樹木の植栽期間</td> <td>※1年</td> <td></td> <td>(23.3.6)</td> </tr> <tr> <td>芝及び地被類の植栽期間</td> <td>※1年</td> <td></td> <td>(23.3.4) (23.4.7)</td> </tr> </table>	新植樹木の植栽期間	※1年		(23.3.4)	移植樹木の植栽期間	※1年		(23.3.6)	芝及び地被類の植栽期間	※1年		(23.3.4) (23.4.7)																																																																																																		
新植樹木の植栽期間	※1年		(23.3.4)																																																																																																													
移植樹木の植栽期間	※1年		(23.3.6)																																																																																																													
芝及び地被類の植栽期間	※1年		(23.3.4) (23.4.7)																																																																																																													
8.	屋上緑化 (23.5.2) (23.5.3)	<table border="1"> <tr> <th>植栽基礎及び材料</th> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> </tr> <tr> <td>・屋上緑化システム</td> <td>土壌層の厚さ</td> <td>・図示</td> <td>・管理型</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保水・排水層</td> <td>・軽質骨材 (層の厚さ)</td> <td>・板状成形品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>植込み用土</td> <td>※改良土</td> <td>・人工軽質土</td> </tr> <tr> <td></td> <td>樹木の植栽、寸法、株立数、寸法等</td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・屋上緑化排水システム</td> <td>透水層、保水層及び排水層等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>芝及び地被類の植栽方法及び種類等</td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種類</th> <th>設置する (種類)</th> <th>設置する (工事区分は図示による)</th> </tr> <tr> <td>支柱</td> <td>・設置する</td> <td>(種類)</td> <td>(種類)</td> </tr> <tr> <td>かん水装置</td> <td>・設置する</td> <td>(種類)</td> <td>(種類)</td> </tr> </table>	植栽基礎及び材料	種類	厚さ (mm)	目地材	・屋上緑化システム	土壌層の厚さ	・図示	・管理型		保水・排水層	・軽質骨材 (層の厚さ)	・板状成形品		植込み用土	※改良土	・人工軽質土		樹木の植栽、寸法、株立数、寸法等	※図示		・屋上緑化排水システム	透水層、保水層及び排水層等				芝及び地被類の植栽方法及び種類等	※図示		工法	種類	設置する (種類)	設置する (工事区分は図示による)	支柱	・設置する	(種類)	(種類)	かん水装置	・設置する	(種類)	(種類)																																																																						
植栽基礎及び材料	種類	厚さ (mm)	目地材																																																																																																													
・屋上緑化システム	土壌層の厚さ	・図示	・管理型																																																																																																													
	保水・排水層	・軽質骨材 (層の厚さ)	・板状成形品																																																																																																													
	植込み用土	※改良土	・人工軽質土																																																																																																													
	樹木の植栽、寸法、株立数、寸法等	※図示																																																																																																														
・屋上緑化排水システム	透水層、保水層及び排水層等																																																																																																															
	芝及び地被類の植栽方法及び種類等	※図示																																																																																																														
工法	種類	設置する (種類)	設置する (工事区分は図示による)																																																																																																													
支柱	・設置する	(種類)	(種類)																																																																																																													
かん水装置	・設置する	(種類)	(種類)																																																																																																													

24.	工事現場の環境改善・建設副産物及びSO14001関係 ①工事現場の環境改善について	<p>工事現場の環境改善・建設副産物及びSO14001関係 工事現場のイメージアップ ・仮囲い・仮設の美化 ・仮設・注意喚起用は黄色系とする ・誘導・注意喚起用ブロック ※80 ・100</p> <p>地盤改良への情報提供 ・完成予想図の設置 ・情報掲示板の設置 ・パンフレットの作成</p> <p>地盤改良とのコミュニケーション ・現場見学会の開催</p> <p>住民に対する災害防止関係 (3)現場見学会の開催 (4)現場見学会の開催</p>
②産業廃棄物の取扱いについて	<p>(1)解体工事を行う場合は、別添の解体工事仕舞書によること。 (2)産業廃棄物の処理に当たっては、請負者が自ら処理 (分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為) するときは、「産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律」 (以下「産業廃棄物処理法」という。) に基づき、適正に行うこと。 (3)産業廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、産業廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施行前日産業廃棄物処理法第19条の写し、産業廃棄物処理法の許可証の写し、許可運搬車両一両並み追加分の案内図を監督員に提出すること。 (4)しゅん工したときは、積み込み状況の写真、処分状況の写真、マシンの写真、Eメール、Dメール及びEメールの写しを監督員に提出すること。 (Eメール及びDメールはマシンの写真 (特別管理産業廃棄物は60日)、Eメールは180日以内で提出するものとし、工務内に提出できない場合は、監督員と協議すること。)</p>	
③再生資源利用促進計画等について	<p>「再生資源の利用促進に関する法律」 (以下「リサイクル法」という。) に基づき、請負者は、工事の着手前「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を提出し、監督員の承認を受けること。また、しゅん工後「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を提出すること。</p> <p>対象工事: リサイクル法に規定する一定規模以上の工事又は工事規模が1千万円以上の工事</p>	
④SO14001関係	<p>(1)現場で使用する機械は、低騒音、低振動、低排ガス型施工機械とすること。 (2)夜間、早朝等の稼働を避けること。ただし、監督職員の承認を受けた場合はこの限りでない。なお、運轉レードの認定に当たっては影響の少ないレードを選択すること。 (3)汚水、汚濁、土砂の流出防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。 (4)地盤改良によって、周辺への水質、土壌など地下水に影響を与えるおそれがある場合は監督職員と協議を行うこと。 「参考資料」:平成2年3月24日付、建設技術開発第49号、同建設第10号 (改正平成13年4月20日) 「セメント」及び「セメント系充填材」の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する「当面の措置について」</p>	
⑤過積載の禁止	<p>資機材の運搬にあたっては、運搬車両の最大積載量を把握し、過積載を行わないよう計画すること。また、飛散のおそれがあるものについては、飛散しないよう処置を行い、過積載を避けること。</p>	
25.	その他	<p>(1)本建設関係し、受注者は工事目的物、工事材料等について火災保険を掛けるなければならない。 (2)工事現場で請負者の責任において労働災害が発生し、その負担は受注者とする。 (3)暴行阻害等から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察へ提出すること。 (4)工事現場の安全確保のため、工事実施要領 (工事カルテ) の整備をすること。 (ただし、工事現場安全確保00万円以上2,500万円未満の工事については、受注時、訂正時のみ登録するものとする。) 登録する場合は、あらかじめ監督職員の承認を受け、次にその時期に (財)日本建設情報センター (JIC) に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する。 なお、変更時と発注時の追加が0日間で済まない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。 ①工事受注時 契約締結後10日以内 ②登録内容の変更時 変更契約締結後10日以内 ③工事完了時 工事完了後10日以内 (連絡先: (財)日本建設情報センター TEL03-3505-2973) (5)下請負契約締結後、速やかに下請負人通知書を提出すること。 (6)現場管理体制において、受注者は施工体制台帳を作成し、工事現場中工事現場に備え付けるとともに、監督員へ提出すること。 また、工事現場における施工の分担関係を明示した「施工体系図」を作成し、これを工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示すること。 ※施工体制台帳に記載すべき内容 ・建設業法施行規則 第14条の2第1項に掲げる事項 ・安全衛生責任者名、安全衛生推進者名、雇用管理責任者名 (7)下記深層等については、建設工事に関与する者、元請負人の指揮、調整のもとで行われるものであるため施工体制台帳、施工体系図、契約書及び下請負人通知書等整備すること。また、下記深層等と考慮されるものについても、同様整備すること。 ・交通整理員、ガードマン ・産業廃棄物処理業者 ・ダンプ運転 (1人親方のダンプ運転手) ・1日完了する請負契約、小規模な作業・雑工・労務のみ単独での請負契約 ・クレーン作業、コンクリートポンプ打設等日々の単独契約で行われているもの ・クレーン等の運搬オペレーターを機械と一緒にコース会社から借上げる場合 ・他の会社から応援者を借上げ、請負契約を締結した場合 (臨時雇用関係である場合を除く)</p>
⑥不具合の確認	<p>工事しゅん工後3ヶ月、12ヶ月に不具合の確認を行い、その結果を書面で担当課長へ報告する。 (建設管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず建設管理者の立会いを要する。)</p>	

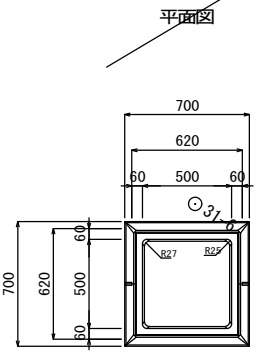
 安曇野市 総務部 財産管理課		検印欄
工事名	令和8年度 合葬墓2号基建設工事	年月日 2026. 3.
図面名称	特記仕様書 (4)	図面番号 A-04



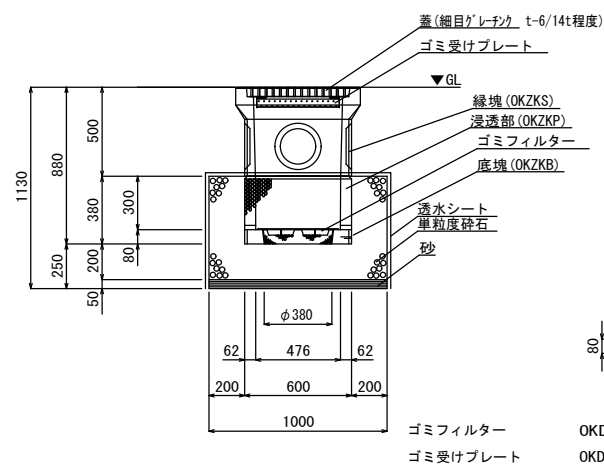
			2026.03	1:500	令和8年度 合葬墓2号基建設工事	A-05
					現況敷地測量図	



1号基
名盤掲示板 1基追加新設
(新規仕様に準ずる)



断面図



ゴミフィルター
ゴミ受けプレート

蓋(細目グレータ t-6/14t程度)

ゴミ受けプレート

▼GL

縁塊(OKZKS)

浸透部(OKZKP)

ゴミフィルター

底塊(OKZKB)

透水シート

単粒度砕石

砂

OKDT(ゴミ用)

φ390

フック(SIS)

φ370

φ390

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

φ370

1. 工事名称		工事名称 令和8年度 合葬墓2号基建設工事	建築主 安曇野市 中山 栄樹
建設地 (地名地番)	長野県安曇野市穂高8415-40他12筆 (8415-6/8415-7/8414-11/8416-14/8415-40/8414-23/8414-25/8414-24/8415-8/8415-43/8414-7/8414-26/8414-22)	住所氏名 長野県安曇野市豊科6000番地	
主要用途	倉庫(納骨堂)	〒399-0294 電話 0263-71-2000 番	
工事種別	新築・増築・別棟増築・増改築・改築・改修(大規模の修繕)・室内装飾用途変更(大規模の模様替)・仮設建築・解体・移設・移転	工期 着工 2026年5月吉日 ~ 竣工 2026年12月吉日	

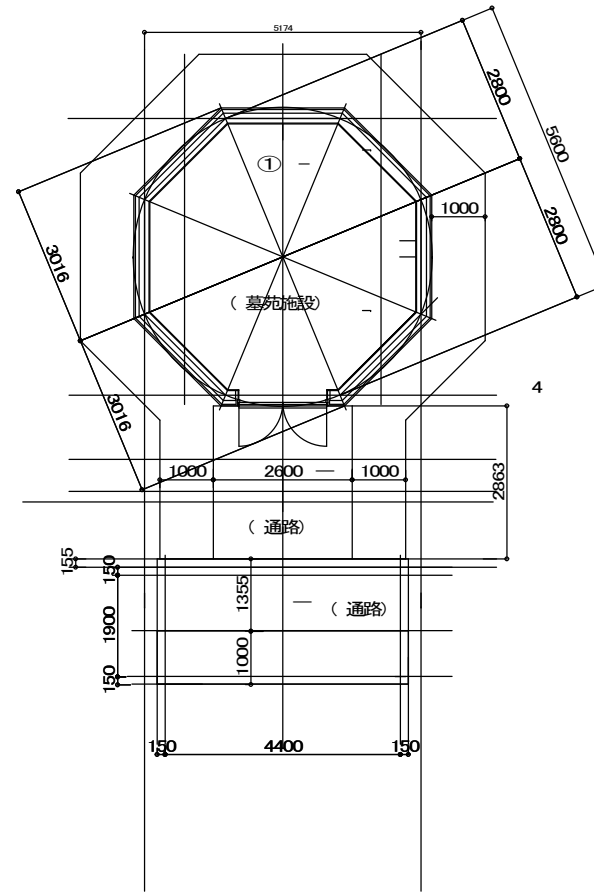
2. 敷地状況		敷地面積 実測 18557.74 m ² (5613.71 坪) 建築基準法上面積 m ² () 坪	建ぺい率 容積率 基準建ぺい率 70.00 % (角地緩和+10%) 基準容積率 200.00 %
用途地域	低層住居専用品(第1種)・中高層住居専用品(第1種)・住居(第1種)準住居・近隣商業・商業・準工業・工業(工業専用)指定なし・調整区域内	日影制限 平均地盤面からの高さ 敷地境界線より5mを超え10m以内の範囲 敷地境界線より10mを超える範囲	時間内 時間内
防火地域	防火・準防火・特定行政庁の指定地域・法22条地域(指定なし)		
その他の地域地区	都市計画区域内・都市計画区域外・市街化区域・市街化調整区域・特別工業地区・特別用途地区・美観地区・再開発事業区域・特定街区・改良地区 文教地区(第1種)・風致地区(第1種)・高度地区(第1種)・駐車場整備地区・電波伝搬障害防止地区・多雪地区・災害危険地区・緑地地区 土地区画整理事業地区・宅地造成工事規制区域・国立公園・国定公園・河川敷・その他(河川保存区域)		
道路	幅員 4000・10.326・9.877 m (実測幅員m) 接道長さ 257.00 m (前面道路接道長さ)	道路との高低差 +00 m 隣地との高低差 -1.100 (東隣地) m	

3. 構造・規模		構造 SRC造・RC造・RC造・鉄骨造・軽量鉄骨造・CB造・木造・その他	階数 (B) (F 1階) (P)
構造形式	ラーメン(壁)・立柱・ラス・シェル・折版・在来 その他(リブ付中型プレキャスト 鉄筋コンクリートパネル造)	最高高さ 3.150 m	
基礎	地盤支持(ベタ・布・独立) その他(杭支持(RC杭・PC杭・鋼管杭・アースドリル・ペント・深礎・その他))	最高床高 2.700 m	
耐火建築物	耐火建築物・準耐火建築物(イ・ロ)・防火構造(その他)	1階床高 0.100 m	
増築予定	無し	その他	

4. 面積		申請部分	申請以外の部分	合計	建ぺい率・容積率	その他(ピロティー・バルコニー等)
建築面積	39.54 m ² (= 17.375 坪)	161.12 m ² (= 53.482 坪)	200.66 m ² (= 60.61 坪)	1.08 % 許容 ≤ 70 %		
	延床面積	22.17 m ² (= 6.70 坪)	139.85 m ² (= 42.30 坪)	162.02 m ² (= 49.01 坪)	0.88 % 許容 ≤ 200 %	

5. 床面積		6. 別途工事	
階別	増築部分	既存部分	階高
1	22.17 m ²	0 m ²	m
合計	22.17 m ²	0 m ²	
主要用途		倉庫	

求積図(面積表)



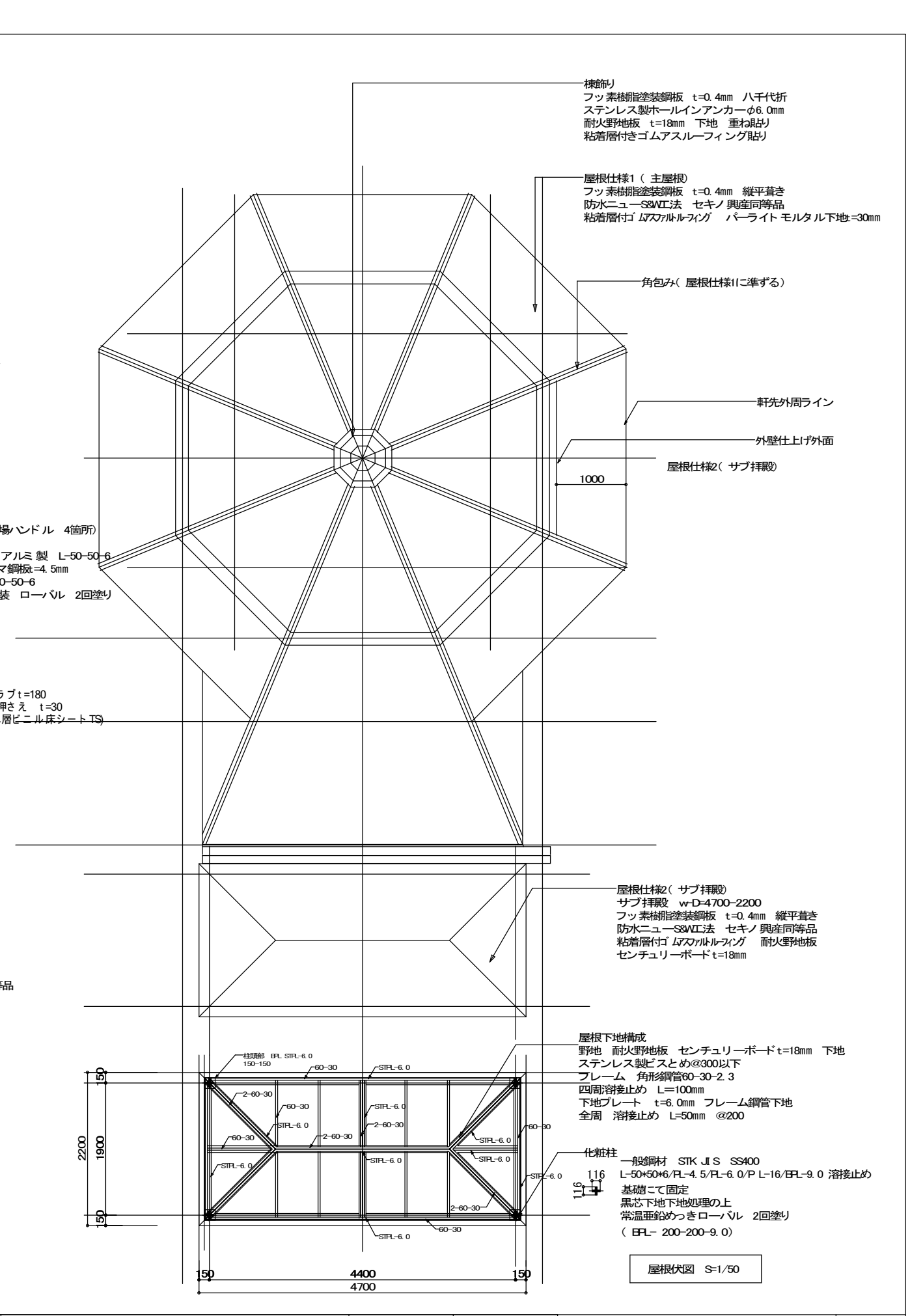
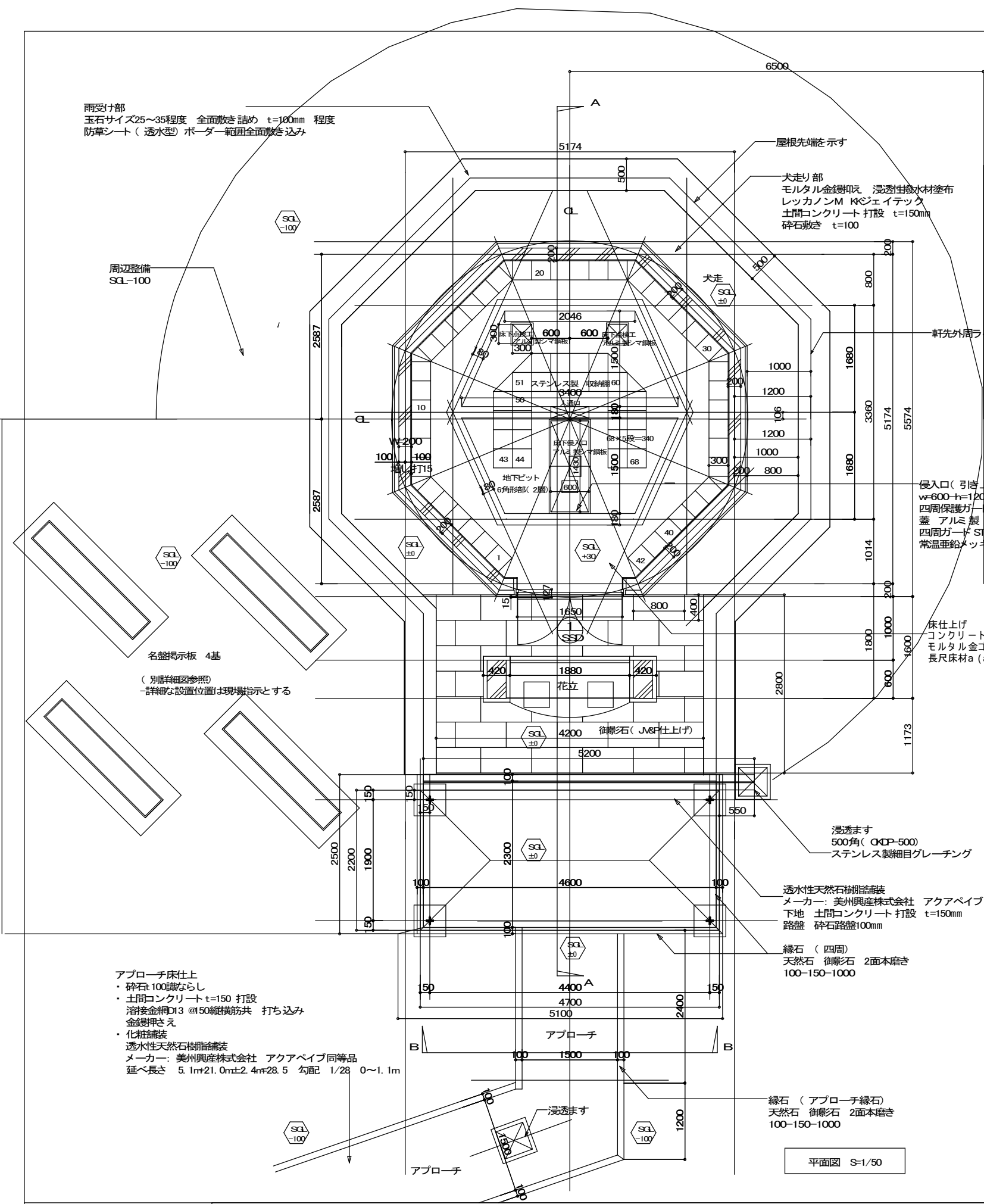
【建築面積算定】
 $S = 2\sqrt{2} \cdot R \cdot R$ (R: 辺の半径長さ)
 $S = 2\sqrt{2} \cdot 3.016 \cdot 3.016 = 2.828 \cdot 9.096256 = 25.7280972039$
 $= 2.863 \cdot 2.600 = 7.4438$
 $= 1.355 \cdot 4.700 = 6.3685$
 建築面積 = 39.5403972039 → 改め 39.54 m²

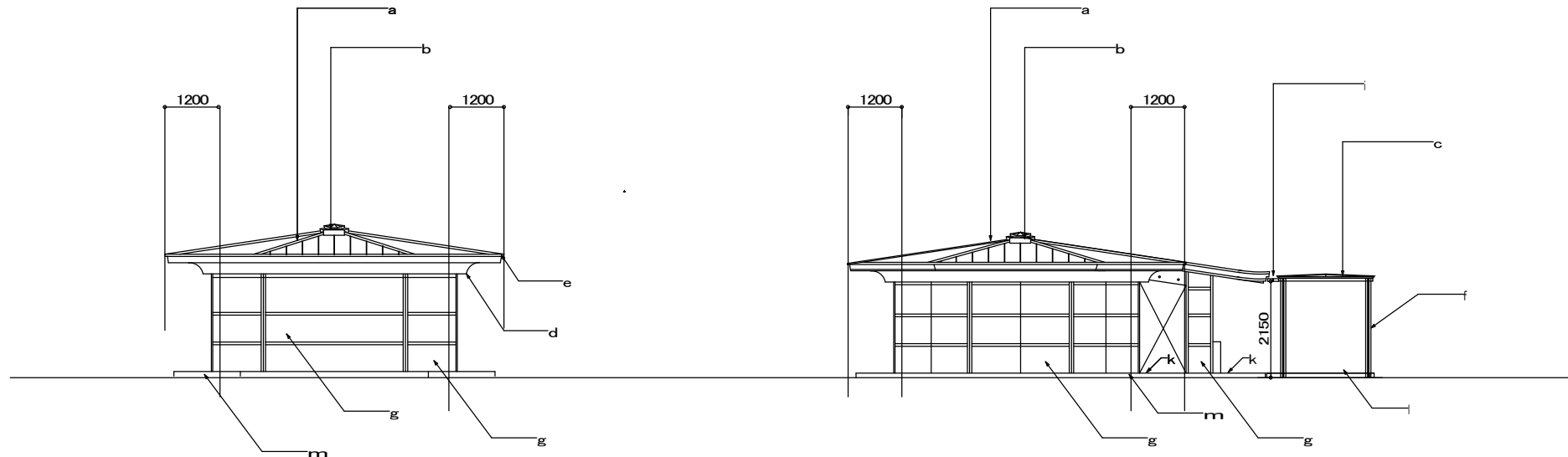
【床面積算定】
 $① = 2\sqrt{2} \cdot 2.8 \cdot 2.8 = 2.828 \cdot 7.84 = 22.171$
 床面積 = 22.171 → 改め 22.17 m²

符号	形状・寸法	見込	数量	名称・使用場所	材質・仕上・硝子	金物
① SSD		厚40 枠100 +135	1	ステンレス製 フラッシュ厚	SUS304 t=1.5mm	ステンレス製
				HL仕上げ		ハンドル 1箇所
				枠 同材		ステンレス製 錠本締めり箱錠
				外壁見切り材		ステンレス製重量丁番3点吊り
				SUS304 F B-10-80 HL		フランス落し 上下連動式
						ドアチェック 2箇所
				出入口 ドア		ハンドル: アルミ製プラスト
						品名: UL238-001 シルバー
						メーカー: ユニオン製

仕上表-1 (室内仕上げ材・小屋裏・天井内下地材は全て F---認定適合とする)

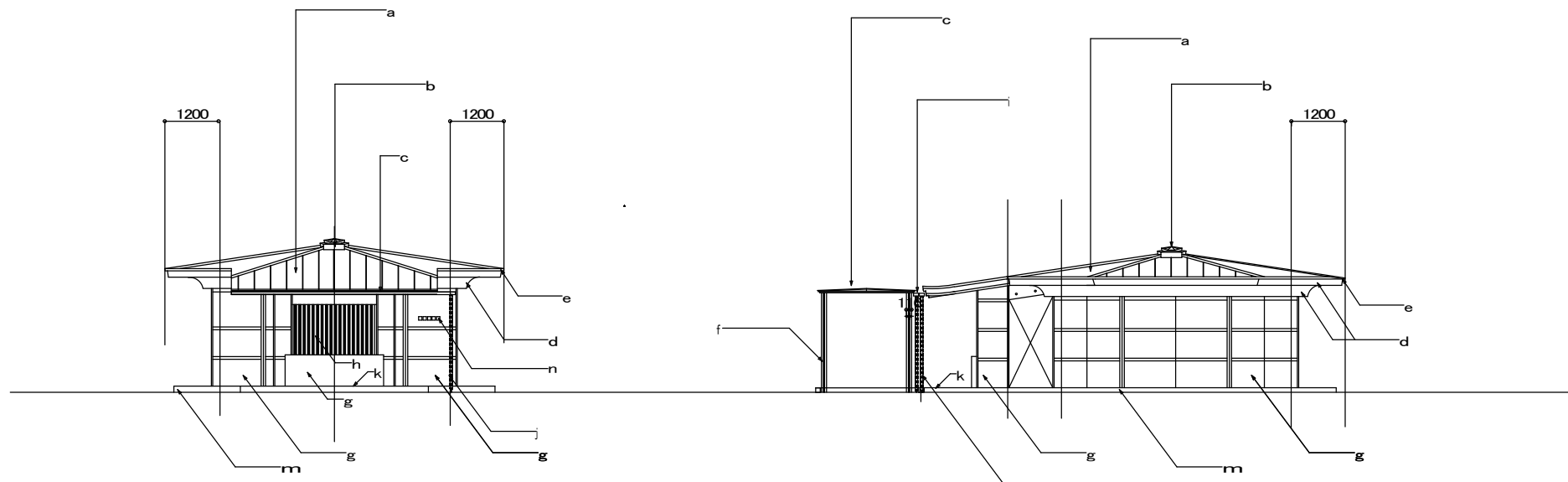
室名	床		巾木	壁		特殊区分仕上げ	下地	廻り縁	天井		C H (天井高さ)	備考
	仕上	下地		基準仕上げ	下地				仕上	下地		
1階 納骨室	コンクリートスラブ t=180	M	壁に準ずる	化粧型枠コンクリート 打ち放し	Co			無し	化粧型枠コンクリート 打ち放し	Co	2,460 (平均)	
	モルタル金ゴテ押さえ t=30											
	長尺床材 a (a=単層ビニル床シート TS)											
畜灰庫 (PT)	床無し		同上	同上	Co			同上	同上	Co	1,500	





北側立面図 S=1/50

西側立面図 S=1/100

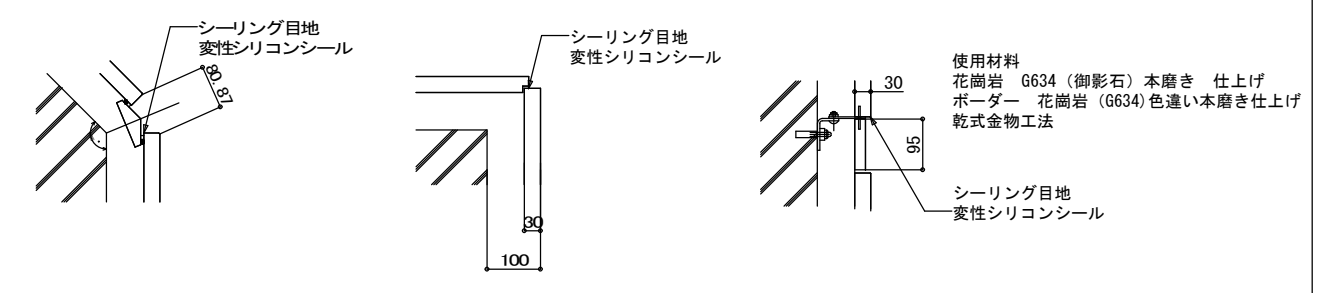
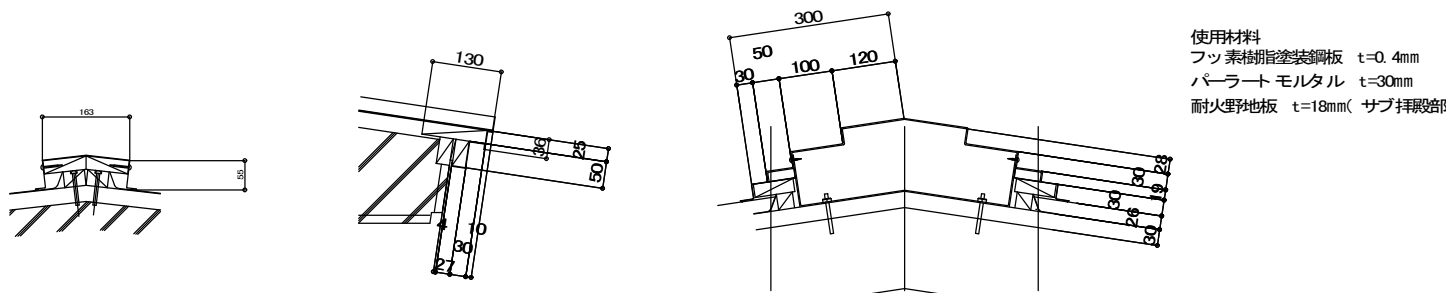


南側立面図 S=1/100

東側立面図 S=1/100

外部仕上表

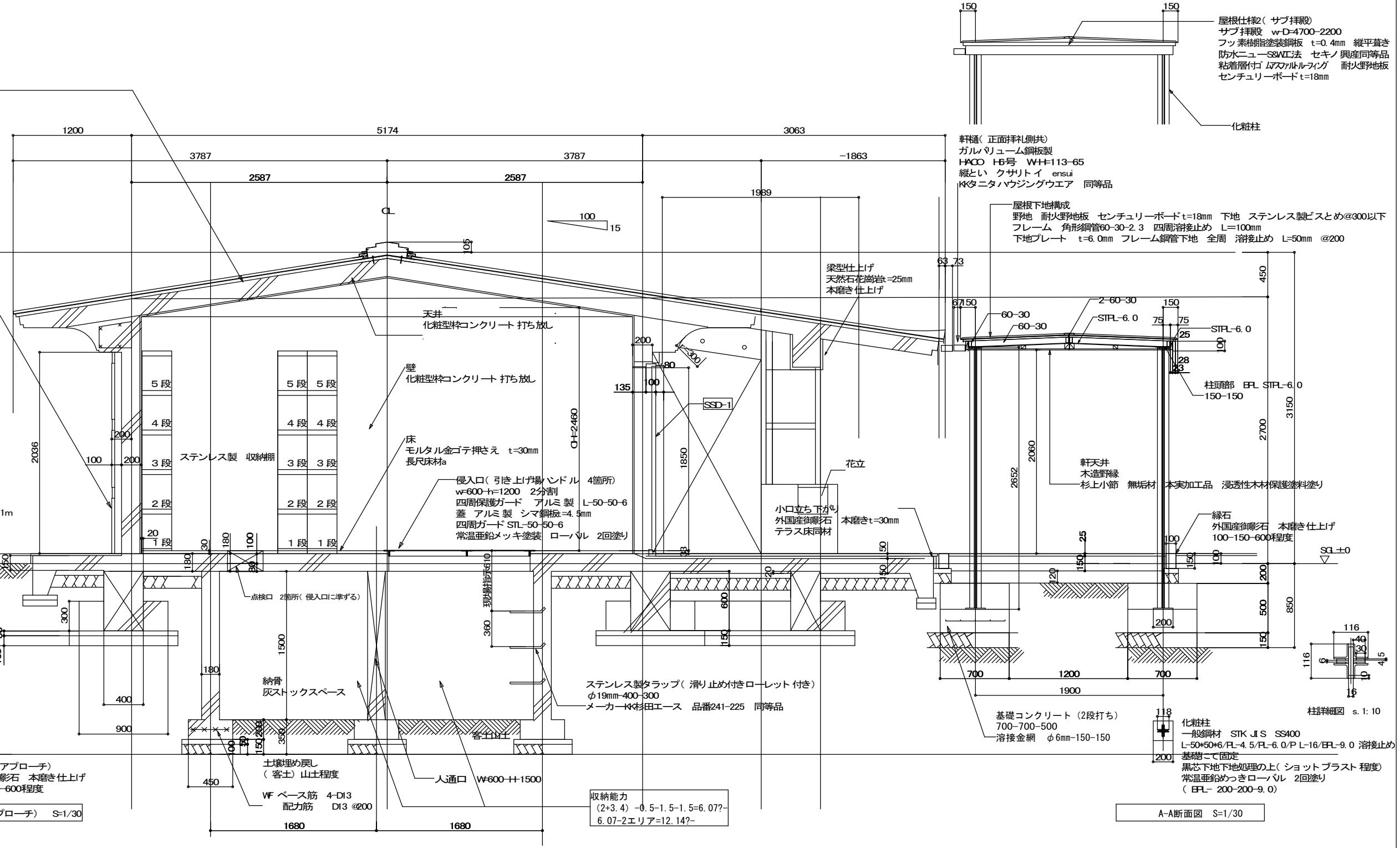
a	屋根仕様1 (主屋根)	フッ素樹脂塗装鋼板 t=0.4mm 縦平葺き 防水ニューS&W工法 セキノ興産同等品 粘着層付ゴムスカルルフィング パーライトモルタル下地 t=30mm
	b	棟飾り (主屋根)
c	屋根仕様2 (サブ屋根)	フッ素樹脂塗装鋼板 t=0.4mm 縦平葺き 防水ニューS&W工法 セキノ興産同等品 粘着層付ゴムスカルルフィング 耐火野地板 センチュリーボード t=18mm
	d	軒天仕様1 (妻壁共)
e	軒先水切・唐草 破風 幕板	フッ素樹脂塗装鋼板 t=0.4. カー-曲げ加工 耐火野地板 t=18mm 下地成形
	f	化粧柱1
g	外壁仕様1	天然石(花崗岩: G34同等品) t=30mm 犬走り納まり シリコン樹脂製 目地 t=15mm程度
	h	外壁仕様2 (スクリーン)
i	軒通	ガルバリウム雨通 半丸105型 /株式会社タカワジ スルス製軒通/株式会社タカワジ
j	鎖通・縮通	端部アカー止め口 丸たてといφ60系+スリムテンデン 鎖通ensui 固定金具(末端部)
	k	テラス(拝観部)
l		サブテラス (サブ拝観部)
m	犬走り部	土間コンクリート t=150mm 浸透性保護塗料塗布 レックノンM K&Cジェテック スルス切り文字 75角 t=5.0mm 焼き付け塗装 5文字
	n	銘板
o		レンジフード ベントキャップ
	p	



屋根
 コンクリート 型枠打設
 モルタル下地調整の上 t=30mm
 ゴムアスルーフィング t=1.0mm
 フッ素樹脂塗装鋼板 t=0.4mm 縦平ふき 山高さH25

外壁仕様
 花崗岩 G634 (御影石) 本磨き 仕上げ
 ボーダー 花崗岩 (G634) 色違い本磨き仕上げ
 乾式金物工法
 シーリング目地 変性シリコンシール

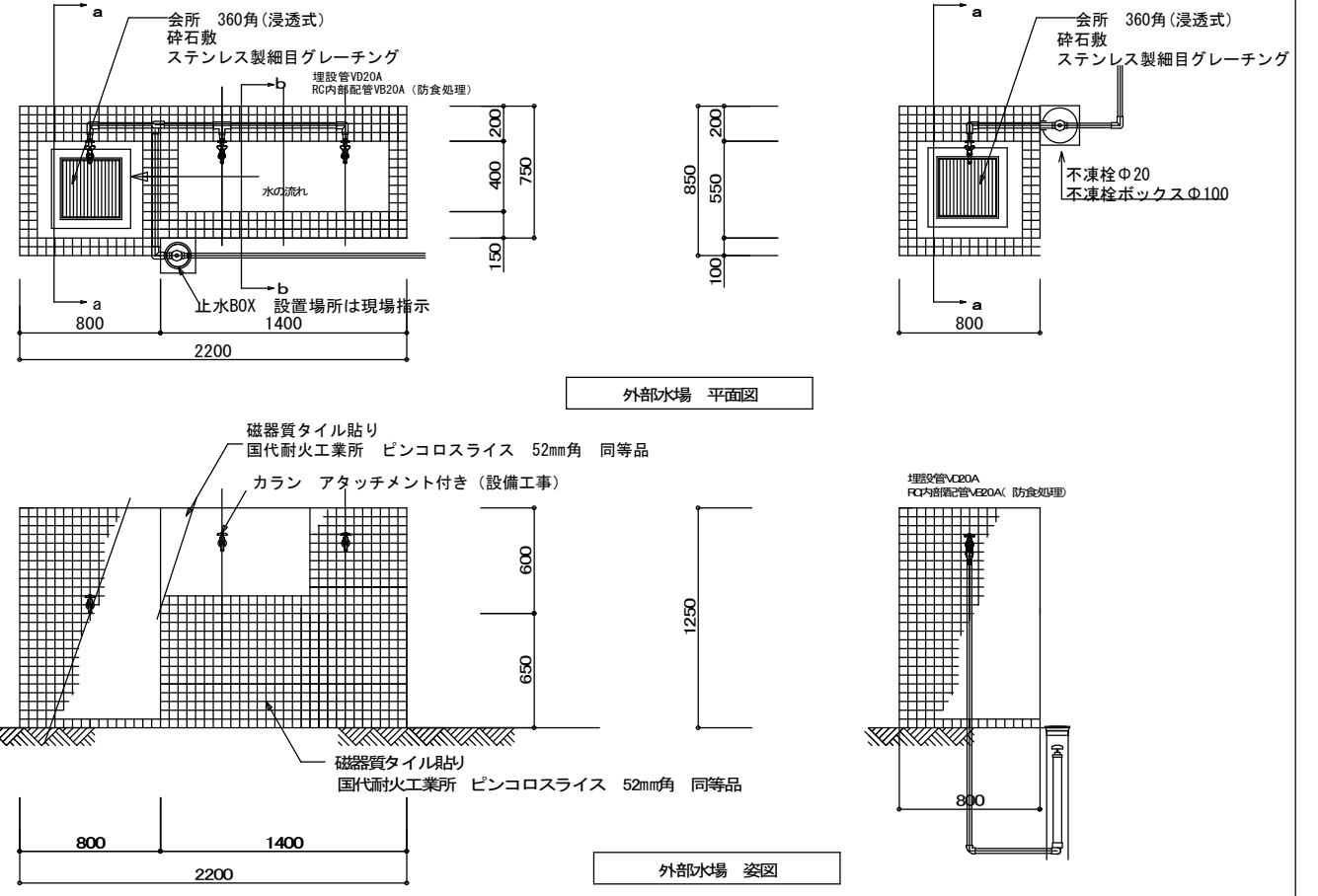
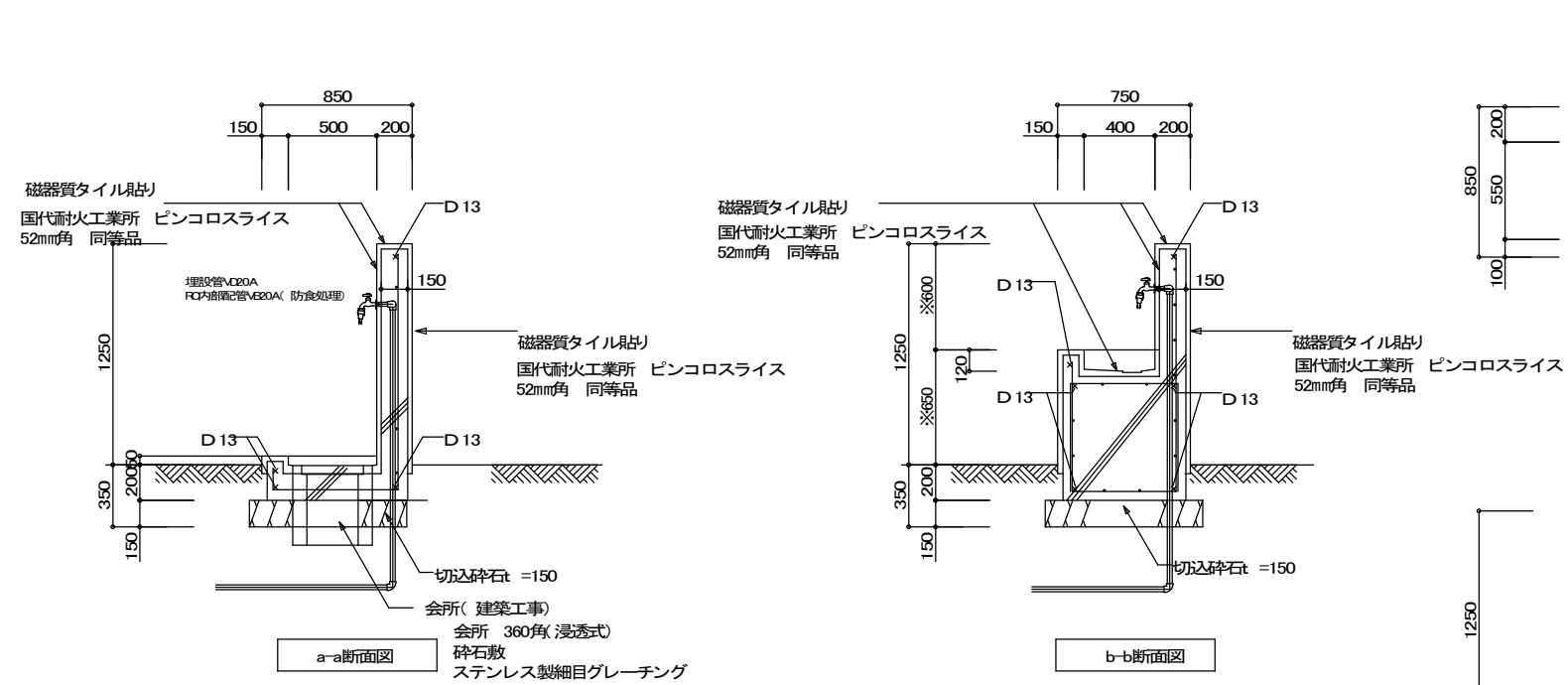
アプローチ床仕上
 ・ 砕石t100敷きならし
 ・ 土間コンクリートt=150 打設
 ・ 鉄筋 D13 @150縦筋共 打ち込み
 金型押さえ
 ・ 化粧舗装
 透水性天然石積層舗装
 メーカー: 美州興産株式会社 アクアベープ同等品
 延べ長さ 5.1m±21.0m±2.4m±28.5 勾配 1/28 0~1.1m



B-B断面図(アプローチ) S=1/30

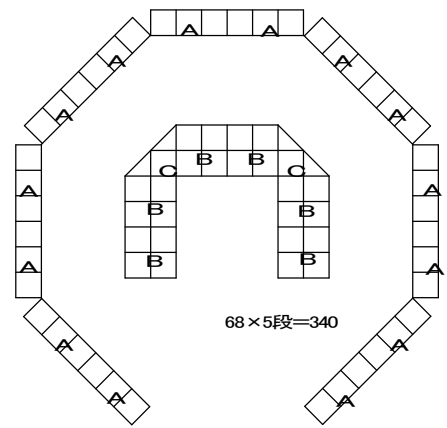
A-A断面図 S=1/30

2026.03	1:30	令和8年度 合葬墓2号基礎工	A-11
	1:10		
断面詳細図 1			



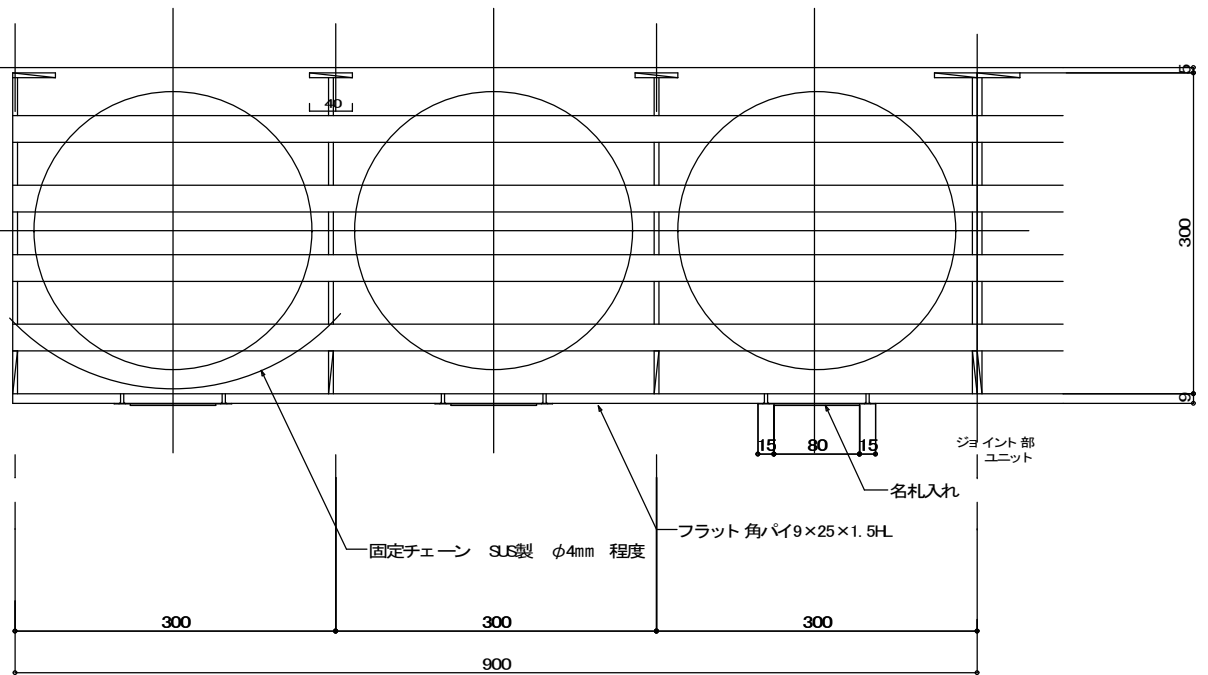
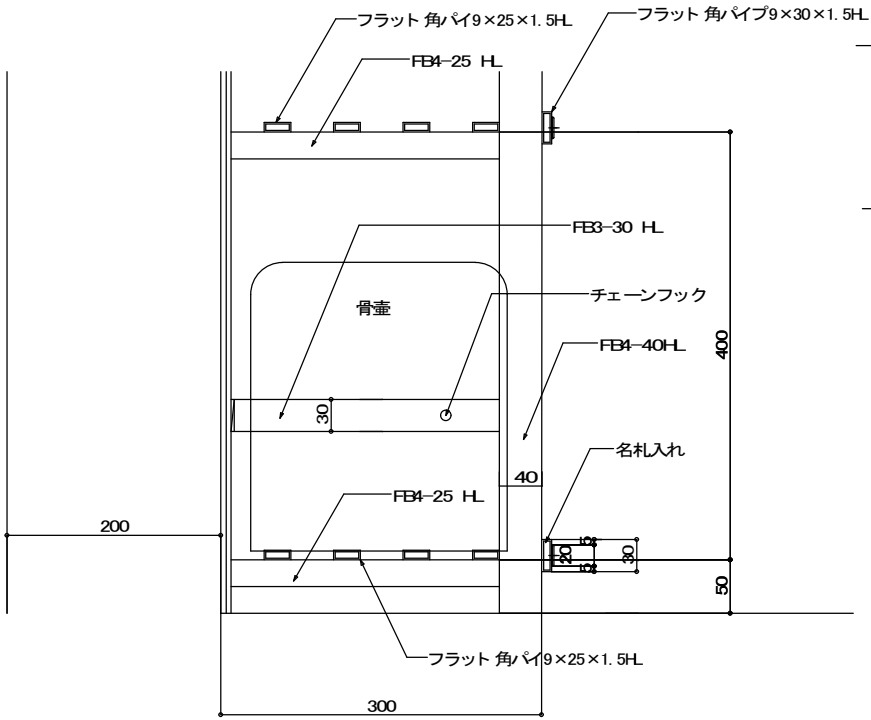
名称	備考	数量
給水管 地中埋設部(不凍栓付)	水道用材Jエチレン管(FEP)	
給水管 水数み器	水道用樹脂強化ビニルライニング鋼管(VE)	
給水管 水数み器	水道用樹脂強化ビニルライニング鋼管(VD)	
単水栓	参考品番 TCRD 横水栓 T28AN#13	4個

※ ※寸法は参考とし、現場打合せにより決定
※特記なき縦筋・横筋はD 10@200とする

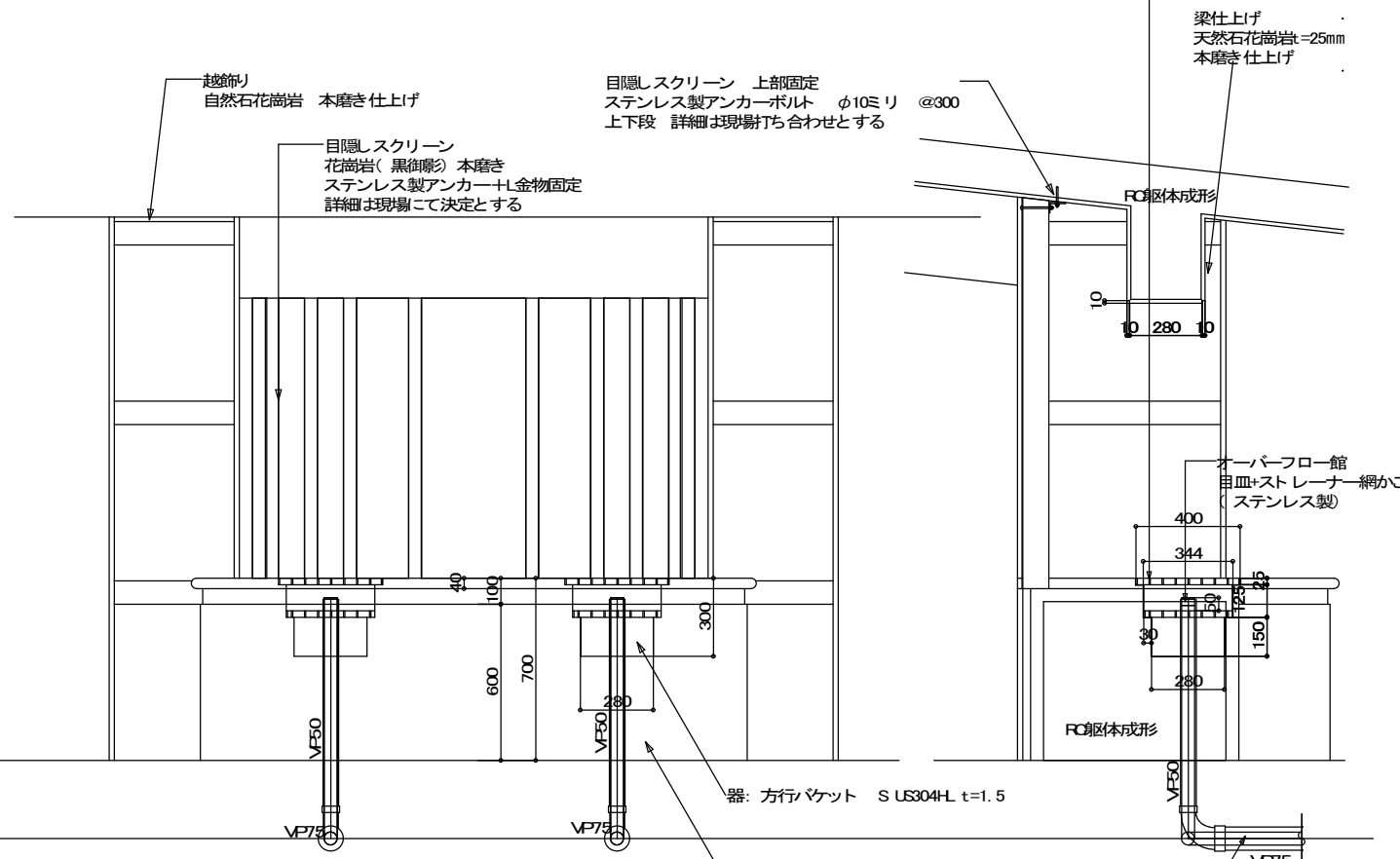
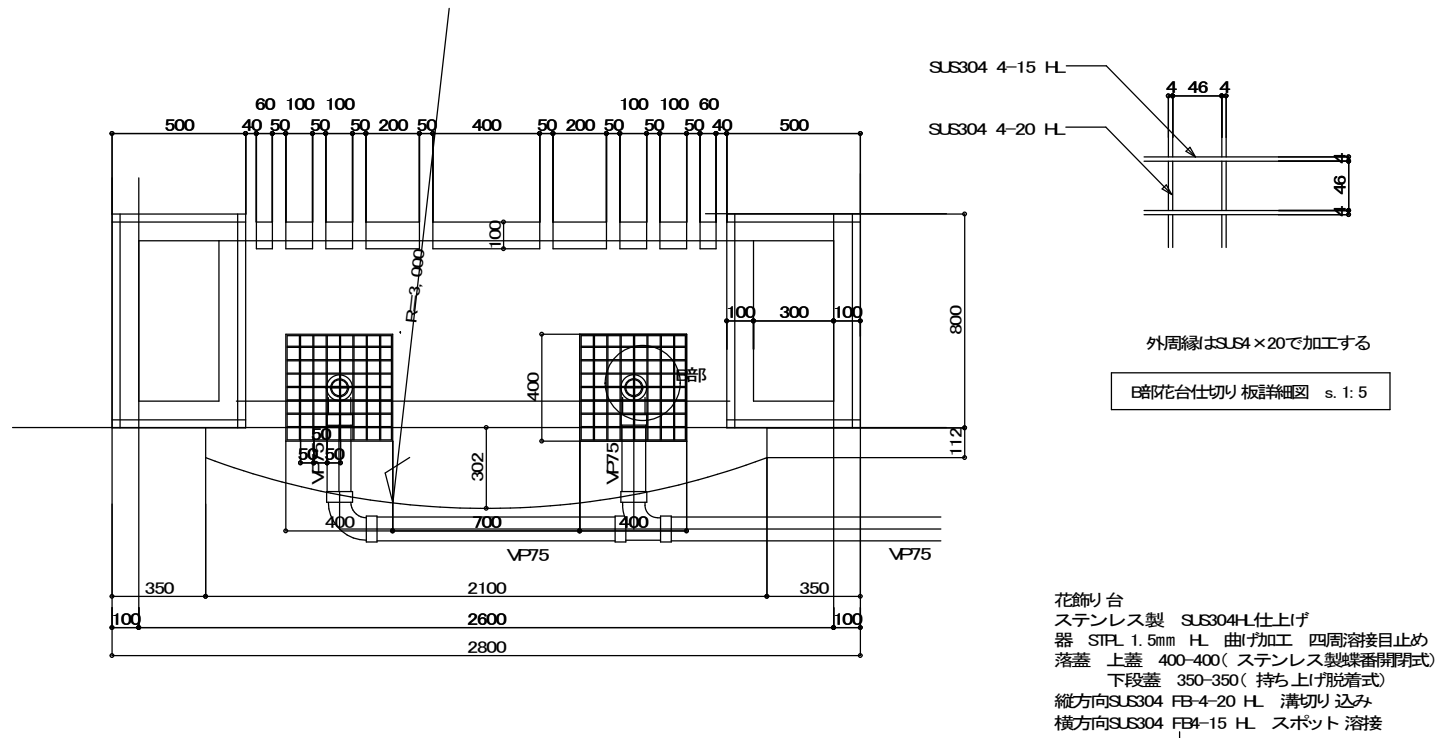


Aユニット	300×900×3	14カ所	段数 5段
Bユニット	600×600×4	6カ所	段数 5段
Cユニット	300×300×1	2カ所	段数 5段

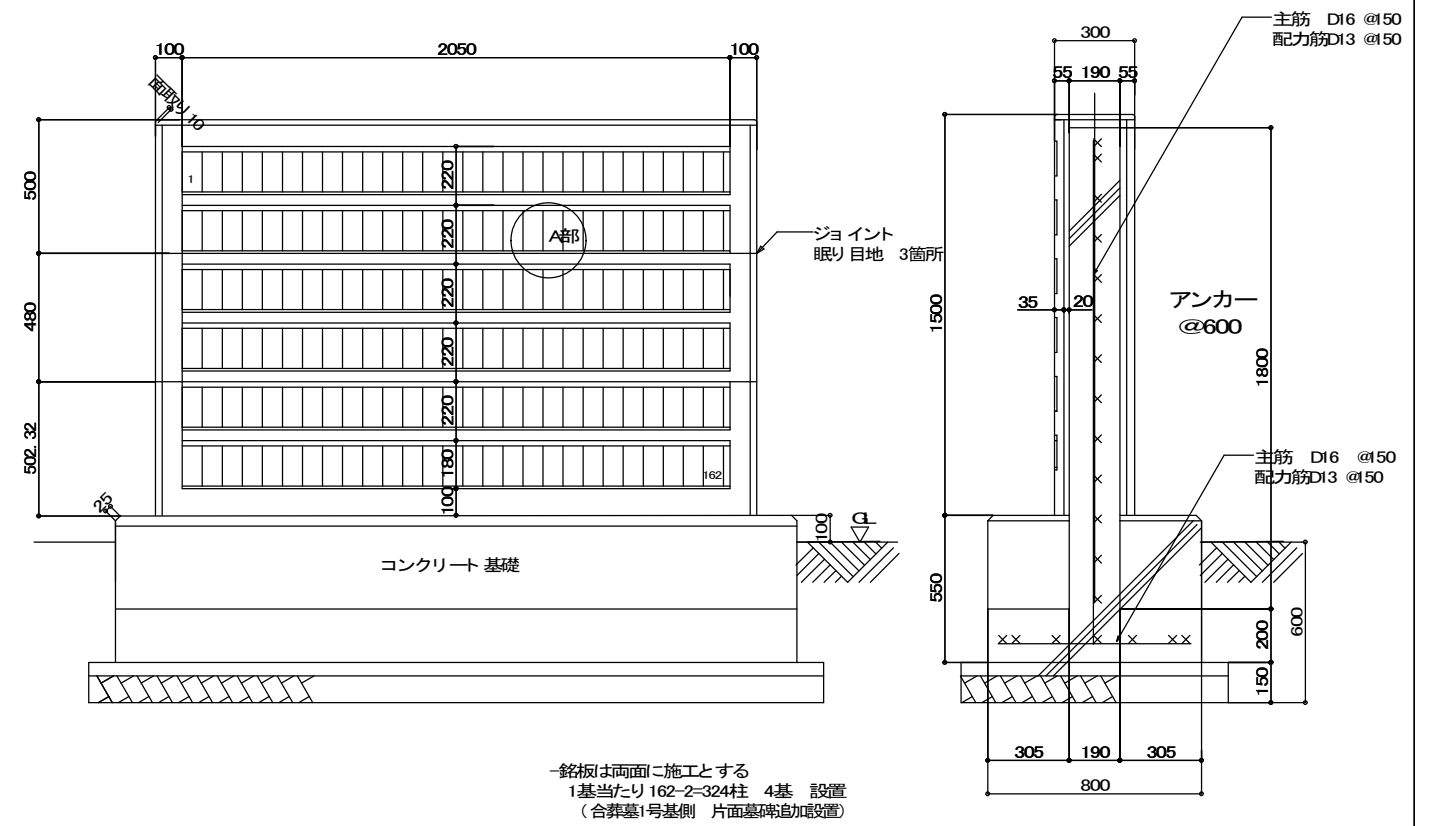
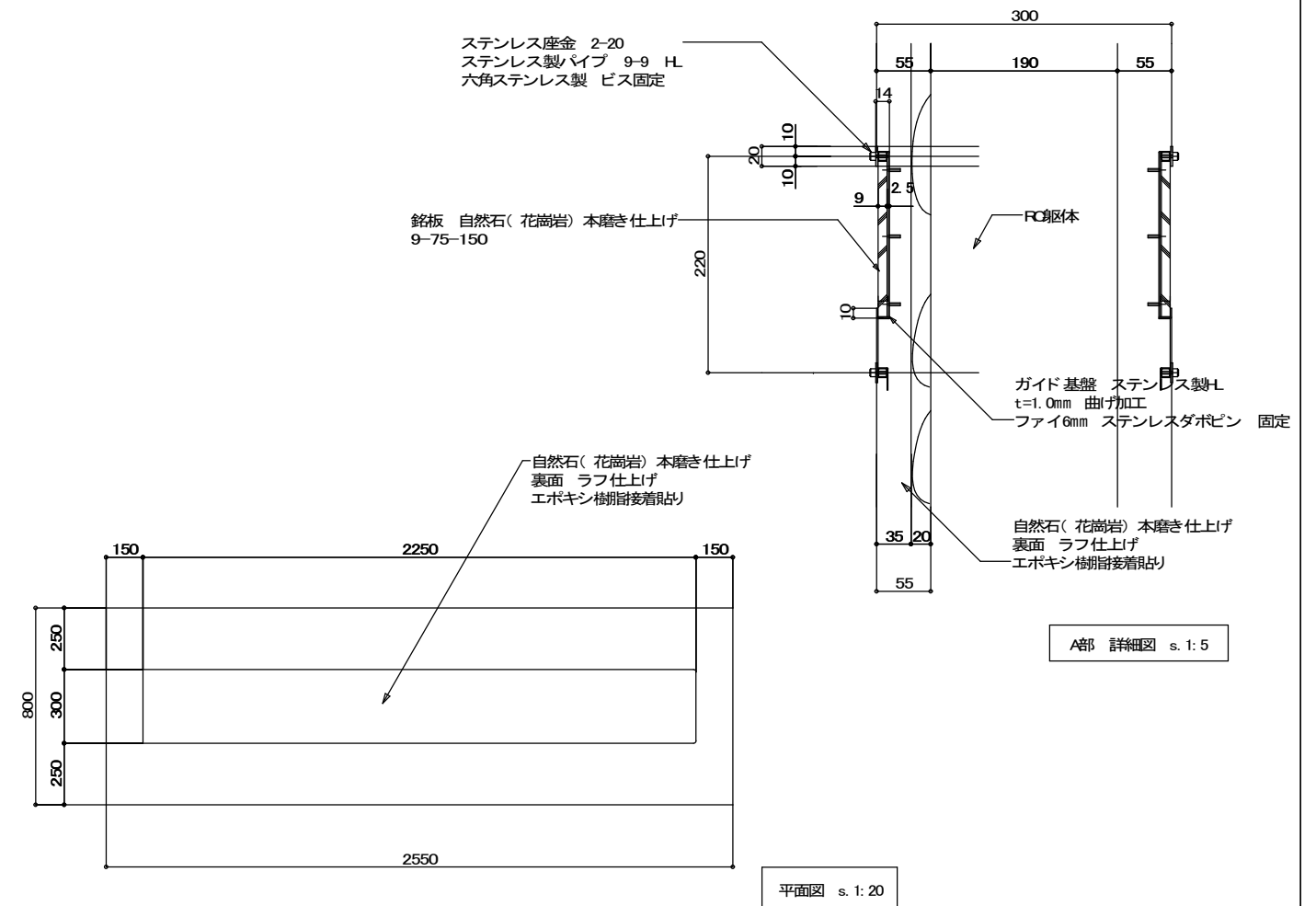
合計 340柄(基)

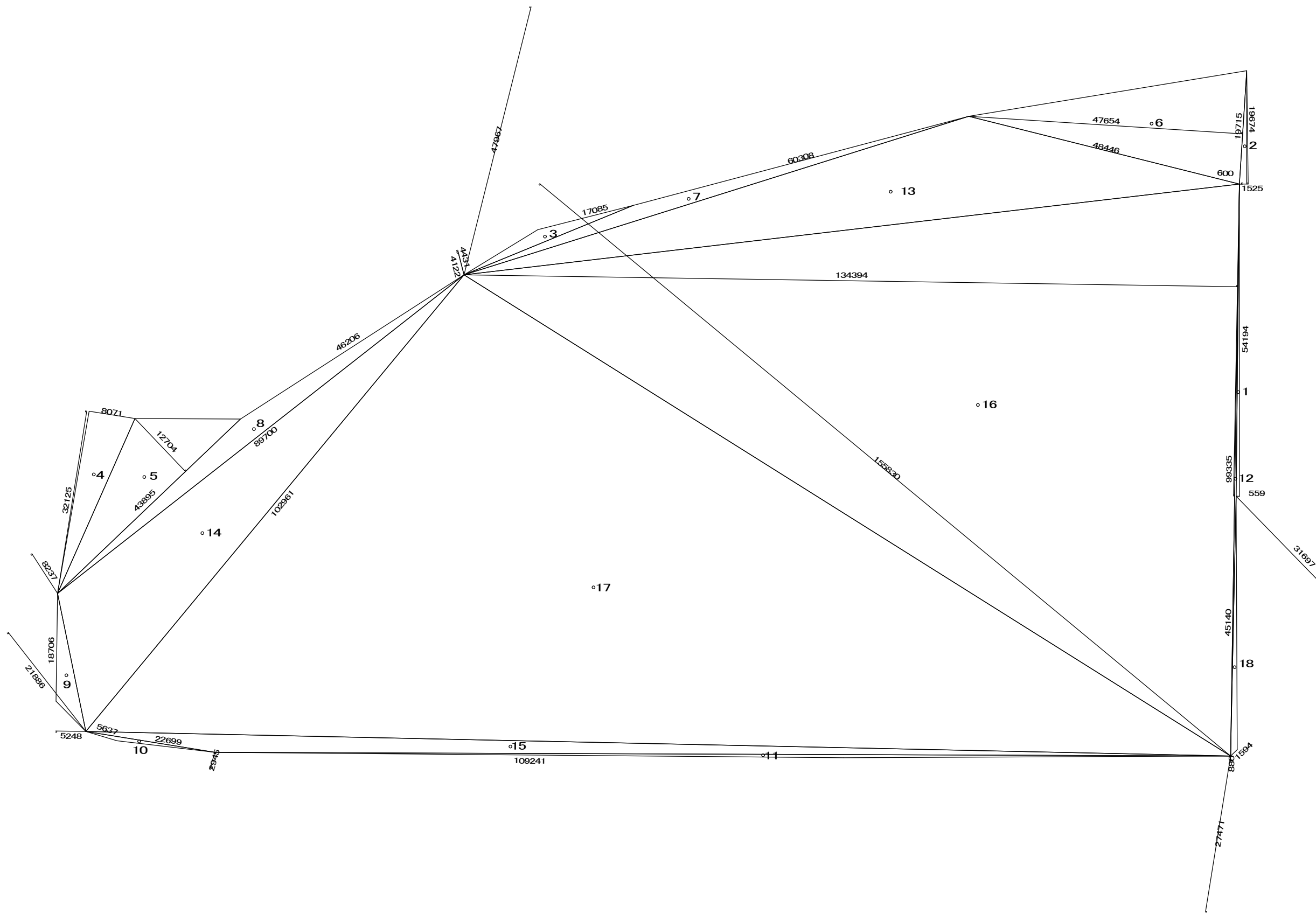


注記
この棚は全てステンレス製とする
仕上はH(ヘアライン)仕上げとする
耐震補筋として躯体に直接固定する事
転倒防止として4φのステンレスチェーンを全数装備する

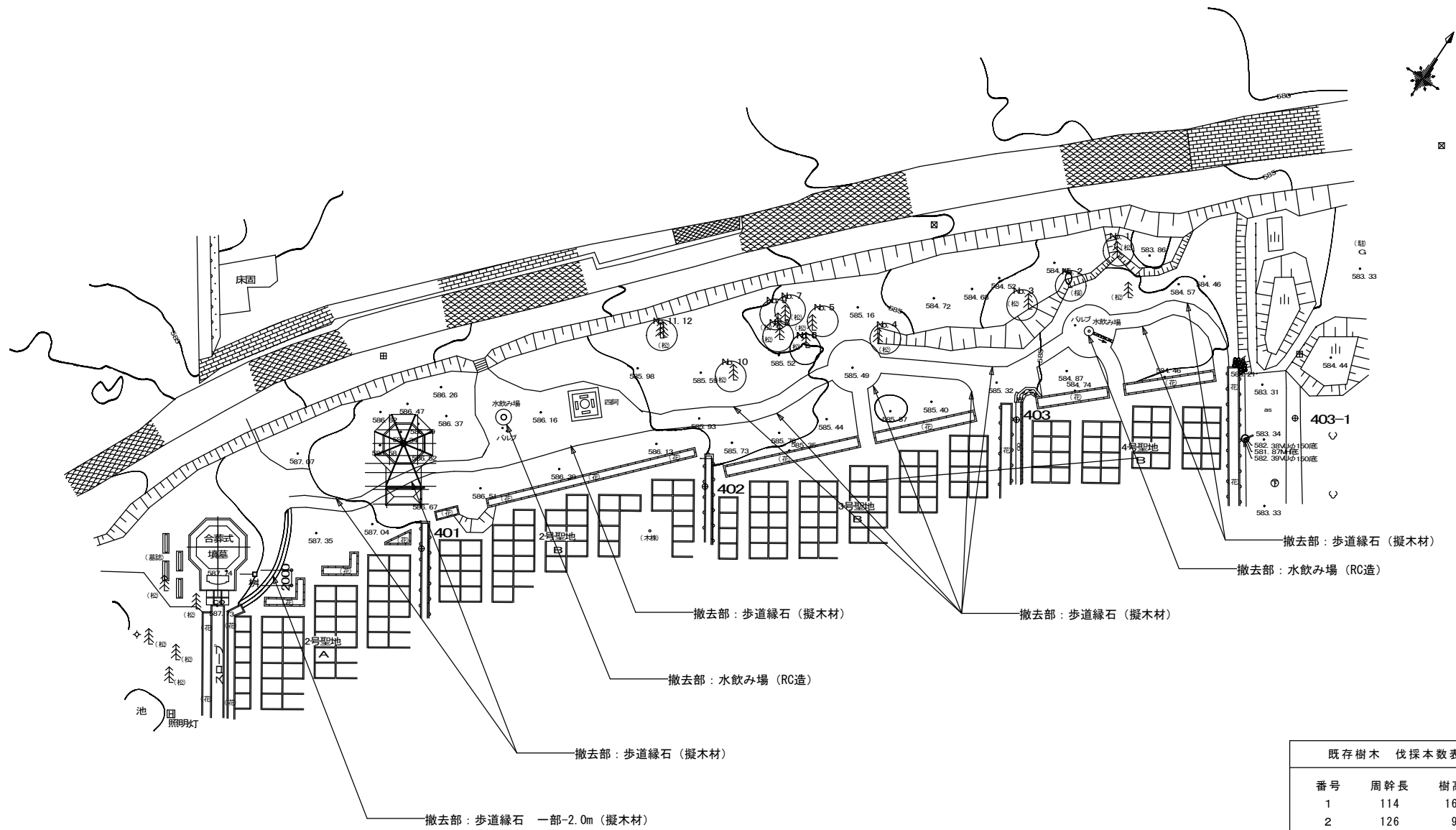


名称	仕様	数量
排水管	硬質塩化ビニル管 JIS K6741 VP Φ75・Φ50	
排水目皿	参考 ミヤコ ステンレス排水目皿 M9VST Φ50	2個



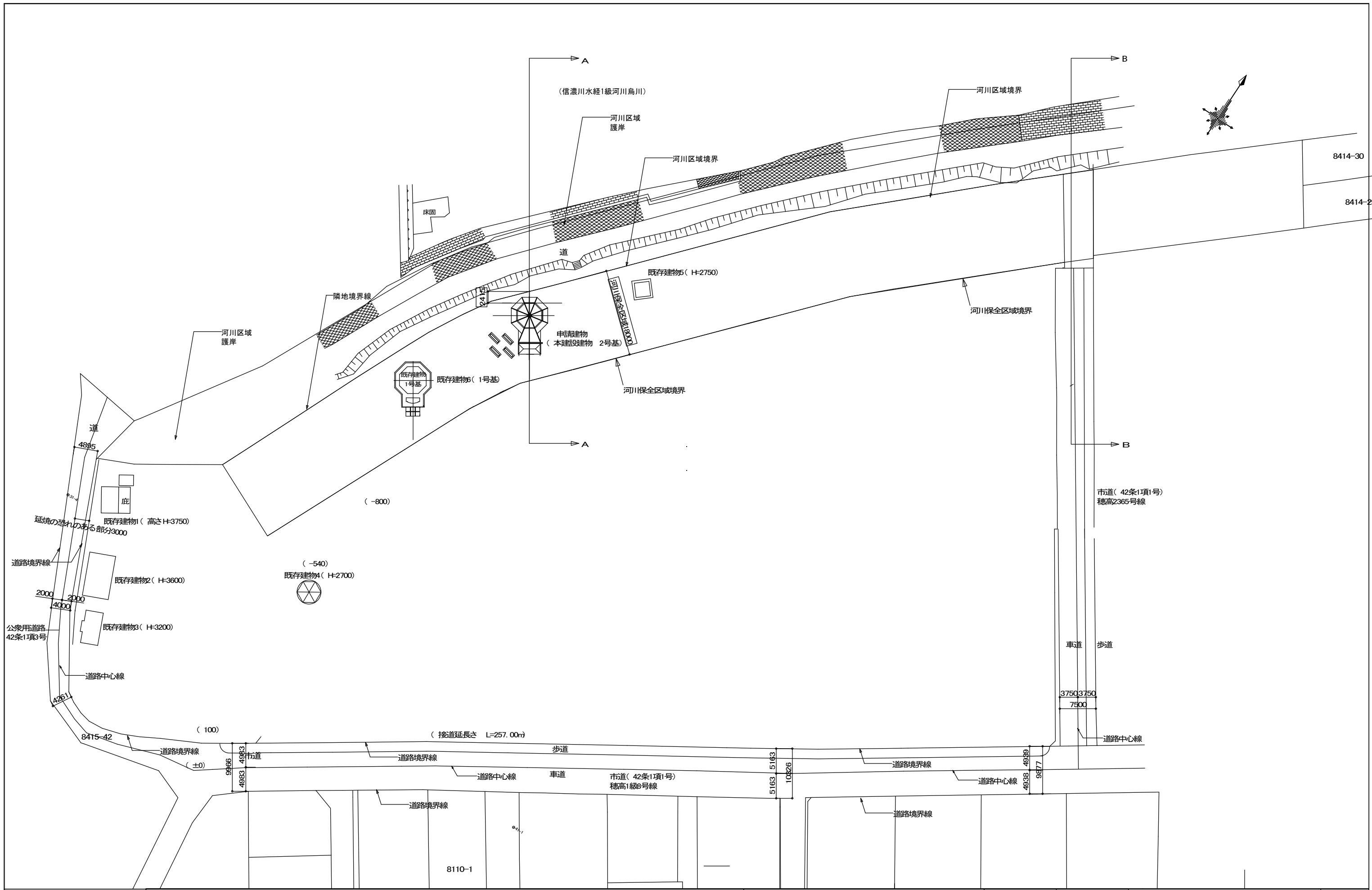


記号	計算式	面積
1	$0.600 \times 54.194 \div 2$	16.25820
2	$1.525 \times 19.674 \div 2$	15.00142
3	$17.085 \times 4.431 \div 2$	37.85181
4	$8.071 \times 32.125 \div 2$	129.64043
5	$43.895 \times 12.704 \div 2$	278.82104
6	$19.715 \times 47.654 \div 2$	469.74930
7	$60.308 \times 4.122 \div 2$	124.29478
8	$46.206 \times 8.237 \div 2$	190.29941
9	$18.706 \times 5.248 \div 2$	49.08454
10	$5.637 \times 2.945 \div 2$	8.30048
11	$109.241 \times 0.880 \div 2$	48.06604
12	$45.140 \times 0.559 \div 2$	12.61663
13	$48.446 \times 47.967 \div 2$	1161.90464
14	$89.700 \times 21.886 \div 2$	981.58710
15	$22.699 \times 27.471 \div 2$	311.78211
16	$99.335 \times 134.394 \div 2$	6675.01399
17	$102.961 \times 155.830 \div 2$	8022.20631
18	$1.594 \times 31.697 \div 2$	25.26250
	合計	18557.74073
		18557.74m ²



既存樹木 伐採本数表						
番号	周幹長	樹高	胸高直系	幹材費	枝材積	総材積
1	114	16	36	0.760	0.150	0.91
2	126	9	40	0.500	0.100	0.60
3	145	16	46	1.120	0.220	1.34
4	158	18	50	1.450	0.290	1.74
5	151	17	48	1.280	0.250	1.53
6	101	15	32	0.570	0.110	0.68
7	114	17	36	0.810	0.160	0.97
8	95	13	30	0.430	0.080	0.51
9	88	14	28	0.410	0.080	0.49
10	101	15	32	0.570	0.110	0.68
11	104	17	32	0.650	0.130	0.78
12	104	18	32	0.690	0.130	0.82

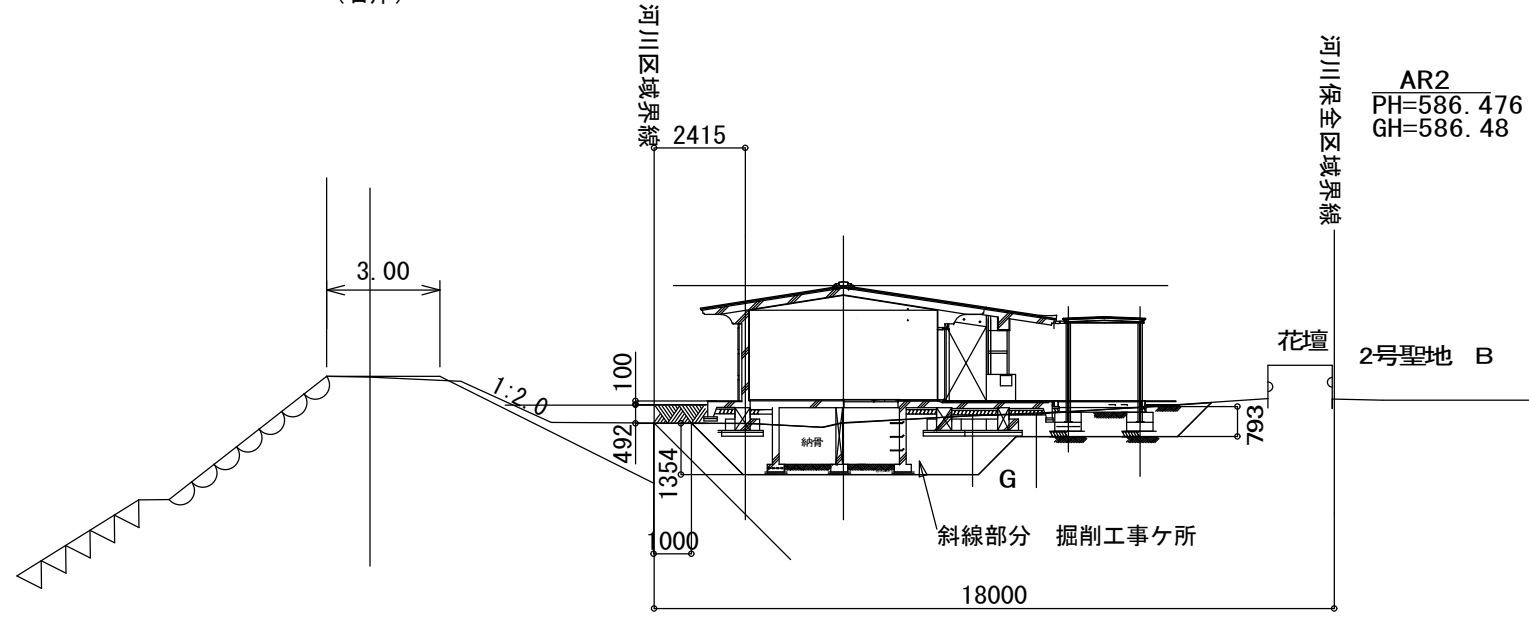
既存緑石 撤去 根拠	
既存擬木緑石サイズ	存在数量 単位t
W1 100	
W2 400	0.1-0.4-159.9=6.396m ³
長さ	0.1-0.4-155.9=6.236m ³
L=159.9m (北側緑石)	2.5t-12.632?=-31.58t
L=155.9m (南側緑石)	(— 撤去緑石範囲は波線部とする)



				2026.03	1:500	令和8年度 合葬墓2号基建設工事	A-17
						敷地配置図 (河川保護区域)	

河川横断面図

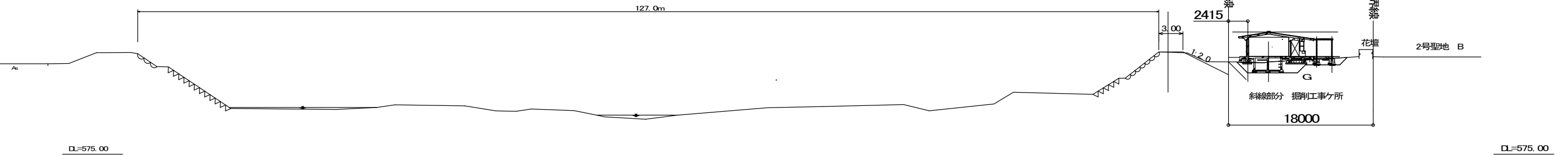
(右岸)



(河川保全区域の行為部分拡大図) S 1/200

A(A1)
GH=587.70

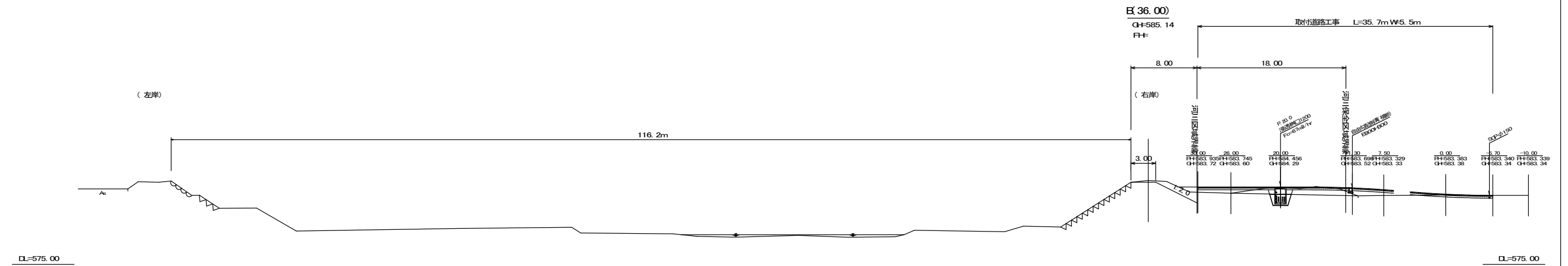
(左岸)



(右岸)

A2
GH=586.48
FH=586.476

(左岸)



E(36.00)

GH=585.14

FH=

取付道路工事 L=35.7m W=5.5m

(右岸)

(右岸)

(右岸)

(右岸)

(右岸)

(右岸)

(右岸)

(右岸)

(右岸)

(右岸)

(右岸)

(右岸)

(右岸)

(右岸)

(右岸)

(右岸)

(右岸)

(右岸)

(右岸)

(右岸)

令和8年度 合葬墓2号基建設工事
横断面図(河川保全区域請用図面)

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

1. 一般事項

- 構造図面に記載された事項は、本標準図面に優先して適用する。
- 記号
 d...異形鉄筋の呼び名に用いた数値 D...部材の成 R...直径
 @...間隔 r...半径 CL...中心線 L₁...部材間の内法距離 L₂...部材間の内法高さ
 ST...あばら筋 HOOP...帯筋 S. HOOP...補強帯筋 φ...直径

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折まげ角度 90°はスラブ・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込まれ、T形およびL形形状のキャップタイにのみ用いる。 ※片持スラブ上端筋の先端
図				
鉄筋の余長	4d 以上	6d 以上 ※d 以上	8d 以上 ※d 以上	
鉄筋はSD295A、SD295B、SD345を使用する。 折曲げ内法寸法RはD16以下は3d以上、D19以上は4d以上				

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ寸法 (R)
	帯筋 あばら筋 スライラル筋	SD295A SD295B、 SD345	D16 以下 D19 以上	3d 以上 4d 以上
	上記以外の鉄筋	SD295A SD295B、 SD345	D16 以下 D19~D25	4d 以上 6d 以上

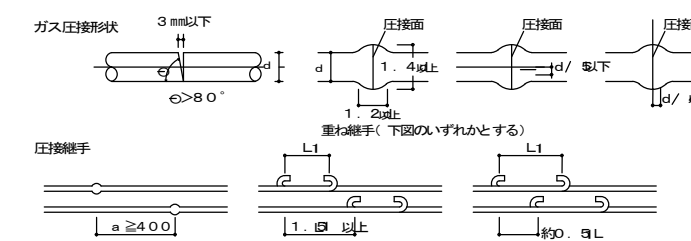
(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲 (N=24mm ²)	定着の長さ			特別の定着及び重ね継手の長さ (L ₁)
		一般 (L ₂)	下は筋 (L ₃)		
SD295A SD295B SD345	21 22.5 24 18	35d または 25d フックつき 40d または 30d フックつき	25d または 15d フックつき	10d かつ 15cm 以上	40d または 30d フックつき 45d または 35d フックつき

コンクリートは普通 $F_c = 18 \text{ N/mm}^2$ 以上 24 N/mm^2 以下、軽量 $F_c = 18 \text{ N/mm}^2$ 以上 22.5 N/mm^2 以下

継手

- 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする



(4) 鉄筋のかぶり厚さ (単位: mm)

構造部分	最小かぶり厚さ (mm)	設計かぶり厚さ (mm)
屋根スラブ・床スラブ・片持ちスラブ・非耐力壁**	20*	30*
耐力壁・壁梁・小梁・片持ち梁	30*	40*
土に接する耐力壁・床スラブ・布基礎の立上り部分	40	50
基礎つなぎ梁		
基礎 (枠コンクリート部分を除く)	60	70

〔注〕 * 耐久性上有効な仕上がりがない場合は、屋内・屋外にかかわらず 10mm増しとする。
 又、軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
 ** 片持ちスラブ先端は、最小かぶり 30mmとする。〔8-(1)参照〕

(5) 鉄筋のあき

- 異形鉄筋では呼び名に用いた数値 1.5d 以上 異形鉄筋
- 粗骨材の最大寸法 1.2倍以上かつ 25以上

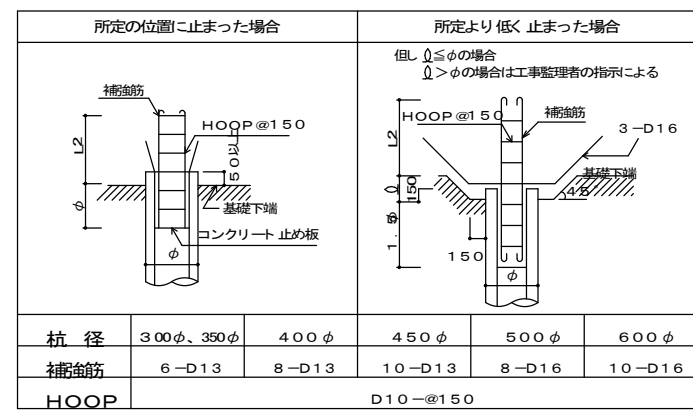
(6) 鉄筋のフック (a~fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)

- 壁長が1m以下の耐力壁筋の末端部
- あばら筋、帯筋
- 煙突の鉄筋
- 柱、梁 (基礎梁を除く) の出たみ部分の鉄筋 (右図参照)
- 単筋梁の下端筋
- その他、本標準図面に記載する箇所

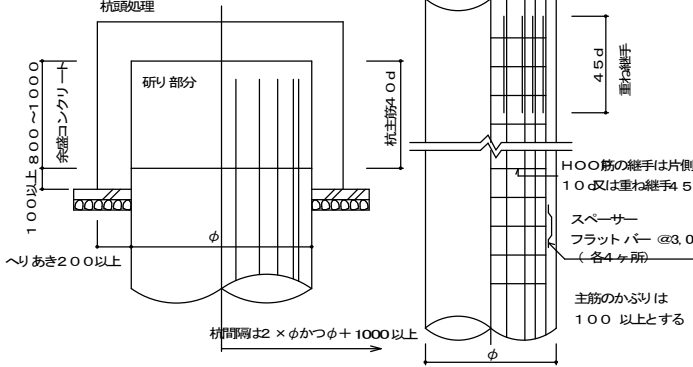
3. 杭

(地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

(1) PC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

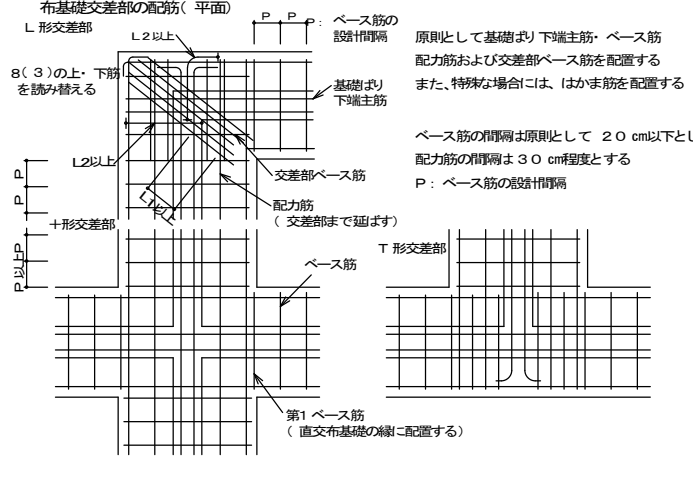
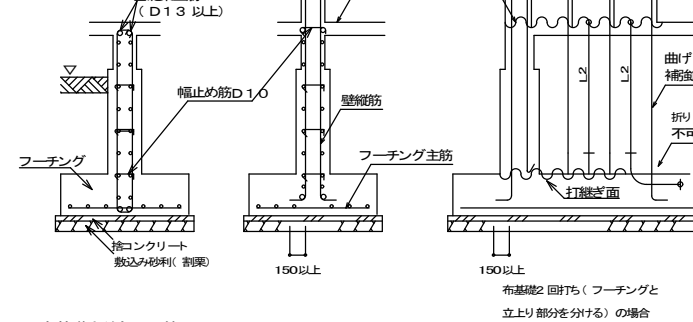


(2) 現場打ちコンクリート杭

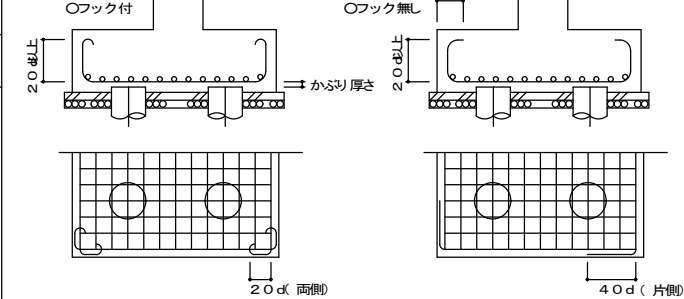


4. 基礎

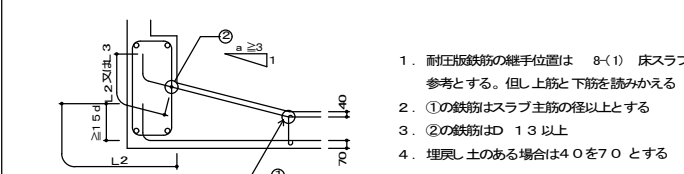
(1) 布基礎



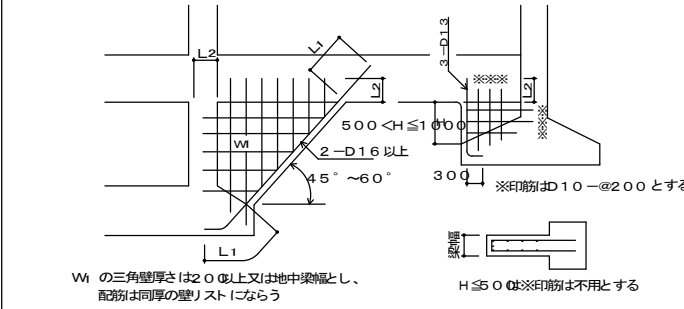
(2) 杭基礎



(3) ベテ基礎

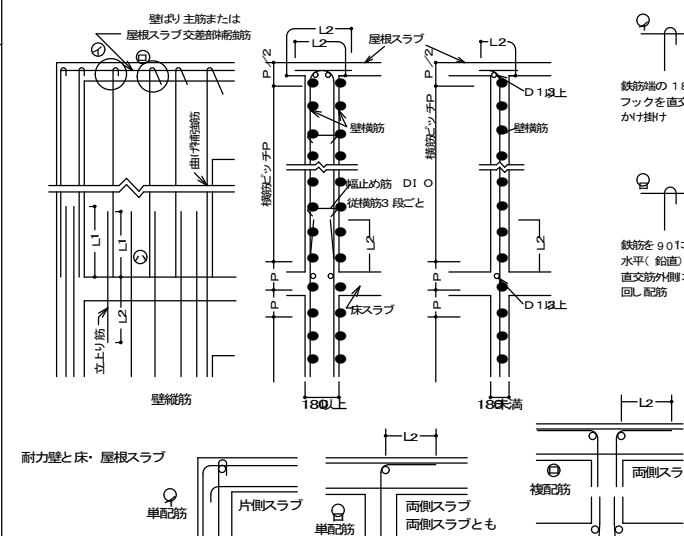


(4) 基礎接合部の補強

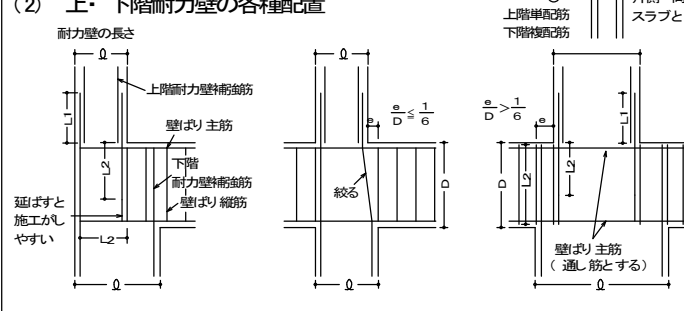


5. 耐力壁

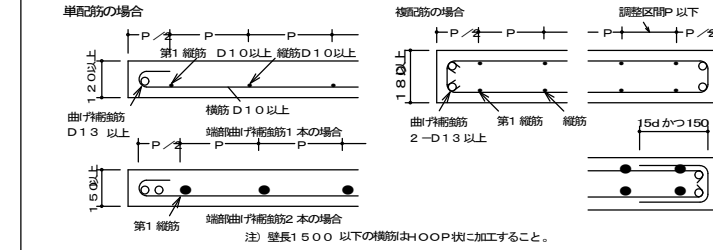
(1) 縦筋・曲げ補強筋・縦補強筋の定着



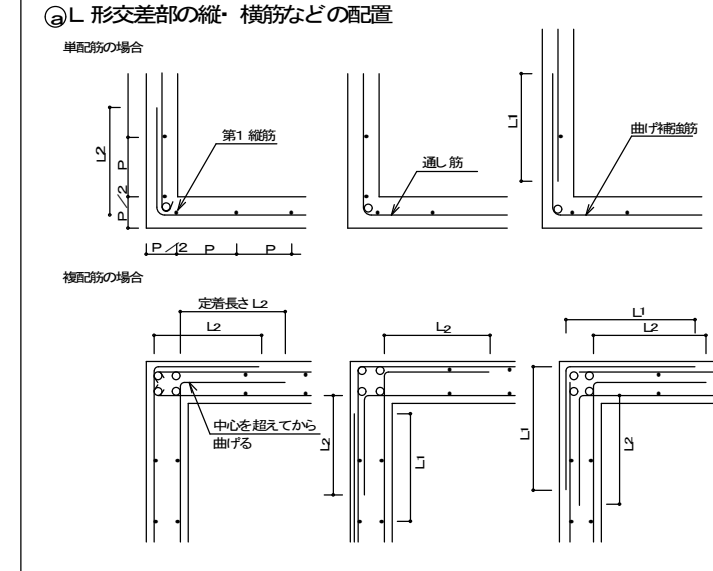
(2) 上・下階耐力壁の各種配置



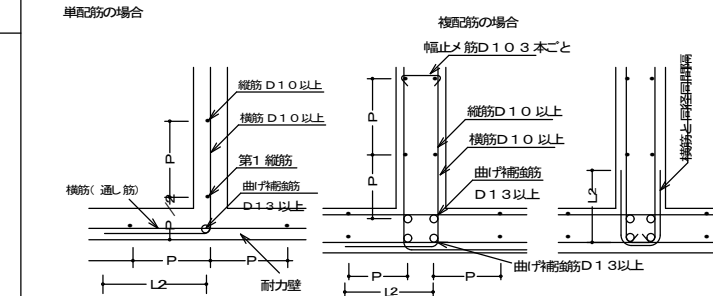
(3) 耐力壁の縦・横筋の配置



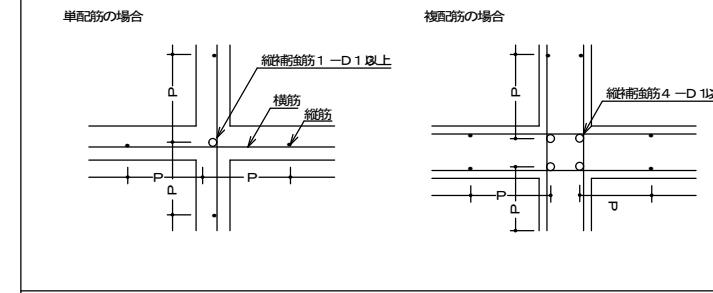
(4) 耐力壁が交差する場合 (平面)



◎ L形交差部の縦・横筋などの配置



◎ T形交差部の縦・横筋などの配置



6. 使用可能な鉄筋の最大径 (標準)

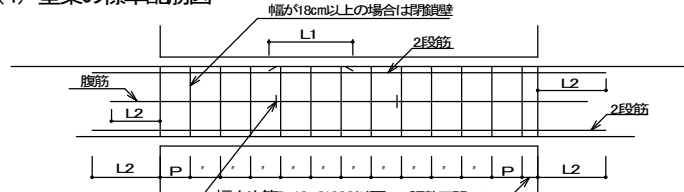
構造種別	耐力壁	壁梁 臥梁 小梁	布基礎 基礎梁	スラブ	非耐力壁	塀
壁式鉄筋 コンクリート造	D22	D22	D25	D16	D16	D16

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

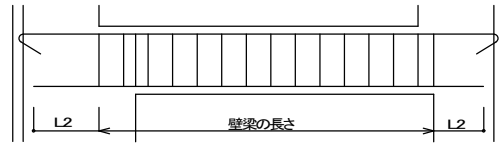
L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(2)による。

7. 壁梁、小梁

(1) 壁梁の標準配筋図

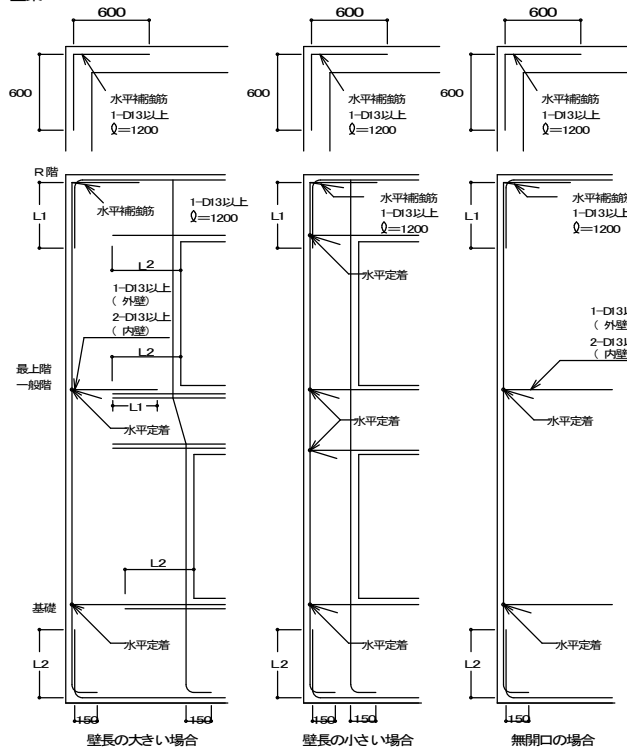


(2) 壁梁の範囲

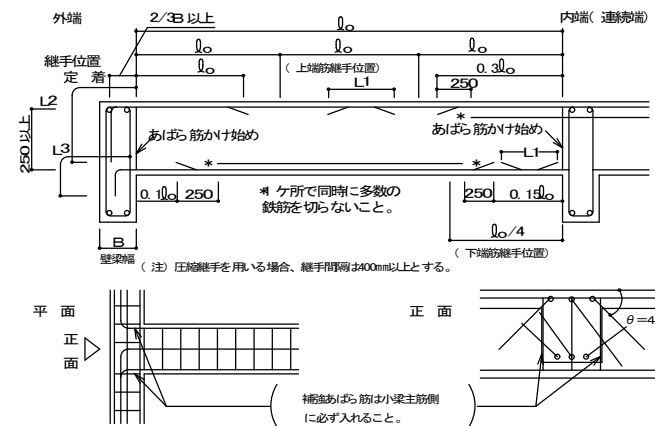


(3) 定着

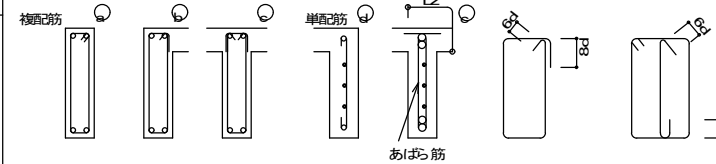
○ 壁梁



○ 小梁の定着・継手位置およびトッ筋長さ

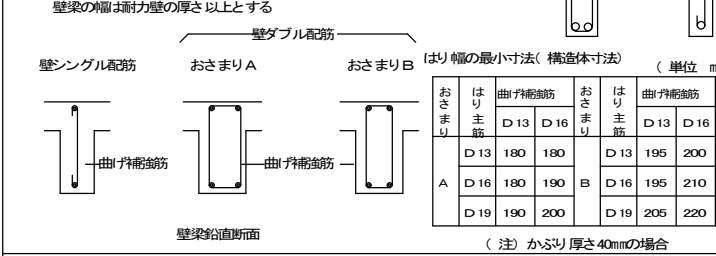


(4) あばら筋の型



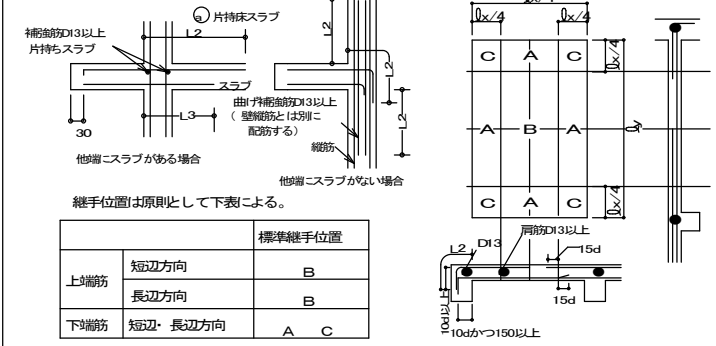
- (イ) 原則として○のフック先曲げとする。片側床版付(L型)梁で○、両側床版付(T型)梁で○とすることができる。
- (ロ) フックの位置は○にあって交互、○にあってはスラブ側とする。

(5) 壁梁と壁のおさまり



8. 床板

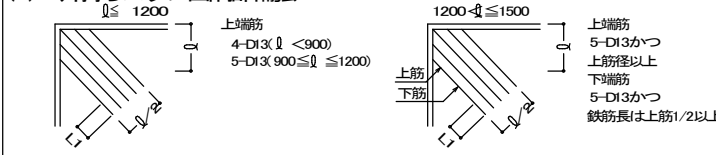
(1) 定着および継手



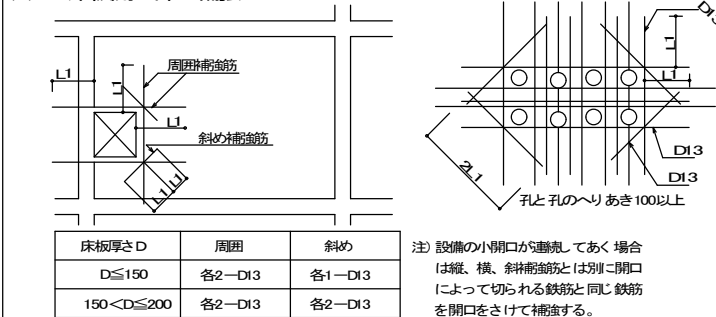
(2) 屋根スラブの補強



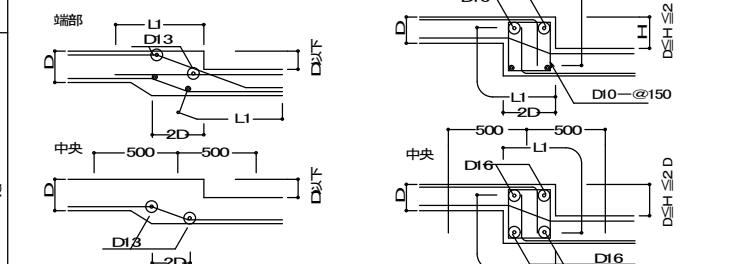
(3) 片持ちスラブ出隅部補強



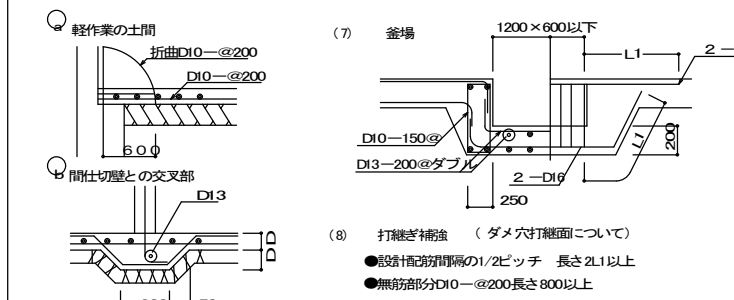
(4) 床板開口部の補筋 (開口の径500以上の場合)



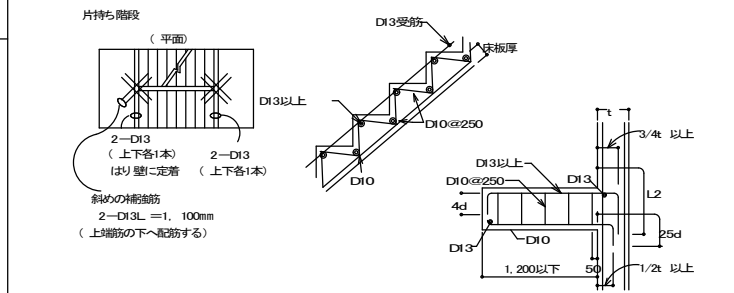
(5) 床板段差



(6) 土間コンクリート

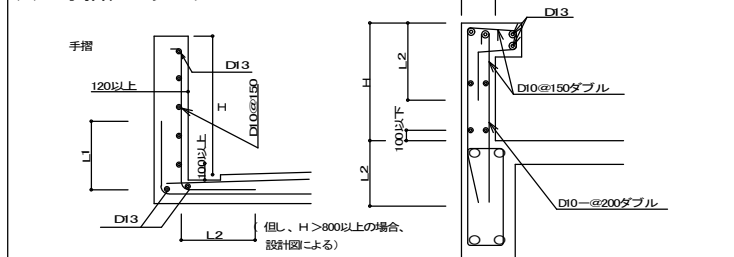


9. 階段

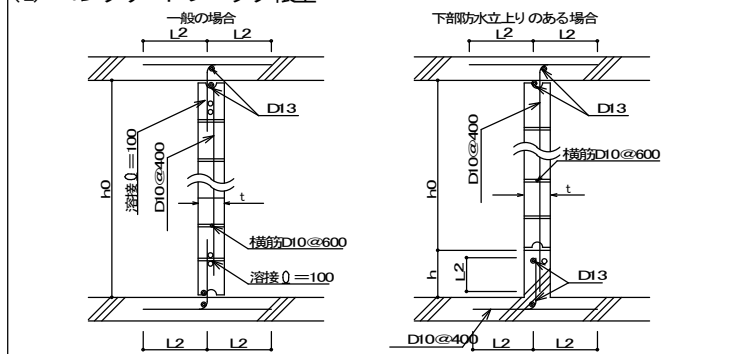


10. その他

(1) 手摺、バラベツ



(2) コンクリートブロック帳壁



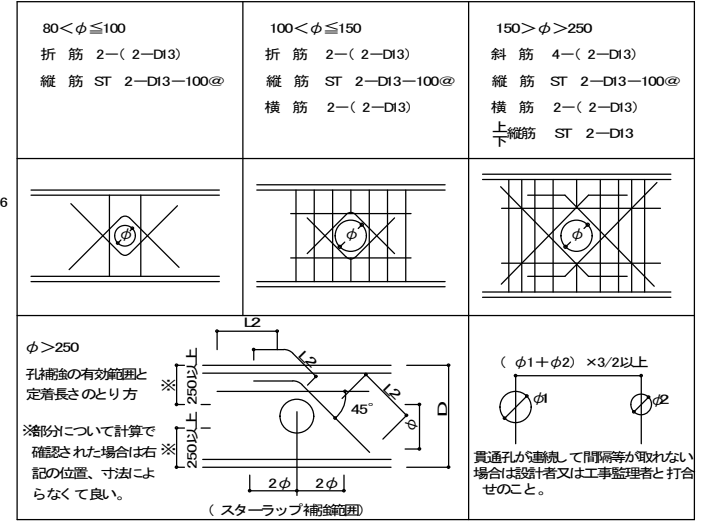
11. 梁貫通孔補筋

(1) 既製品

○リング型 □V型 □金網型 □プレート型 □

(2) 鉄筋標準配筋

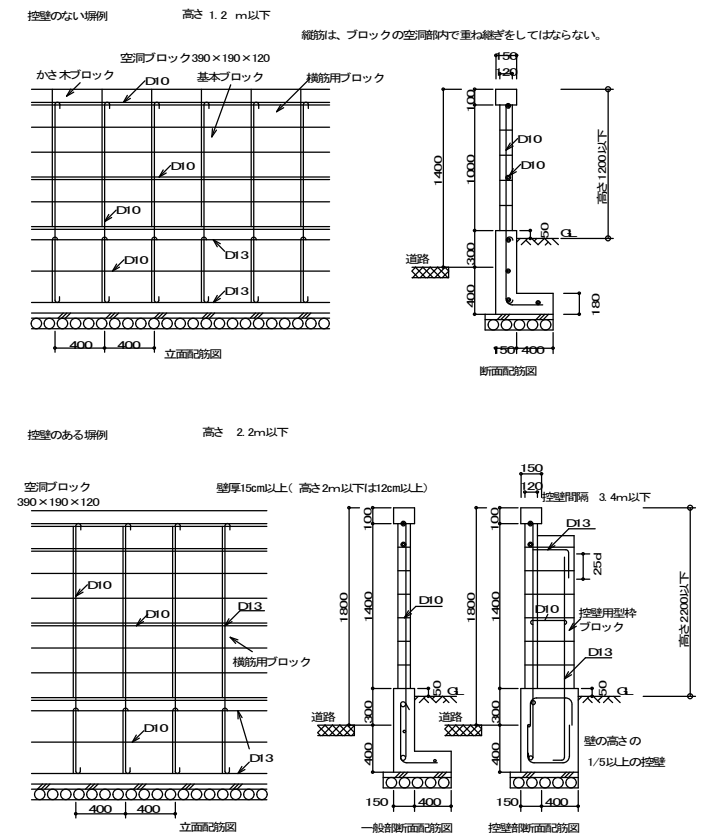
但し $\phi \leq D/3$ とする
設置可能範囲 梁端部(スパンL/10以内かつ2D以上) 避ける



12. コンクリートブロック塀

(1) ブロック塀の高さ、厚さと基礎の構造

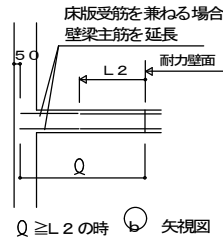
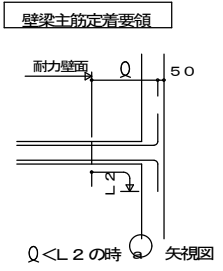
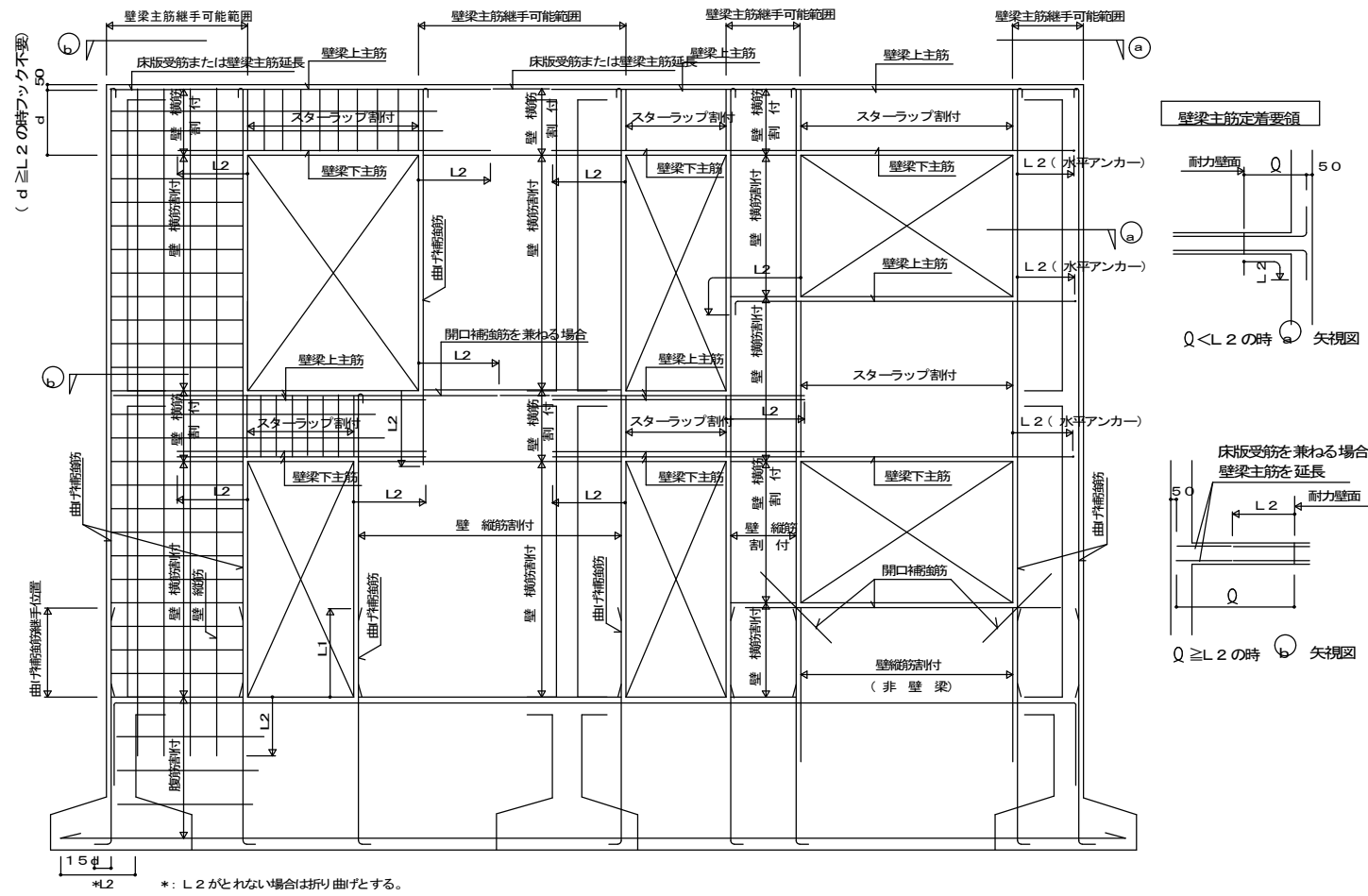
- 塀の高さ(地盤面-高低差のある場合は低方による)は2.2m以下。
- 塀の厚さは、塀の高さ2m以下の場合12cm以上、2mを超える場合は15cm以上。
- 地盤が軟弱化の恐れのある砂質土および軟弱土の場合は、別途補筋する。
- 鉄筋挿入部はモルタルを充てんすること。



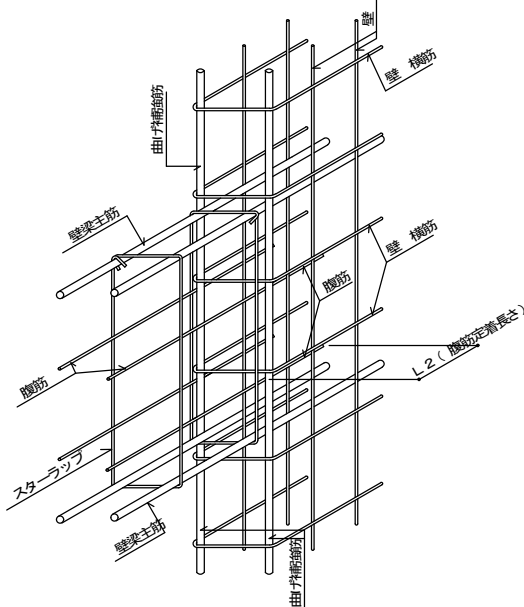
壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (3)

1.3. 耐力壁・壁梁の配筋詳細

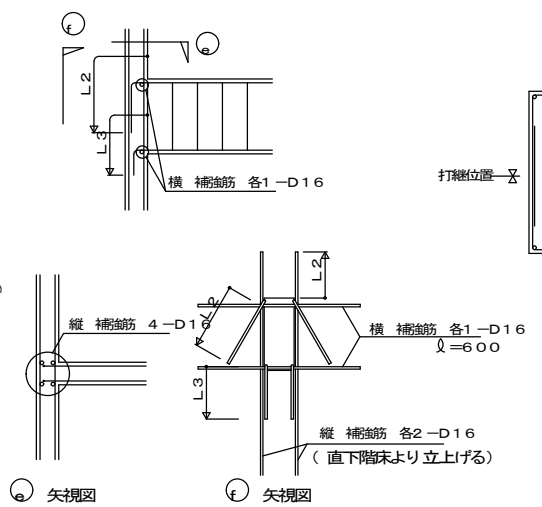
- ・壁梁主筋の定着・継手およびスターラップの割付。
- ・耐力壁曲げ補強筋の定着および継手。縦横筋の割付。



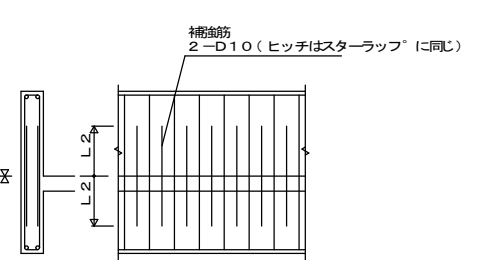
耐力壁・壁梁交叉部筋

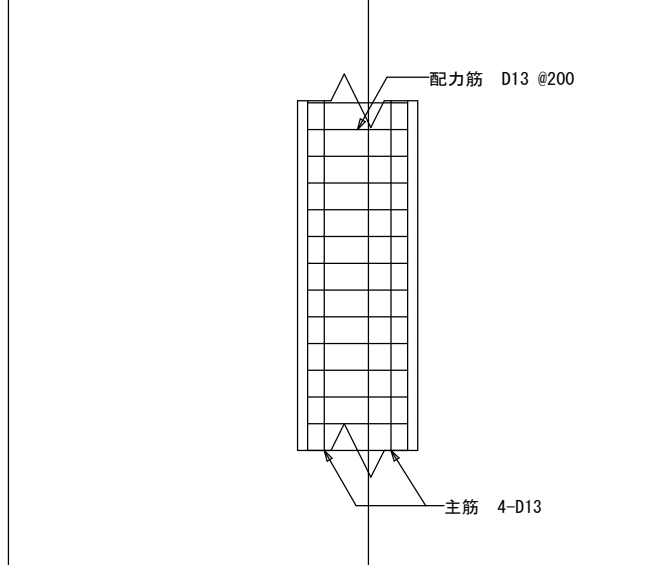
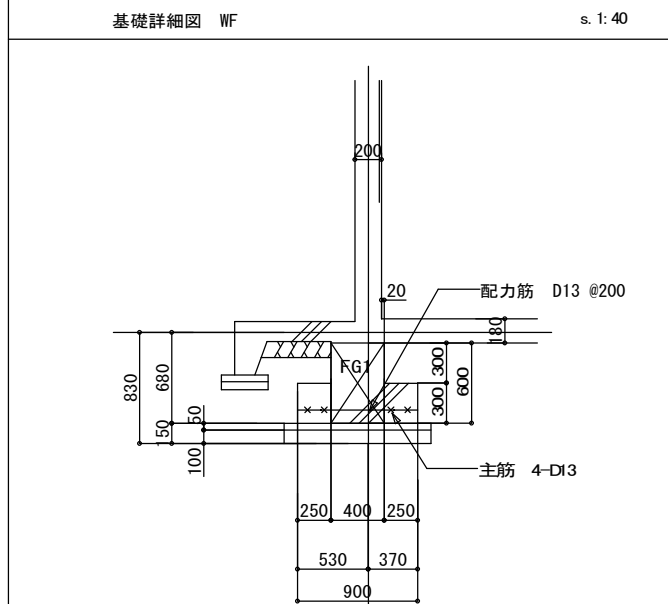
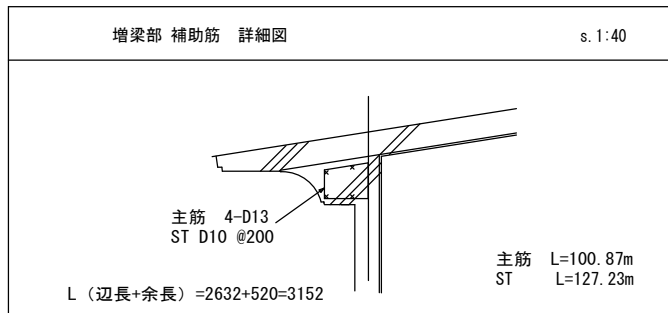
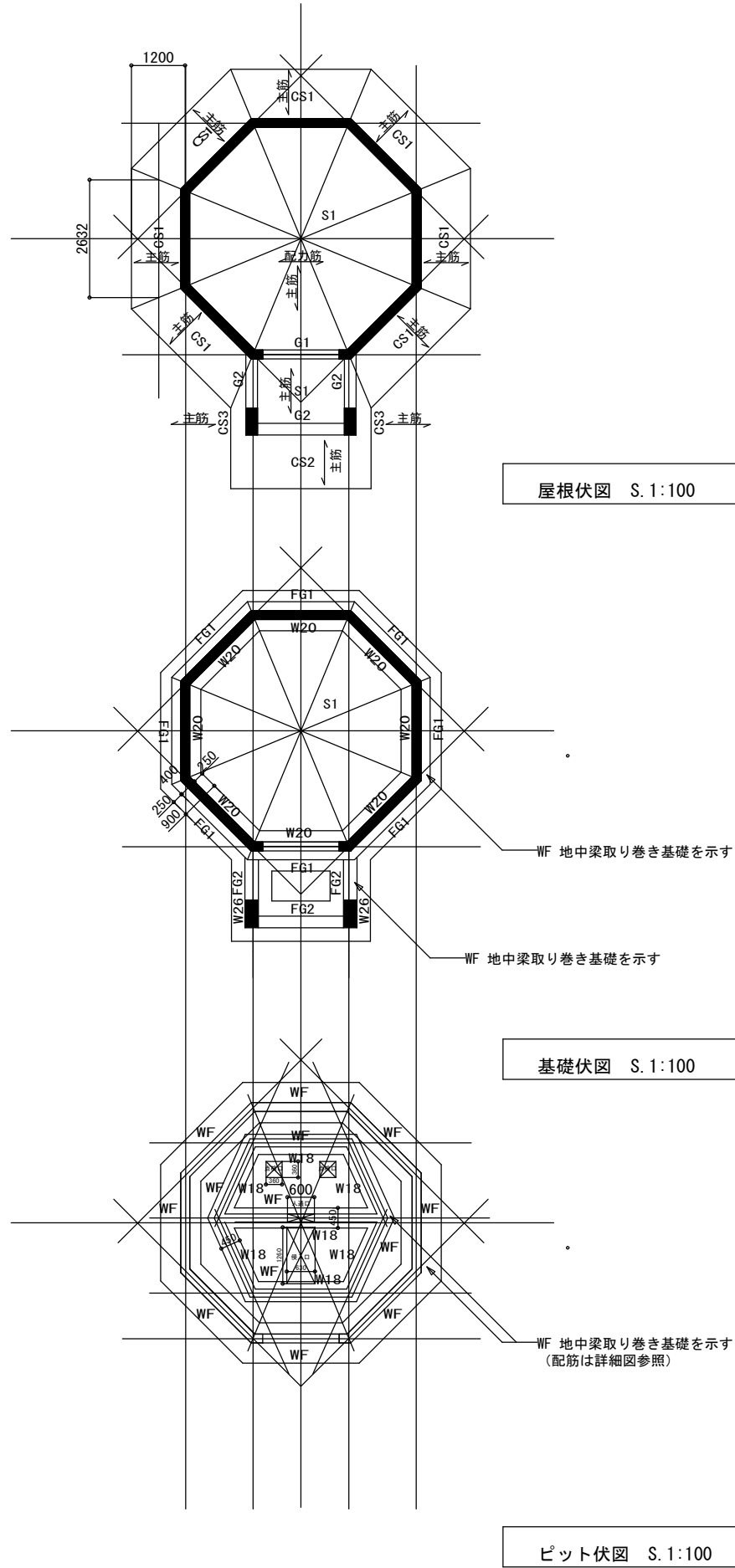


壁と梁の取合部筋



壁梁打継ぎ筋





設計長期地耐力度: $f_e=100\text{kN/m}^2$
 設計短期地耐力度: $f_e=200\text{kN/m}^2$

コンクリート 設計基準強度 $\text{FC}24\text{N/m}^2$
 鉄筋 SD295 D16以下
 SD345 D19~25

スラブリスト		位置	短辺方向 (主筋)	長辺方向 (配力筋)	備考
符号	版厚		全域	全域	
S1	180	上端筋	D10・D13@200	D10・D13@200	
		下端筋	D10 @200	D10 @200	
CS1	基端部) 180	上端筋	D10・D13@200	D10 @200	図示参照
	先端部) 150	下端筋	D10 @200	D10 @200	
CS2	基端部) 180	上端筋	D13 @200	D10 @200	図示参照
	先端部) 150	下端筋	D10 @200	D10 @200	
CS3	先端部) 150	上端筋	D10・D13@200	D10 @200	図示参照
	先端部) 150	下端筋	D10 @200	D10 @200	

壁リスト		W20	W18	W26	備考
符号					
断面					
壁厚		200	180	260	
縦筋		D10-@200 (ダブル)	D10-@200 (ダブル)	4-D16+4-D10	
横筋		D10-@200 (ダブル)	D10-@200 (ダブル)	□-D10-@200	
開口補筋	縦	2-D16	2-D16	-	
	横	2-D16	2-D16	-	
	斜め	2-D13	2-D13	-	

梁リスト		FG1	FG2	G1	□	備考
符号						
位置		全断面	全断面			
断面						
断面寸法		400 x 600	300 x 600	180 x 450	260 x 450	
上端筋		3-D16	2-D16	2-D16	2-D16	
下端筋		3-D16	2-D16	2-D16	2-D16	
あばら筋		□-D13-@200	□-D13-@200	□-D13-@200	□-D13-@200	
腹筋		4-D10	4-D10	2-D10	2-D10	

特記なき限り 1. 腹筋は壁筋と同径、同ピッチとする。
 2. 幅止め筋 D10-@1,000

2026.03

1:100
1:40

令和8年度 合葬墓2号基建設工事

構造図1 各階伏図 リスト

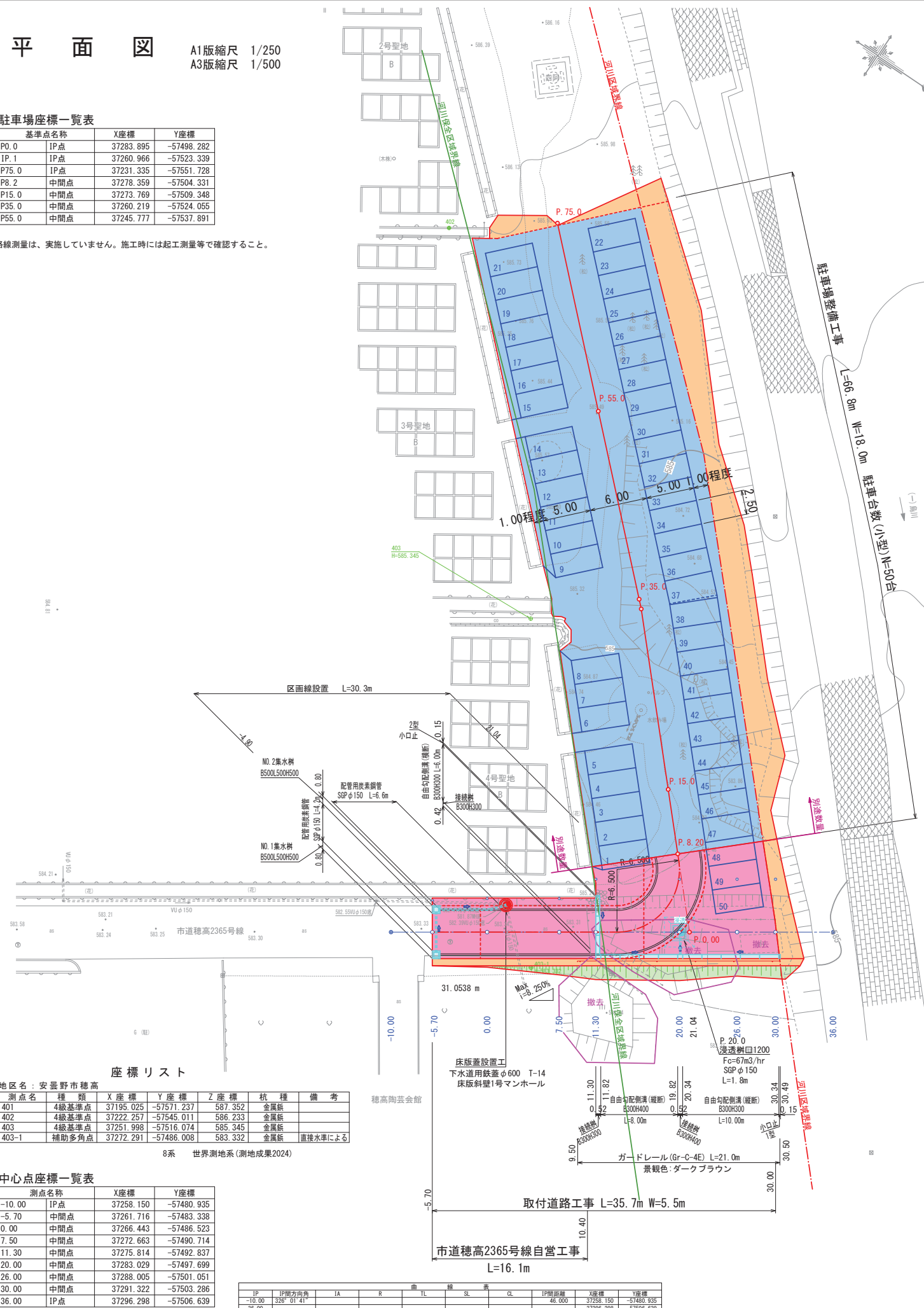
平面図

A1版縮尺 1/250
A3版縮尺 1/500

駐車場座標一覧表

基準点名称	X座標	Y座標
P0.0	IP点	37283.895 -57498.282
IP.1	IP点	37260.966 -57523.339
P75.0	IP点	37231.335 -57551.728
P8.2	中間点	37278.359 -57504.331
P15.0	中間点	37273.769 -57509.348
P35.0	中間点	37260.219 -57524.055
P55.0	中間点	37245.777 -57537.891

*路線測量は、実施していません。施工時には起工測量等で確認すること。



座標リスト

測点名	種類	X座標	Y座標	Z座標	杭種	備考
401	4線基準点	37195.025	-57571.237	587.352	金属板	
402	4線基準点	37222.257	-57545.011	586.233	金属板	
403	4線基準点	37251.998	-57516.074	585.345	金属板	
403-1	補助多角点	37272.291	-57486.008	583.332	金属板	直接水準による

8系 世界測地系(測地成果2024)

中心点座標一覧表

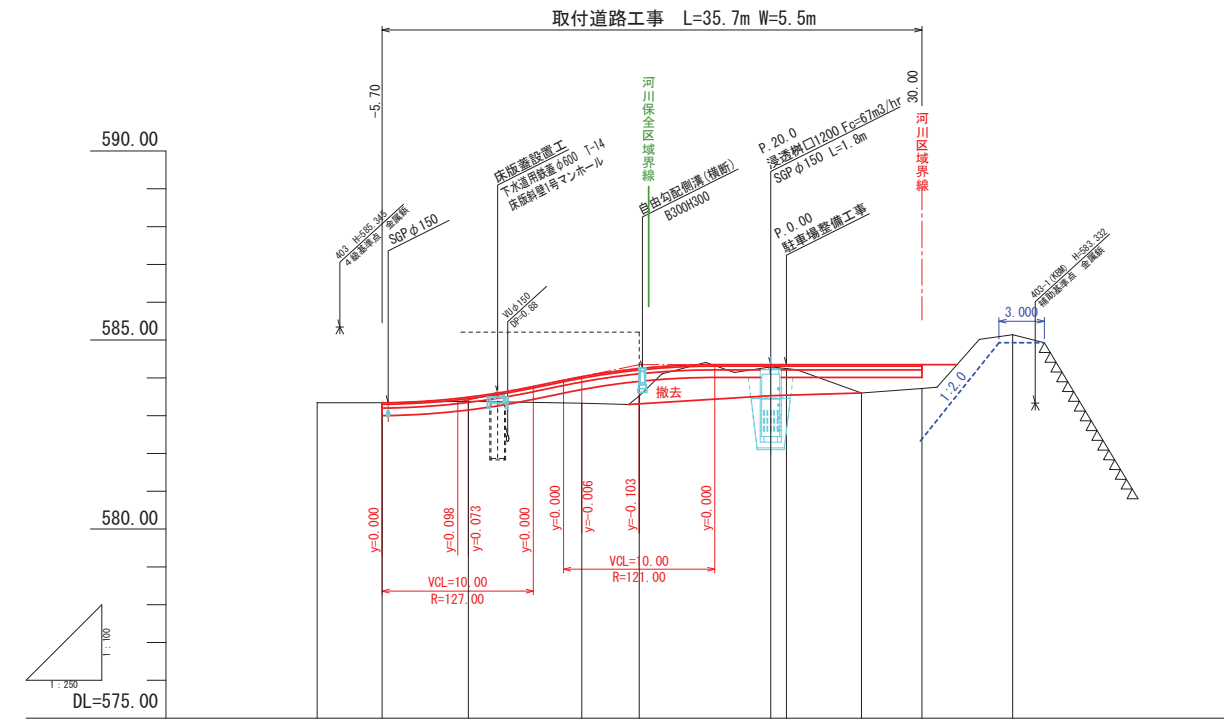
測点名称	X座標	Y座標
-10.00	IP点	37258.150 -57480.935
-5.70	中間点	37261.716 -57483.338
0.00	中間点	37266.443 -57486.523
7.50	中間点	37272.663 -57490.714
11.30	中間点	37275.814 -57492.837
20.00	中間点	37283.029 -57497.699
26.00	中間点	37288.005 -57501.051
30.00	中間点	37291.322 -57503.286
36.00	IP点	37296.298 -57506.639

8系 世界測地系(測地成果2024)

IP	IP座標	IA	IB	IC	TL	SL	CL	IP座標	X座標	Y座標
-10.00	37258.150	01.41						46.000	37258.150	-57480.935
36.00								36.000	37296.298	-57506.639

縦断面図

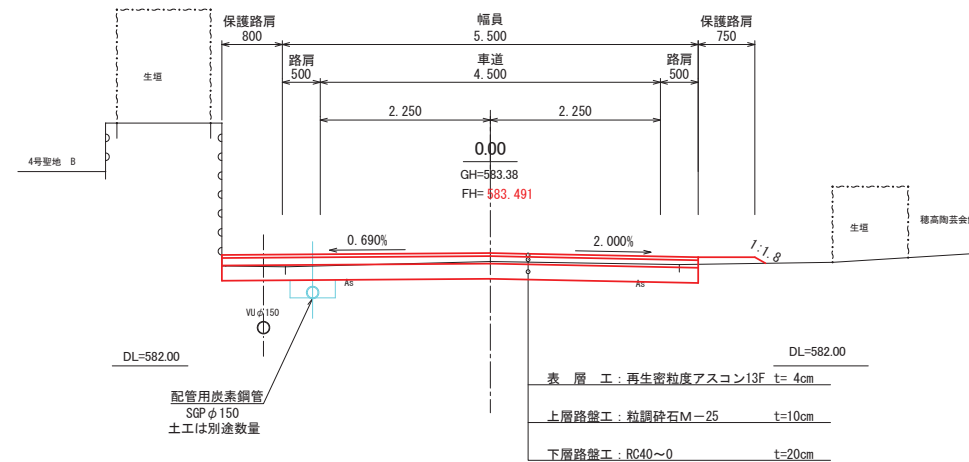
A1版縮尺 V=1/100, H=1/250
A3版縮尺 V=1/200, H=1/500



勾配	切盛	計画高	地盤高	追加距離	単距離	測点
						-10.00
	0.000	583.340	583.34	-10.00	-4.30	-5.70
	0.111	583.468	583.38	-0.70	-5.00	0.00
	0.701	584.031	583.33	7.50	-0.70	7.50
	0.727	584.247	583.52	11.30	3.80	11.30
	0.060	584.350	584.29	20.00	8.70	20.00
	0.750	584.350	583.60	26.00	6.00	26.00
	0.630	584.350	583.72	30.00	4.00	30.00
			585.14	36.00	6.00	36.00

標準横断面図

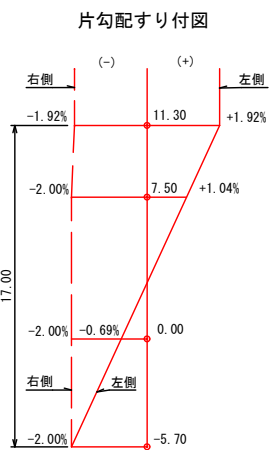
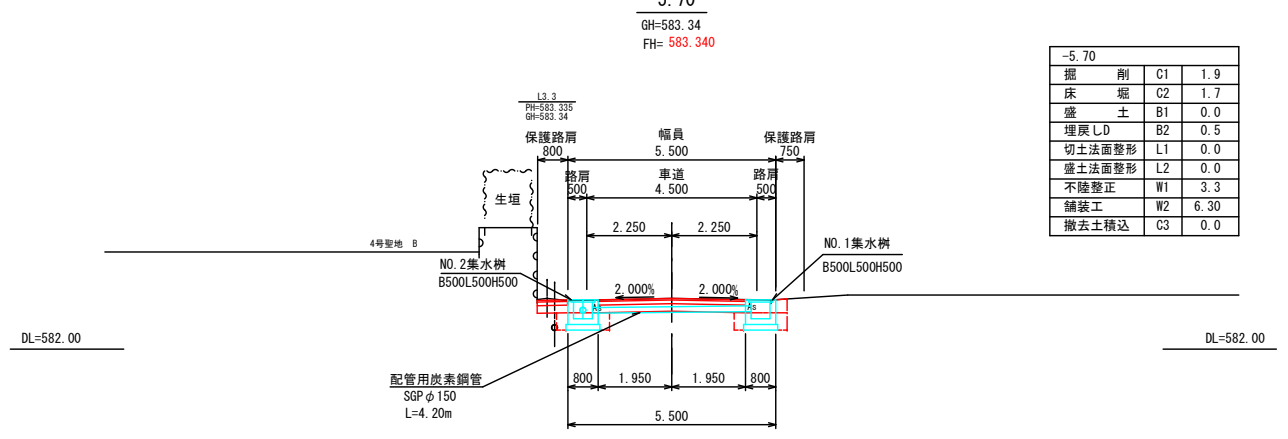
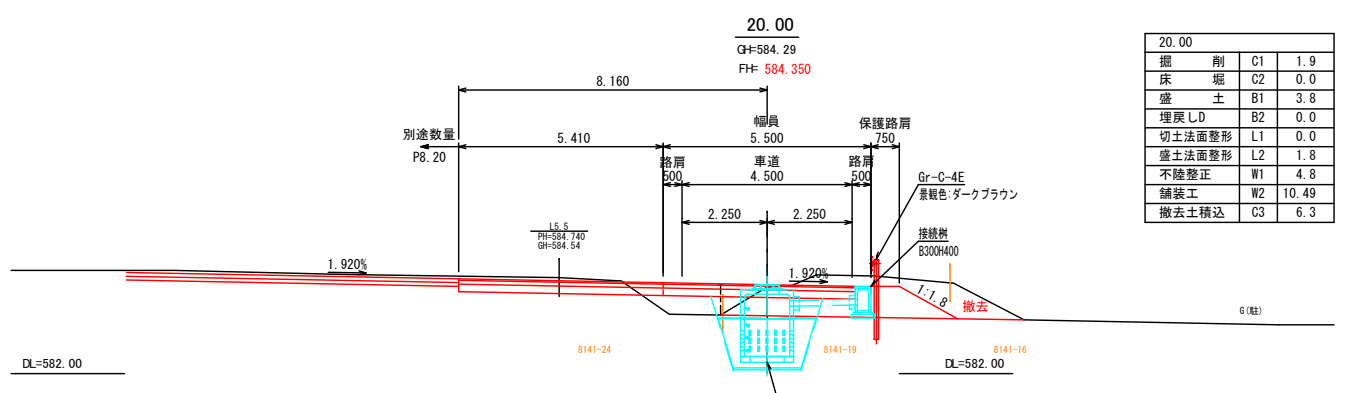
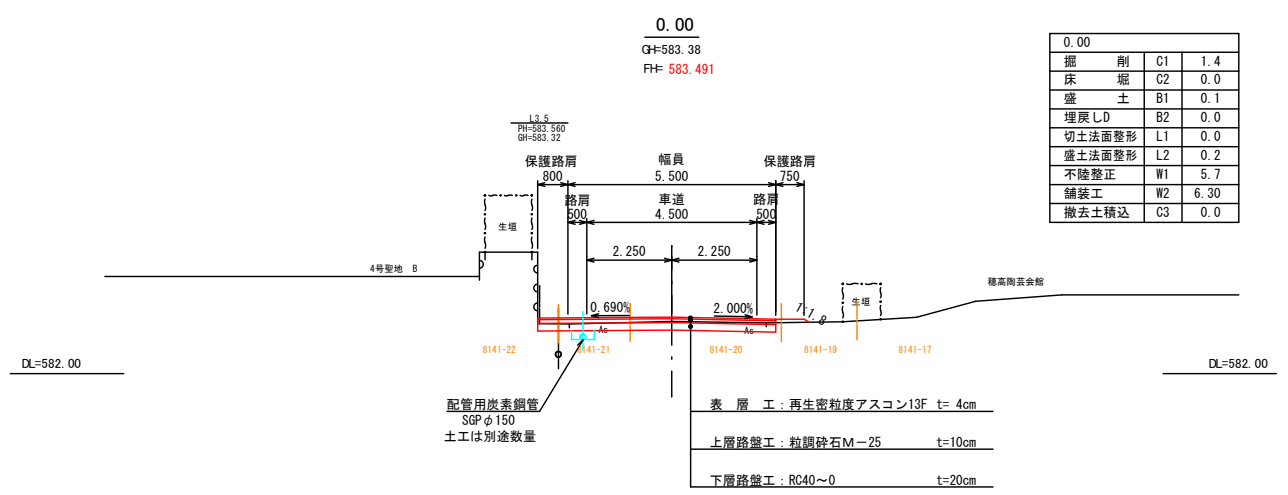
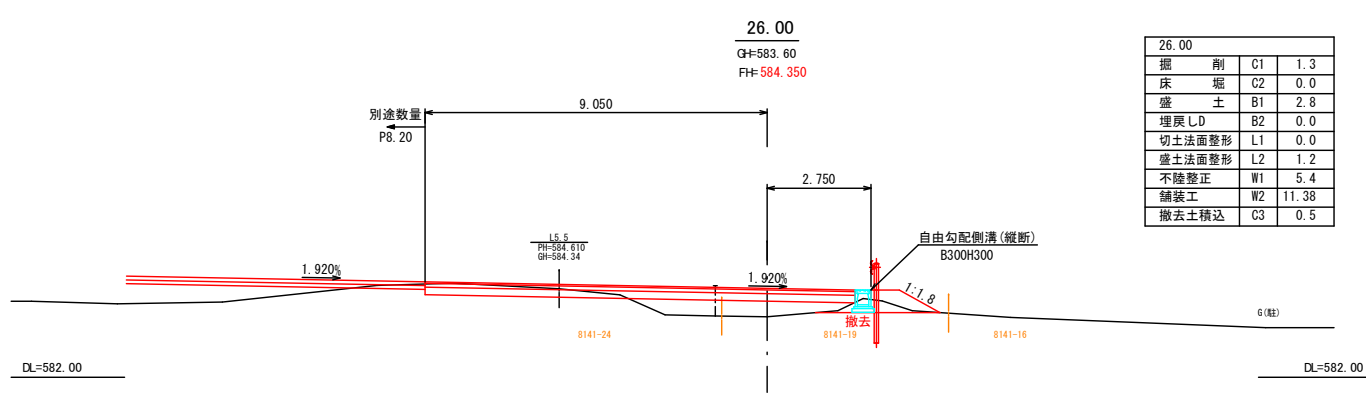
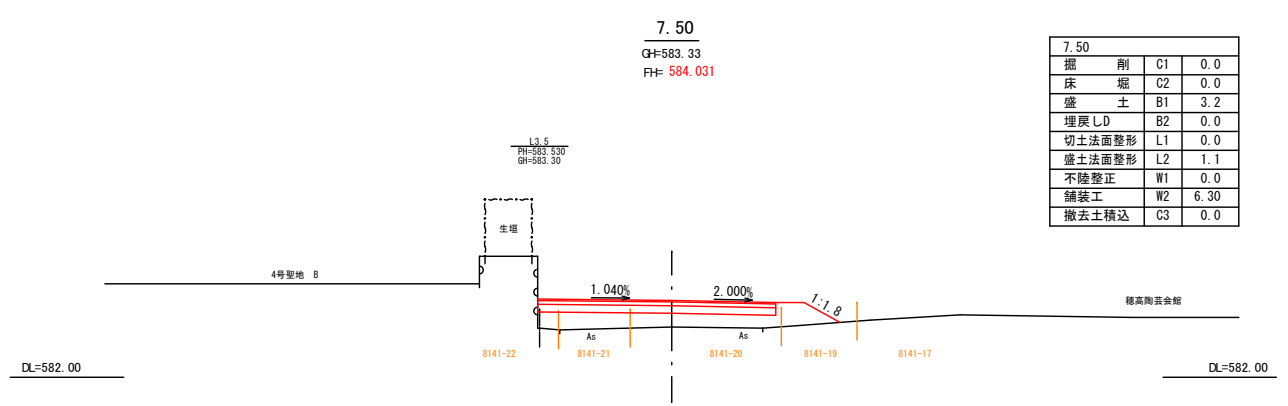
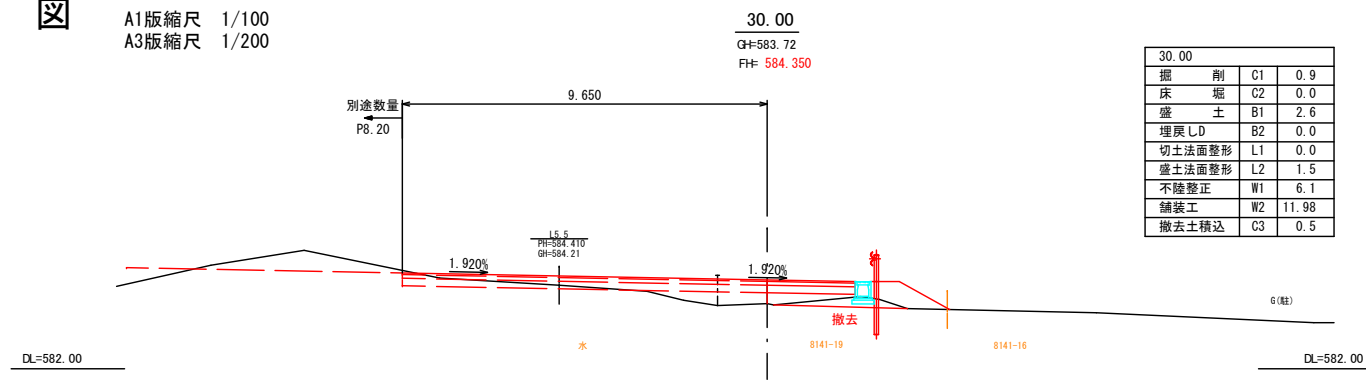
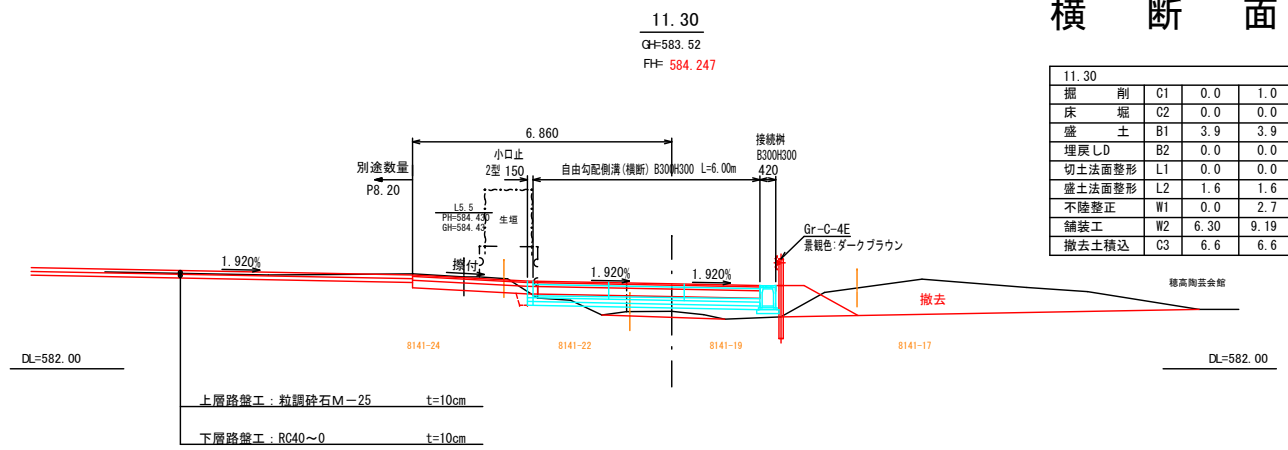
A1版縮尺 1/50
A3版縮尺 1/100



令和8年度 合葬墓2号基建設工事			
番号	1/7	平面・縦・横断面図	縮尺 図示
穂高墓地公園			
安曇野市 穂高			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市役所			

横断面図

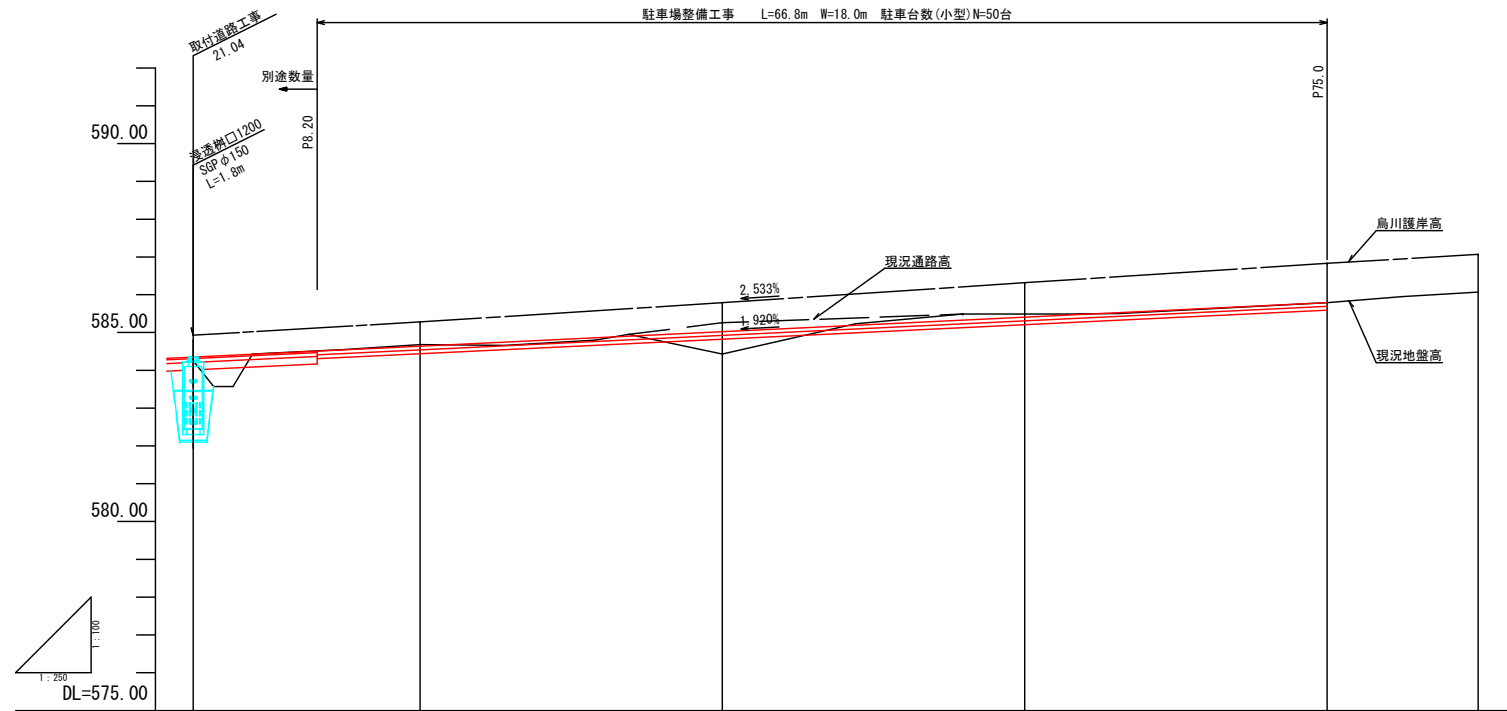
A1版縮尺 1/100
A3版縮尺 1/200



令和8年度 合葬墓2号基礎設工			
番号	2/7	横断面図	縮尺 1/100
穂高墓地公園			
安曇野市 穂高			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市役所			

駐車場縦断面図

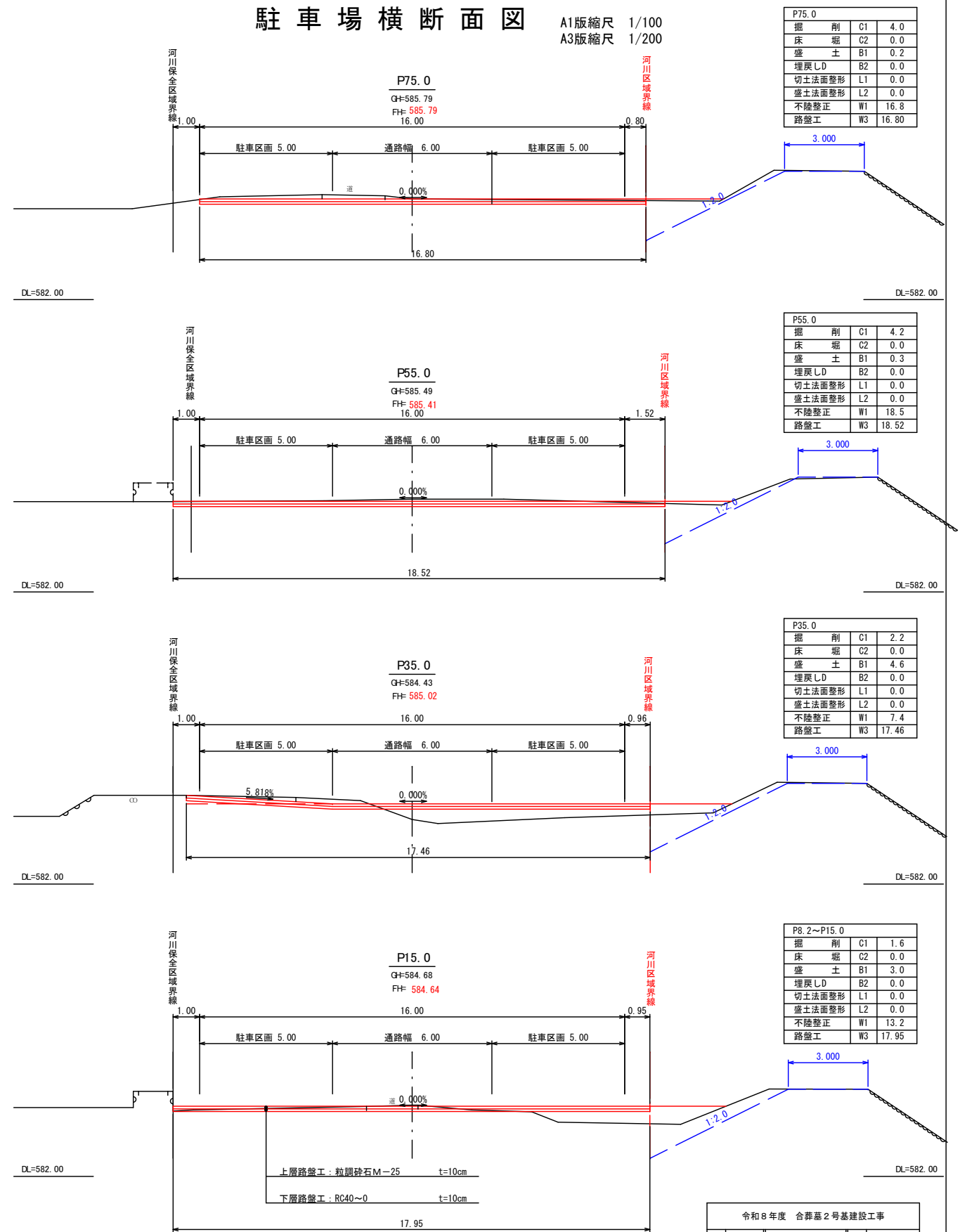
A1版縮尺 V=1/100, H=1/250
A3版縮尺 V=1/200, H=1/500



勾配						
切盛	0.10	-0.04	0.59	-0.08	0.00	
道路計画高	584.35	584.64	585.02	585.41	585.79	
地盤高	584.25	584.88	584.43	585.49	585.79	586.07
追加距離	0.00	15.00	35.00	55.00	75.00	85.00
単距離	0.00	15.00	20.00	20.00	20.00	10.00
測点	P0.0	P15.0	P35.0	P55.0	P75.0	+10.0

駐車場横断面図

A1版縮尺 1/100
A3版縮尺 1/200



P75.0			
掘削	C1	4.0	
床堀	C2	0.0	
盛土	B1	0.2	
埋戻LD	B2	0.0	
切土法面整形	L1	0.0	
盛土法面整形	L2	0.0	
不陸整正	W1	16.8	
路盤工	W3	16.80	

P55.0			
掘削	C1	4.2	
床堀	C2	0.0	
盛土	B1	0.3	
埋戻LD	B2	0.0	
切土法面整形	L1	0.0	
盛土法面整形	L2	0.0	
不陸整正	W1	18.5	
路盤工	W3	18.52	

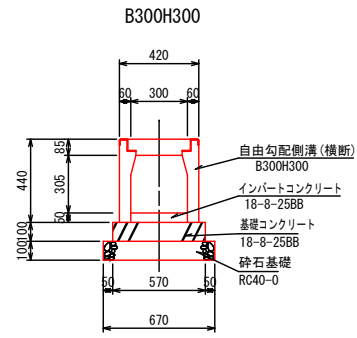
P35.0			
掘削	C1	2.2	
床堀	C2	0.0	
盛土	B1	4.6	
埋戻LD	B2	0.0	
切土法面整形	L1	0.0	
盛土法面整形	L2	0.0	
不陸整正	W1	7.4	
路盤工	W3	17.46	

P8.2~P15.0			
掘削	C1	1.6	
床堀	C2	0.0	
盛土	B1	3.0	
埋戻LD	B2	0.0	
切土法面整形	L1	0.0	
盛土法面整形	L2	0.0	
不陸整正	W1	13.2	
路盤工	W3	17.95	

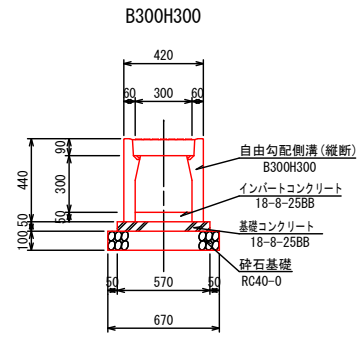
令和8年度 合葬墓2号基建設工事			
番号	3/7	駐車場縦・横断面図	縮尺 図示
穂高墓地公園			
安曇野市 穂高			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市役所			

構造物詳細図1 縮尺 1/20

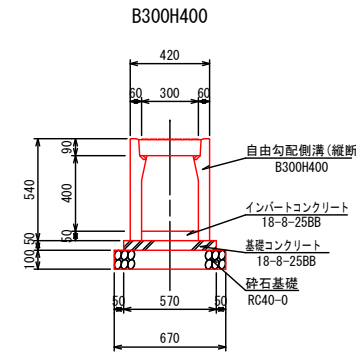
自由勾配側溝 (横断)



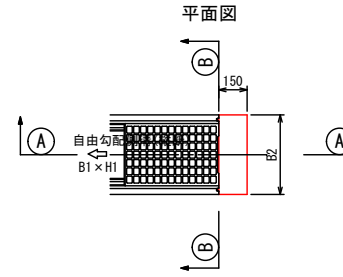
自由勾配側溝 (縦断)



自由勾配側溝 (縦断)



小口止 1.2型



名称	寸法 (mm)					材料 (10個所当り)		
	B1	B2	B3	H1	H2	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
1型	300	420	670	300	490	0.31	4.4	1.3
2型	300	420	670	300	540	0.34	4.8	1.3

※寸法及び数量は、いずれも参考値です。

自由勾配側溝 (横断) B300H300 材料表 (10m当り)

種別	規格	単位	数量	計算式
自由勾配側溝 (横断)	B300H300L2000 参考重量 338kg	個	5	10.00 ÷ 2.00
インバートコンクリート	18-8-25BB	m ³	0.15	0.30X0.05X10.0
基礎コンクリート	18-8-25BB	m ³	0.57	0.57X0.10X10.0
型枠		m ²	2.0	0.10X2X10.0
基礎材	RC40-0 t=100mm	m ²	6.7	0.67X10.0
		m ²	0.67	0.67X0.10X10.0

自由勾配側溝 (縦断) B300H300 材料表 (10m当り)

種別	規格	単位	数量	計算式
自由勾配側溝 (縦断)	B300H300L2000 参考重量 312kg	個	5	10.00 ÷ 2.00
インバートコンクリート	18-8-25BB	m ³	0.15	0.30X0.05X10.0
基礎コンクリート	18-8-25BB	m ³	0.285	0.57X0.05X10.0
型枠		m ²	1.0	0.05X2X10.0
基礎材	RC40-0 t=100mm	m ²	6.7	0.67X10.0
		m ²	0.67	0.67X0.10X10.0

自由勾配側溝 (縦断) B300H400 材料表 (10m当り)

種別	規格	単位	数量	計算式
自由勾配側溝 (縦断)	B300H400L2000 参考重量 365kg	個	5	10.00 ÷ 2.00
インバートコンクリート	18-8-25BB	m ³	0.15	0.30X0.05X10.0
基礎コンクリート	18-8-25BB	m ³	0.285	0.57X0.05X10.0
型枠		m ²	1.0	0.05X2X10.0
基礎材	RC40-0 t=100mm	m ²	6.7	0.67X10.0
		m ²	0.67	0.67X0.10X10.0

※寸法及び数量は、いずれも参考値です。

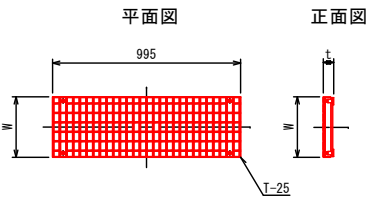
※寸法及び数量は、いずれも参考値です。

※寸法及び数量は、いずれも参考値です。

ボルト固定式グレーティング・並目 (L=995)

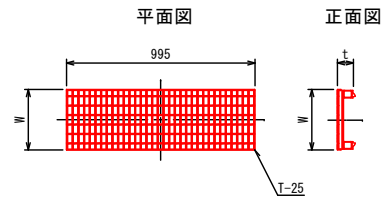
グレーティング・並目 (L=995)

甲蓋 (L=500)



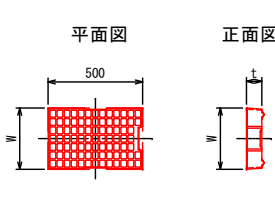
規格	W (mm)	t (mm)	重量 (kg)
300用	320	50	25

※寸法及び数量は、いずれも参考値です。



規格	W (mm)	t (mm)	重量 (kg)
300用	320	80	28

※寸法及び数量は、いずれも参考値です。



規格	W (mm)	t (mm)	重量 (kg)
300用	324	82	32

※寸法及び数量は、いずれも参考値です。

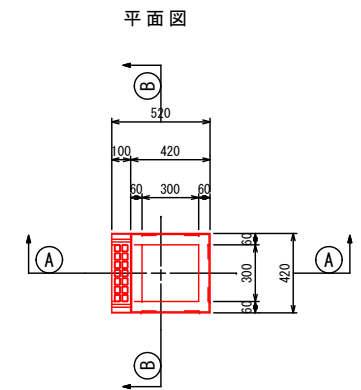
自由勾配側溝 (接続樹)

B300H300

自由勾配側溝 (接続樹)

B300H400

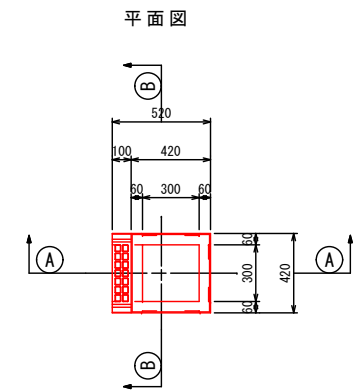
樹蓋・ボルト固定式グレーティング



自由勾配側溝 (接続樹) B300H300 材料表 (1基当り)

種別	規格	単位	数量	計算式
自由勾配側溝 (接続樹)	B300H300 参考重量 103kg	個	1	
インバートコンクリート	18-8-25BB	m ³	0.007	0.30X0.05X(0.10+0.06+0.30)
基礎コンクリート	18-8-25BB	m ³	0.018	0.62X0.57X0.05
型枠		m ²	0.12	(0.62+0.57)X2X0.05
基礎材	RC40-0 t=100mm	m ²	0.48	0.72X0.67
		m ³	0.05	0.72X0.67X0.10

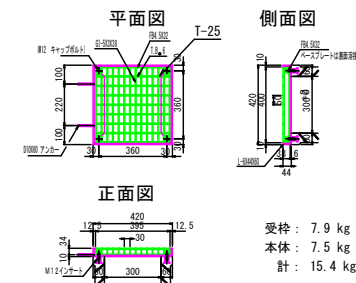
※寸法及び数量は、いずれも参考値です。



自由勾配側溝 (接続樹) B300H400 材料表 (1基当り)

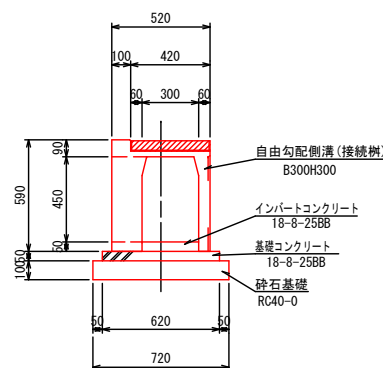
種別	規格	単位	数量	計算式
自由勾配側溝 (接続樹)	B300H400 参考重量 118kg	個	1	
インバートコンクリート	18-8-25BB	m ³	0.007	0.30X0.05X(0.10+0.06+0.30)
基礎コンクリート	18-8-25BB	m ³	0.018	0.62X0.57X0.05
型枠		m ²	0.12	(0.62+0.57)X2X0.05
基礎材	RC40-0 t=100mm	m ²	0.48	0.72X0.67
		m ³	0.05	0.72X0.67X0.10

注) 基礎工の寸法及び数量は、いずれも参考値です。

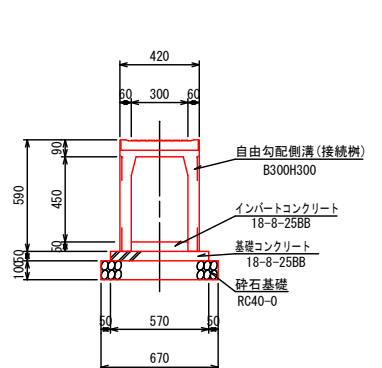


受枠: 7.9 kg
本体: 7.5 kg
計: 15.4 kg

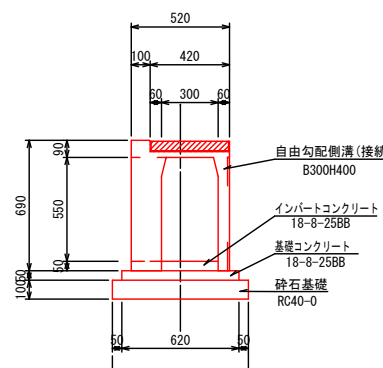
A-A断面図



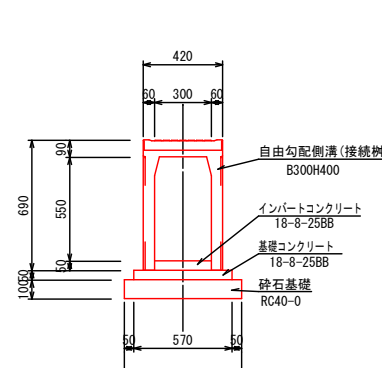
B-B断面図



A-A断面図



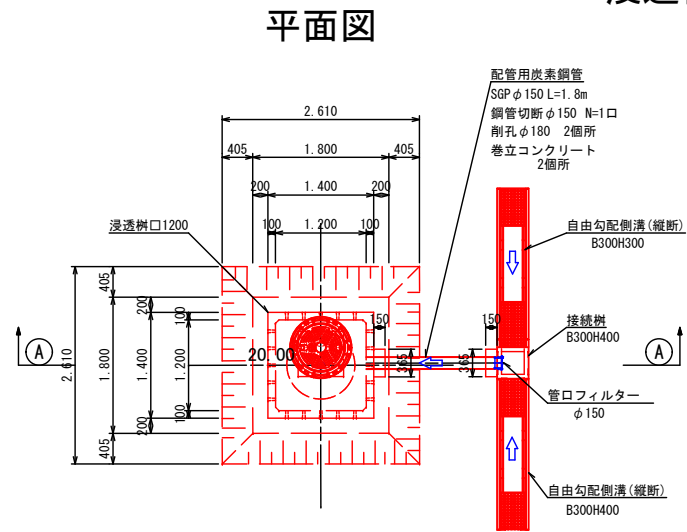
B-B断面図



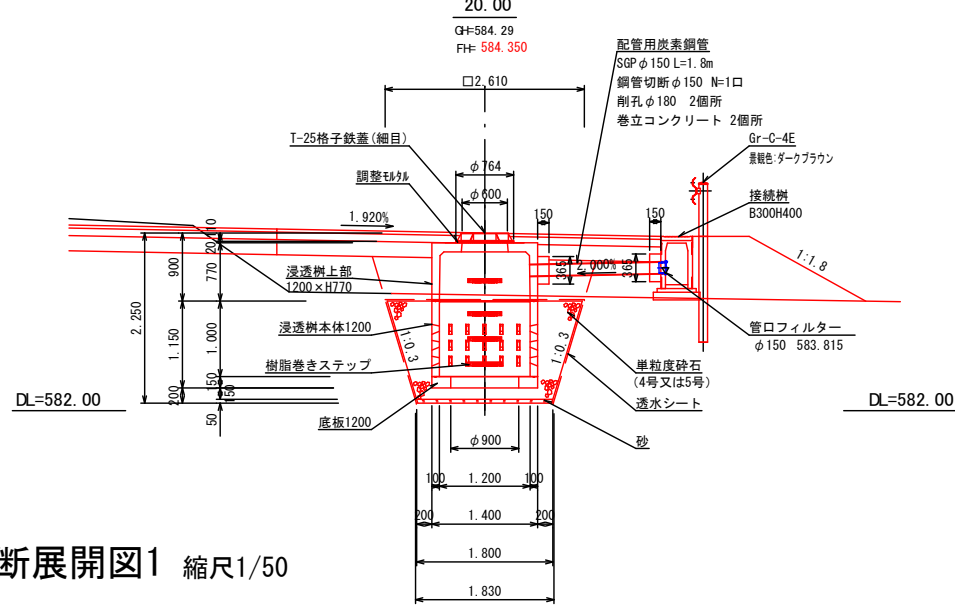
令和8年度 合葬墓2号基礎工工事			
番号	4/7	構造物詳細図1	縮尺 1/20
穂高墓地公園			
安曇野市 穂高			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市役所			

構造物詳細図2

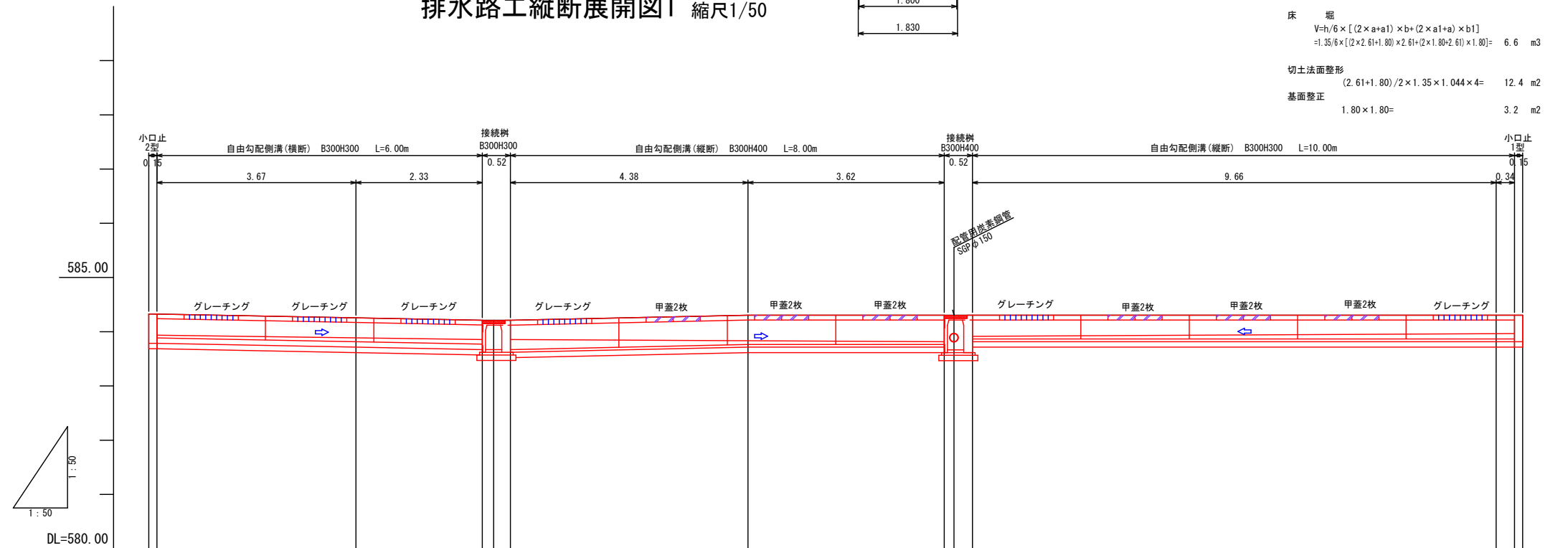
浸透柵口1200詳細図 縮尺1/50



A-A断面図



排水路工縦断展開図1 縮尺1/50

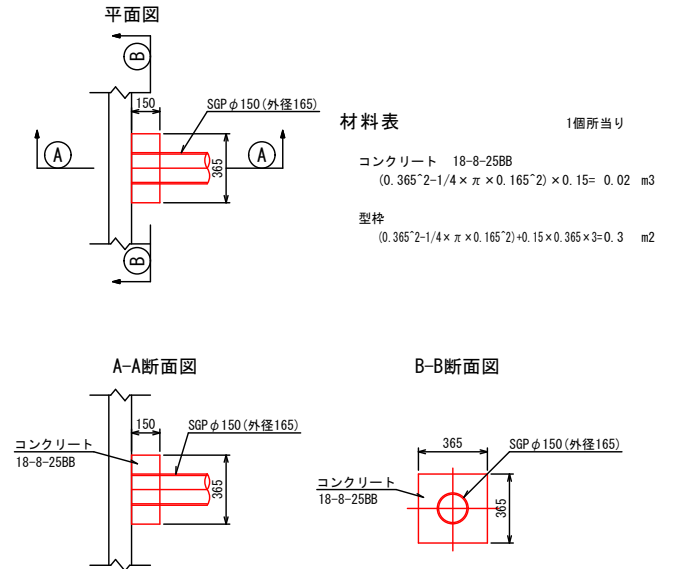


勾配	調整コンクリート高	計画水路高	計画水路天端高	追加距離	単距離	測点
$H=0.090m$ $L=1.337m$ $L=6.00m$	0.050	583.935	584.325 584.325	5.15 5.30	0.00 0.15	P11.51Q.8 P11.51Q.7
$H=0.040m$ $L=1.500m$ $L=8.00m$	0.071	583.886	584.255	8.97	3.67	P11.51Q.1
$H=0.040m$ $L=1.500m$ $L=8.00m$	0.085 0.185	583.855 583.855	584.210 584.210	11.30 11.51 11.82	2.33 0.21 0.31	P11.51Q.3 P11.51Q.4 P11.82R
$H=0.040m$ $L=1.500m$ $L=8.00m$	0.068	583.833	584.305	16.20	4.38	P16.20R
$H=0.050m$ $L=0.500m$ $L=10.00m$	0.050 0.050	583.815 583.915	584.305 584.305	19.82 20.00 20.34	3.62 0.18 0.34	P19.82R P20.00R P20.34R
$H=0.050m$ $L=0.500m$ $L=10.00m$	0.098 0.100	583.963 583.965	584.305 584.305	30.00 30.34 30.49	9.66 0.34 0.15	P30.00 P30.34 P30.49

材料表 浸透柵口1200 1個所当り

マンホール蓋	T-25格子鉄蓋(細目)	1	組
調整砂	$1/4 \times \pi \times (0.764^2 - 0.60^2) \times 0.02 =$	0.004	m ³
浸透柵上部	1200×H770	994kg	1 基
浸透柵本体	1200×H1000	250kg	1 基
底板	1200×t150	497kg	1 基
樹脂巻きステップ			4 本
透水シート	$(2.61+1.80)/2 \times 1.35 \times 1.044 \times 4 =$ $2.61 \times 2.61 - 1.40 \times 1.40 =$	12.4 4.9	計 17.3 m ²
単粒度碎石 (4号又は5号)	$V=h/6 \times [(2 \times a+a1) \times b + (2 \times a1+a) \times b1]$ $=1.30/6 \times [(2 \times 2.61+1.83) \times 2.61 + (2 \times 1.83+2.61) \times 1.83] =$ 控除 $1.40 \times 1.40 \times 1.15 =$	6.47 2.25	4.22 m ³
砂	$V=h/6 \times [(2 \times a+a1) \times b + (2 \times a1+a) \times b1]$ $=0.05/6 \times [(2 \times 1.83+1.80) \times 1.83 + (2 \times 1.80+1.83) \times 1.80] =$	0.16	m ³
配管用炭素鋼管	SGP φ150	1.8	m
管口フィルター	φ150	1	個
削孔φ180		2	箇所
巻立コンクリート		2	箇所
床 礎	$V=h/6 \times [(2 \times a+a1) \times b + (2 \times a1+a) \times b1]$ $=1.35/6 \times [(2 \times 2.61+1.80) \times 2.61 + (2 \times 1.80+2.61) \times 1.80] =$	6.6	m ³
切土法面整形	$(2.61+1.80)/2 \times 1.35 \times 1.044 \times 4 =$	12.4	m ²
基面整正	$1.80 \times 1.80 =$	3.2	m ²

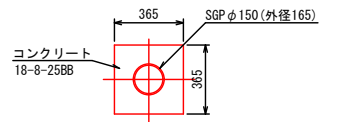
巻立コンクリート 縮尺1/20



材料表 1個所当り

コンクリート	18-8-25B8	$(0.365^2 - 1/4 \times \pi \times 0.165^2) \times 0.15 =$	0.02 m ³
型枠	$(0.365^2 - 1/4 \times \pi \times 0.165^2) \times 0.15 \times 0.365 \times 3 = 0.3$		m ²

B-B断面図

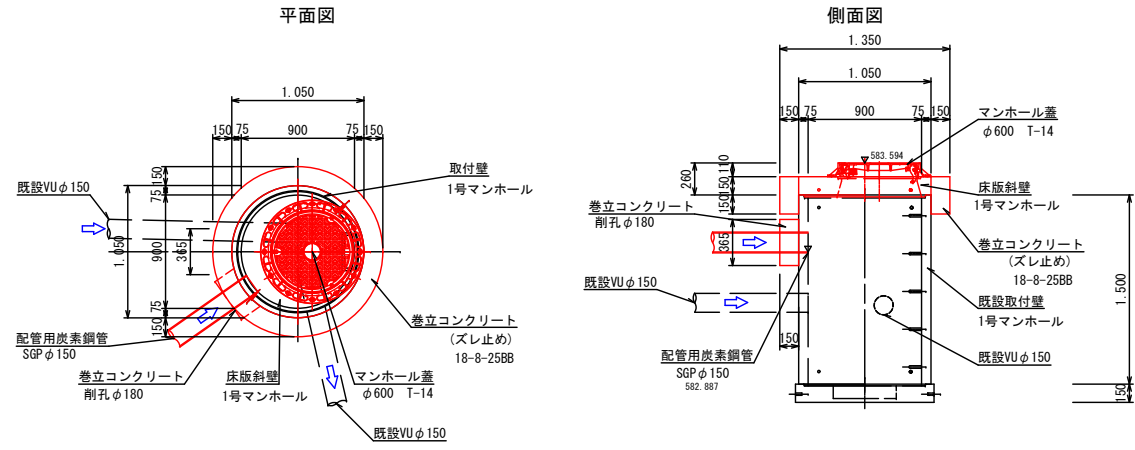


令和8年度 合葬墓2号基建設工事			
番号	5/7	構造物詳細図2	縮尺 図示
穂高墓地公園			
安曇野市 穂高			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市役所			

床版蓋設置工 縮尺1/30

構造物詳細図3

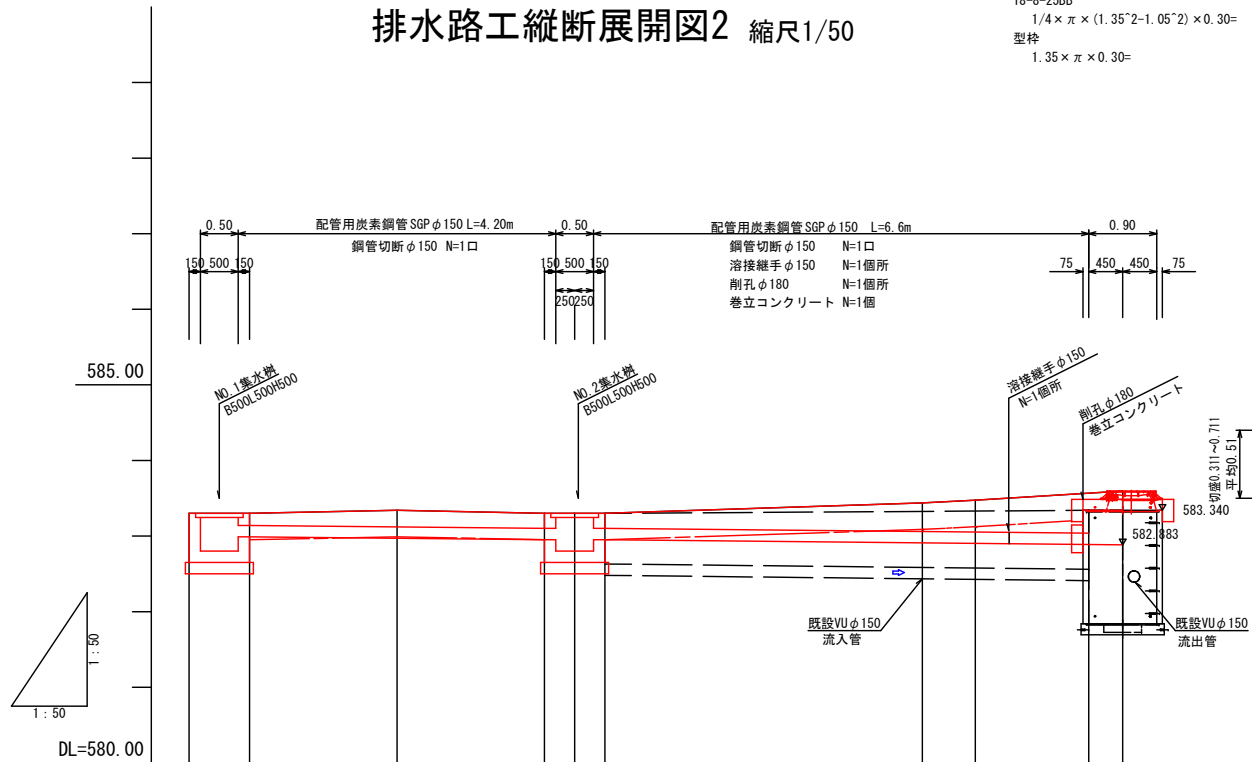
集水柵詳細図 縮尺1/30



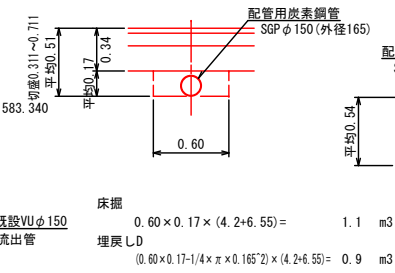
材料表 1個所当り

マンホール蓋 φ600 T-14	67kg	1組
床版斜壁 1号マンホール	219kg	1個
巻立コンクリート 18-8-25BB	$1/4 \times \pi \times (1.35^2 - 1.05^2) \times 0.30 =$	0.17 m ³
型枠	$1.35 \times \pi \times 0.30 =$	1.3 m ²

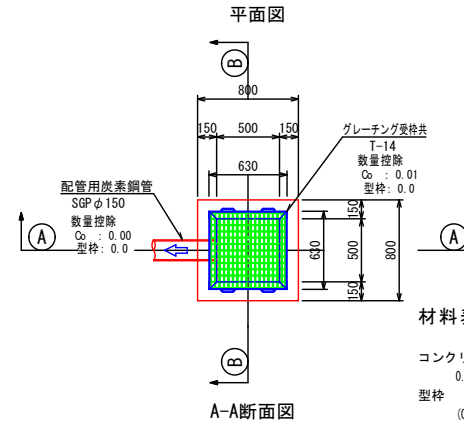
排水路工縦断展開図2 縮尺1/50



配管用炭素鋼管土工 SGPφ150



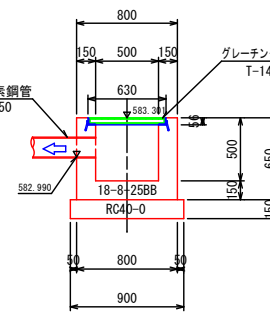
NO.1集水柵 B500L500H500



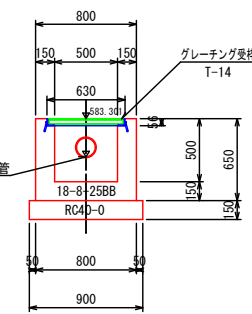
材料表 B500L500H500

コンクリート (18-8-25BB)	$0.80 \times 0.80 \times 0.65 - 0.50 \times 0.50 \times 0.50 - (0.01 + 0.00) =$	0.28 m ³
型枠	$(0.80 + 0.50) \times 4 \times 0.65 - (0.0 + 0.0) =$	3.4 m ²
基礎砕石 (RC-40) t=15cm	$0.90 \times 0.90 =$	0.8 m ²
グレーチング受枠共 T-14 落とし込み式	38.9kg/組	1組

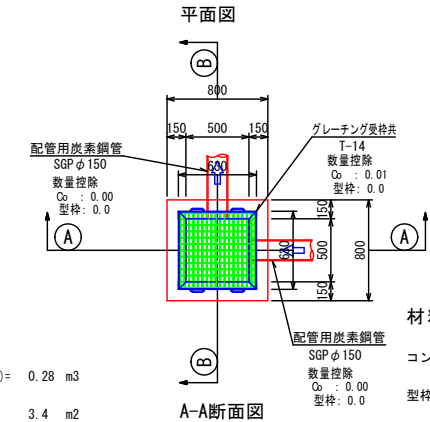
A-A断面図



B-B断面図



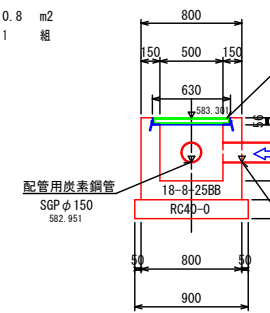
NO.2集水柵 B500L500H500



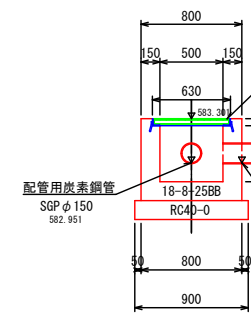
材料表 B500L500H500

コンクリート (18-8-25BB)	$0.80 \times 0.80 \times 0.65 - 0.50 \times 0.50 \times 0.50 - (0.01 + 0.00 + 0.00) =$	0.28 m ³
型枠	$(0.80 + 0.50) \times 4 \times 0.65 - (0.0 + 0.0 + 0.0) =$	3.4 m ²
基礎砕石 (RC-40) t=15cm	$0.90 \times 0.90 =$	0.8 m ²
グレーチング受枠共 T-14 落とし込み式	38.9kg/組	1組

A-A断面図



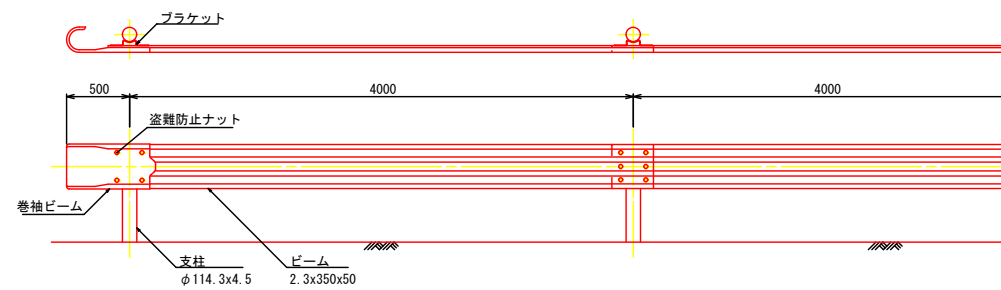
B-B断面図



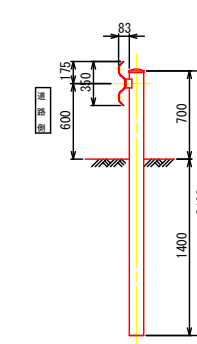
ガードレール 縮尺1/30

Gr-C-4E (景観色: ダークブラウン)

組立図



断面図

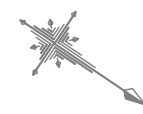
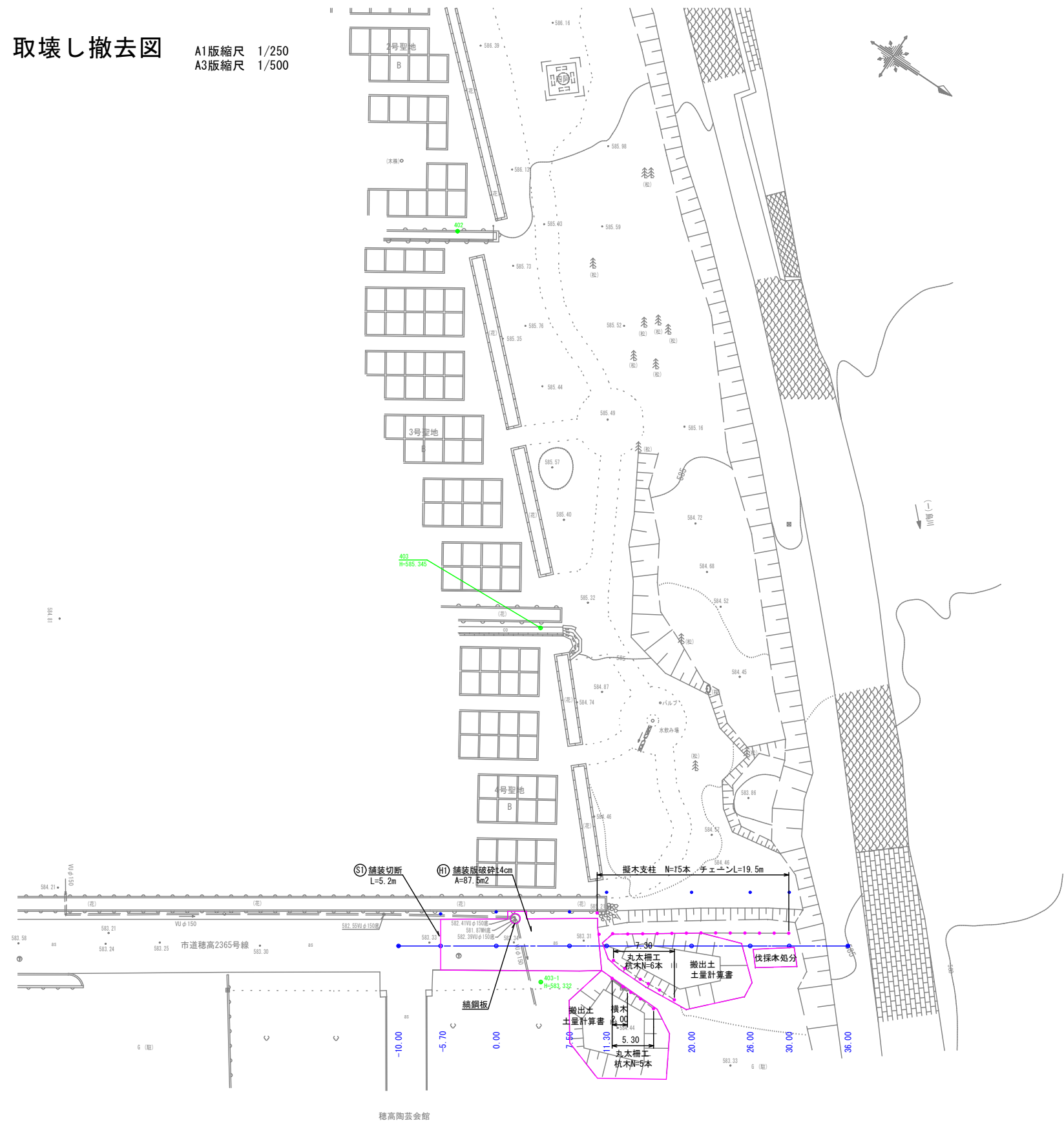


勾配	H=-0.030m L=1.00m L=3.90m		H=-0.060m L=1.00m L=3.80m	
配	582.990	582.971	582.951	582.883
切盛	-0.311	-0.369	-0.350	-0.707
計画水路高	582.990	582.971	582.951	582.883
計画水路天端高	583.301	583.340	583.301	583.594
追加距離	0.00	2.75	5.10	12.35
単距離	0.00	1.95	0.40	0.45
測点	-5.302.75	-5.302.95	-5.302.35	-4.902.35

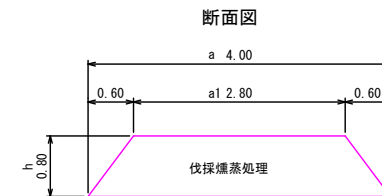
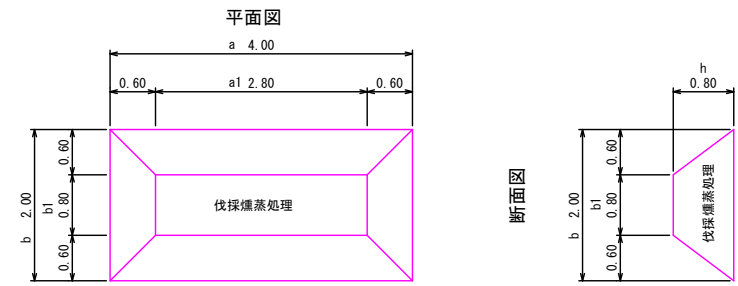
令和8年度 合葬墓2号基建設工事			
番号	6/7	構造物詳細図3	縮尺 図示
穂高墓地公園			
安曇野市 穂高			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市役所			

取壊し撤去図

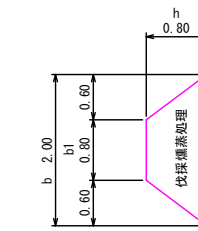
A1版縮尺 1/250
A3版縮尺 1/500



伐採木処分 縮尺1/50



断面図

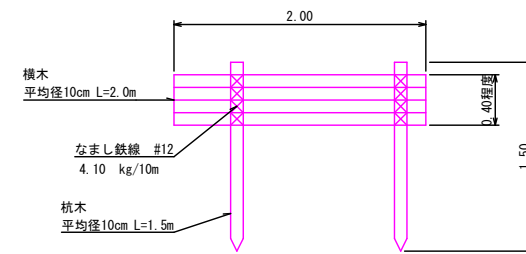


$$V = h/6 \times [(2 \times a + a1) \times b + (2 \times a1 + a) \times b1]$$

$$= 0.8/6 \times [(2 \times 4.0 + 2.8) \times 2.0 + (2 \times 2.8 + 4.0) \times 0.8]$$

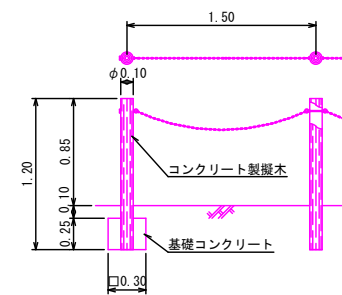
$$V = 3.90 \text{ m}^3$$

丸太柵工 縮尺1/30



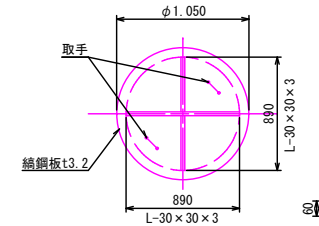
横木 平均径10cm L=2.0m	4本	
$1/4 \times \pi \times 0.10^2 \times 2.00 \times 4 =$	0.06	m ³
杭木 平均径10cm L=1.5m	5+6=11本	
$1/4 \times \pi \times 0.10^2 \times 1.50 \times 11 =$	0.13	m ³
なまし鉄線 #12 4.10 kg/10m	5.3+7.3=12.6m	
$4.10/10.0 \times 12.6 =$	5.2	kg

擬木支柱 縮尺1/30



2次製品(鉄筋) コンクリート製擬木	15本	
$1/4 \times \pi \times 0.10^2 \times 1.20 \times 15 =$	0.14	m ³
無筋 基礎コンクリート	15本	
$(0.30 \times 0.30 - 1/4 \times \pi \times 0.10^2) \times 0.25 \times 15 =$	0.31	m ³
チェーン6-B 19.5m × 0.633kg/m =	12.3	kg

縞鋼板 縮尺1/30



縞鋼板 t3.2 $1/4 \times \pi \times 1.05^2 \times 26.79 \text{ kg/m}^2 =$	23.2	
等辺山形鋼 L-30 × 30 × 3 $0.89 \times 2 \times 1.36 \text{ kg/m} =$	2.4	
取手 φ13 $2 \times 0.31 \text{ kg/m} =$	0.6	
合計	26.2	kg

$$(0.03 \times 2 + 0.06 \times 2 + 0.12) \times 1.04 \text{ kg/m} = 0.31 \text{ kg/個}$$

令和8年度 合葬墓2号基礎工工事			
番号	7/7	取壊し撤去図	縮尺 図示
穂高墓地公園			
安曇野市 穂高			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市役所			

電 気 設 備 工 事

I 工 事 概 要

1 工 事 場 所 安曇野市穂高6658

2 建 物 概 要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備 考
合葬墓2号墓	RC	1階	22.17㎡	14項	

3 工 事 種 目 (○印の付いたものを適用する。)

工事種目	項目	建物別及び屋外	
		屋 内	屋 外
電灯設備		○	
動力設備	幹線、分岐		
電熱設備	幹線		
雷保護設備			
受変電設備			
静止形電源設備	直流電源装置		
発電設備			
構内情報通信網設備	LAN用配管		
構内交換設備	電話設備		
情報表示設備	時計設備		
映像・音響設備			
拡声設備			
誘導支援設備	トイレ呼出設備		
テレビ共同受信設備			
監視カメラ設備			
駐車場管制設備			
防犯・入退室管理設備	予備配管		
自動火災報知設備			
自動閉鎖設備			
非常警報設備	非常放送装置		
ガス漏れ警報設備			
中央監視制御設備			
構内配電線路		○	
構内通信線路			
昇降機設備			

4 図 面 目 録

番号	図面名称	番号	図面名称
1	電気設備工事 特記仕様書	21	
2	配置図	22	
3	電気設備図	23	
4		24	
5		25	
6		26	
7		27	
8		28	
9		29	
10		30	
11		31	
12		32	
13		33	
14		34	
15		35	
16		36	
17		37	
18		38	
19		39	
20		40	

II 工 事 仕 様

1 共 通 仕 様

- 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和7年版)」(以下、「標準仕様書」という。),「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和7年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。),及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和7年版)」(以下、「標準工事編」という。))による。
- 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2 特 記 仕 様

特記仕様は別紙「特記仕様書(共通事項)」によるほか次の各項目による。

- 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項
① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
② 機材の品質・性能証明	使用する機材が、社団法人・公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」等によって所定の評価を受けている場合は、監督職員への機材の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。
3 化学物質を発生する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。 (1)合板、木質系フローリング、構造用パネ、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (3)接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (5)上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものを用い、原則として規制対象外のものを使用するものとする。 ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
	ホルムアルデヒドの放散量 該 当 す る 建 築 材 料
	規 制 対 象 外
	規 制 対 象
第三種	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのE0規格品 ④旧JASのF00規格品
4 電気保安技術者	電気事業法に定める自家用電気工作に係る工事においては、電気保安技術者をおき、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
5 電気工事士	契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。
⑥ 実施工程表及び施工計画書	(1)実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 (2)工程別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。
⑦ 使用材料発注先調書	使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。
⑧ 発生材の処理	(1)引渡しを要するもの ○無 ・有 () (2)引渡しを要するもの以外 ○構外搬出し、関係法令により適切に処理する。 (3)特別管理産業廃棄物 ○無 ・有 () (4)再利用又は再資源化を図るもの ・無 ○有 (・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類) ・設けない ・設ける (規 模 :) ・備品 ()
9 監督員事務所	
10 工事用仮設物	すべて請負者の負担とする。 構内に作ることが ・できる ・できない
11 足場・さん橋類	・別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。 ・本工事で設置する。 ・内部仮設足場等 (・架台足場 ・移動式足場 ・移動式室内足場 ・) ・外部仮設足場等 (・A種 ・B種 ・C種 ・D種) ・防護シート ()
⑫ 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への請求手続等に要する費用は請負者の負担とする。
⑬ 工事写真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。
⑭ しゅん工時提出物	標準仕様書及び別表による。
15 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。
⑯ 耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2005版(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)」による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 (1)設計用水平地震力 機器の重量 [kg f] に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。

項目	特記事項																																																													
	設計用標準水平地震度																																																													
	<table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">上層階、 壁上及び塔屋</td><td>機 器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td rowspan="2">中間階</td><td>水槽類 (※1)</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>機 器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="2">地下・1階</td><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水槽類 (※1)</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td></td><td>機 器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td></td><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td></td><td>水槽類 (※1)</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></tbody></table>	設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、 壁上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	中間階	水槽類 (※1)	2.0	1.5	1.5	1.0	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	地下・1階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6		機 器	1.0	0.6	0.6	0.4		防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6		水槽類 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
設置場所	機器種別			特定の施設		一般の施設																																																								
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																									
上層階、 壁上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																									
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																									
中間階	水槽類 (※1)	2.0	1.5	1.5	1.0																																																									
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																									
地下・1階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																									
	水槽類 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6																																																									
	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																									
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																									
	水槽類 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6																																																									
	(※1) 水槽類にはオイルタンク等を含む。 ◎重要機器の定義は次による。 ・受変電設備 ○・発電設備 ・直流電源設備 ・交流無停電電源装置 ・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置 ・ ◎上層階の定義は次による。 2〜6階建の場合は最上階、7〜9階建の場合は上層2階、 10〜12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。 (2)設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 (1)重要機器類は公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)8章の2節8.2.4及び10節による。 (2)上記以外の機器類は建築工事改修仕様書6章による。 (引抜き試験を ・実施す◎ ・実施しない)																																																													
① あと施工アンカー	電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通箇所の両面に写真撮影し、工事写真として提出する。 (1)EM-EFFは業外線による劣化を抑制する性能を持たせ、「ナイクイ」EM-EFF」と表記されたものを使用する。 (2)EM-UTPは JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースにJIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。																																																													
18 防火区画等の貫通処理	埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合は(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。 長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。 下記の露出配管は塗装を行う。 ・屋 外 ・屋 内 () ・種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める ・場外搬出処理 ○構内の指定場所に敷き均し																																																													
⑩ 電線・ケーブル	(1) 地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。 ・鉄製 ○コンクリート製 (2) 低圧地中配線にあっても地中線埋設標識シートを敷設する。 (3) 配管埋設幅が750mmを超える場合は、地中線埋設標識シートは2条以上敷設する。																																																													
20 予備配管	(1) 露出するプルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。 (2) 露出するプルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。																																																													
21 呼び線	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製																																																													
22 金属製電線管の塗装	プルボックス、ジョイントボックス及び機器を塗装しないプレートには、用途を明示した略稱をつける。 タンブラスイッチは適用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として適用形とする。ただし、2口の場合は様式を使用し、また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。 ・直付 (ビス止め)型上下式 (・銅合金製 ・アルミ製) とする ・直付 (ビス止め)型垂直上下式 (銅合金製) とする 本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。																																																													
⑫ 埋め戻し土	(1) 非常用照明的照度測定は設置後速やかにを行い、監督職員に報告する。 (2) 学校施設における室内照度測定 (測定教室: 個所、測定黒板面: 個所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する (1) 分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。 (2) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。 長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・照明制御システム ・変圧器 ・ () <建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器 工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。																																																													
⑭ 建設発生土の処理																																																														
⑮ ケーブル埋設票																																																														
26 プルボックス																																																														
⑰ フラッシュプレート																																																														
⑱ プレートの用途表示																																																														
⑲ 配線器具																																																														
30 フロアコンセント																																																														
31 機器への接続																																																														
32 照度測定																																																														
33 盤類																																																														
34 グリーン購入の推進																																																														
35 他工事又は他工種との取り合い																																																														
36 その他及び電子納品	保険等の各種措置及び電子納品については、別添「特記仕様書(共通事項)」による。 (長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書)																																																													

(別表) しゅん工時提出物 (・に○印の付いたものを提出する。)

個別提出物	一括提出物
① 完成図 ・原図(A1版 ケース入り) ・隔図(A1 2つ折り製本 1部) ・マイクロフィルム (Aパーチャカード貼付 台紙は黄色) ・④Dデータ	⑥ 機器完成図 ⑦ 工事写真 ⑧ 完成写真 ⑨ 工事記録 (打合せ簿、工事日誌、協議書) ⑩ 機材の試験成績書 ⑪ 施工の試験成績書 ⑫ 社内試験成績書 12 発生材処理報告書 (廃棄物処理実施書・運搬及び処理の委託契約書の写し・マニフェストの写し、フロー図)
2 設計図 ・マイクロフィルム (Aパーチャカード貼付 台紙は青色)	⑬ 納入品一覧表 14 官公署手続、検査書(管理者用正本、写し) 15 保金に関する資料(取扱い説明書も含む)
④ 引渡書 ④ 納入品 ・予備品 ○ハンドホールフック、ジャッキ ・盤類の鍵 ・発電機のキー	

3 ハンドホール

下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)
ブロックハンドホールの注法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。
○コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。
◎ブロックの仕様は国土交通省仕様に準ずるものとする。

ハンドホール No.-	1,500×1,500×1,500 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1,740以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.-	1,200×1,200×1,500 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1,700以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.-	1,000×1,000×1,400 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1,600以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.-	1,000×1,000×1,100 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1,300以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.-	1,000×1,000×900 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1,060以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.-	900×900×1,100 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1,260以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.-	900×900×900 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1,060以上 (既製足場付)
ハンドホール No.-	600×600×680 蓋 WPM-60A (エマーク入)	(既製足場付)
ハンドホール No.-	450×450×680 蓋 WPM-45B (エマーク入)	※植栽帯等車両の通行の恐れがない場所、 取巻ケーブルが少ない場所に限る

4 接 地 極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

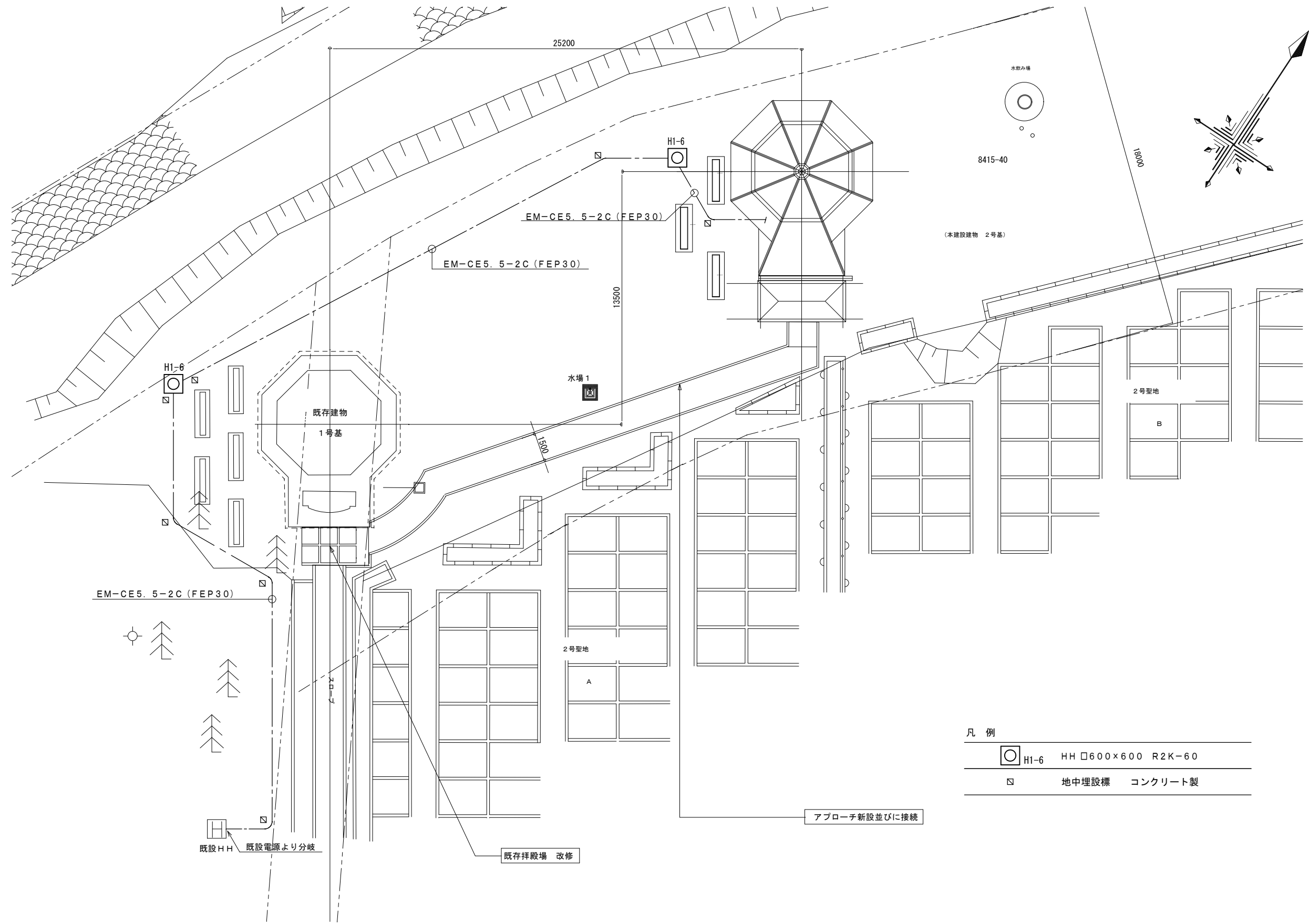
A種接地	銅板1.5t×900×900 リード端子付 堀削埋戻中心深さ2m	補助接地棒 (連結式10φ×1,500) 埋設標(黄銅製又はステンレス製)
B種接地	銅板1.5t×600×600 リード端子付 堀削埋戻中心深さ2m	補助接地棒 (連結式10φ×1,500) 埋設標(黄銅製又はステンレス製)
C種接地	銅板1.5t×300×300 リード端子付 堀削埋戻中心深さ1.5m	補助接地棒 (連結式10φ×1,500) 埋設標(黄銅製又はステンレス製)
D種接地	接地棒(10φ×1,500)	リード端子付 打ち込み式 埋設標(黄銅製又はステンレス製)

5 機 器 取 付 高

図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

名称	測 点	取付高(mm)	名 称	測 点	取付高(mm)				
共 通	取引用計器 引込開閉器 警報盤	地上~上端 床下~上端 床下~中心	2,000 1,800 1,500	時計 子時計 壁掛形スピーカ アッテネーター	床下~中心 " " " "	1,500 (上端1,900以下) (天井高)×0.9 (天井高)×0.9 1,300			
	電	分電盤	床下~中心 (上端1,900以下)	1,500	表示盤 壁付発信器 ベル ブザー 押ボタン " (身障者用押釦) 身障者用表示灯 復帰ボタン	床下~中心 " " " " " " " " " "	(天井高)×0.9 1,300 (天井高)×0.9 (天井高)×0.9 1,300 900 2,000 1,800		
		タンブラスイッチ " (身障者用) コンセント(一般) " (和室) " (便所等) " (台上) ブラケット(一般) " (語場)	" " " " " " " " " " " " " "	1,300 1,100 300 150 500 150 2,100 2,500	イン ター ホ ン	床下~中心 " " " " " "	1,500 1,100		
		壁掛形制御盤	床下~中心 (上端1,900以下)	1,500	壁付インターホン " (身障者用) 壁付インターホンを除く " (一般) " (和室)	床下~中心 " " " "	1,500 1,100 300 150		
		動力	手元開閉器 操作スイッチ 押ボタン	" " " " " "	1,500 1,300	テ レ ビ 共 同 受 信	機器収容箱 アウトレット " (一般) " (和室)	床下~中心 " " " "	(天井高)×0.9 300 150
		電	室内端子盤 (廊下・室内) 中間端子盤 (EPS・電気室) 集合保安装置 壁付アウトレット ボックス(一般) " (和室)	床下~下端 " " 床下~中心 " " " "	300 1,500 (天井高)×0.9 300 150	火 災 報 知	受信機 副受信機 機器収容箱 発信器 ベル 消火栓表示灯	床下~操作部 " " 床下~中心 " " " " " "	800~1,500 800~1,500 800~1,500 800~1,500 (天井高)×0.9 (天井高)×0.8

項目	2026.01	令和8年度 合葬墓2号建設工事	E-01
		電気設備工事 特記仕様書	



凡例

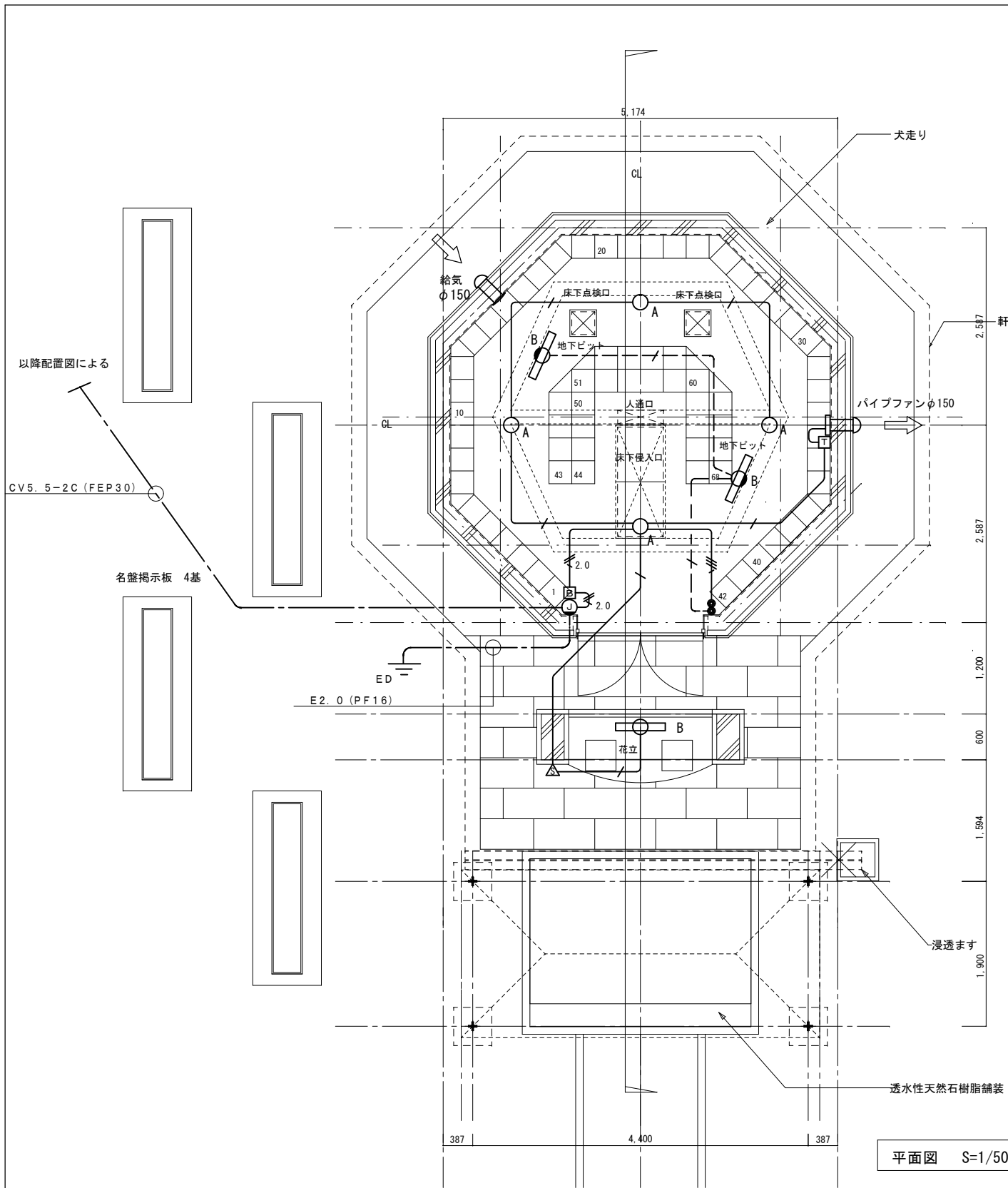
- HI-6 HH □600×600 R2K-60
- 地中埋設標 コンクリート製

既設HH 既設電源より分岐

既存拝殿場 改修

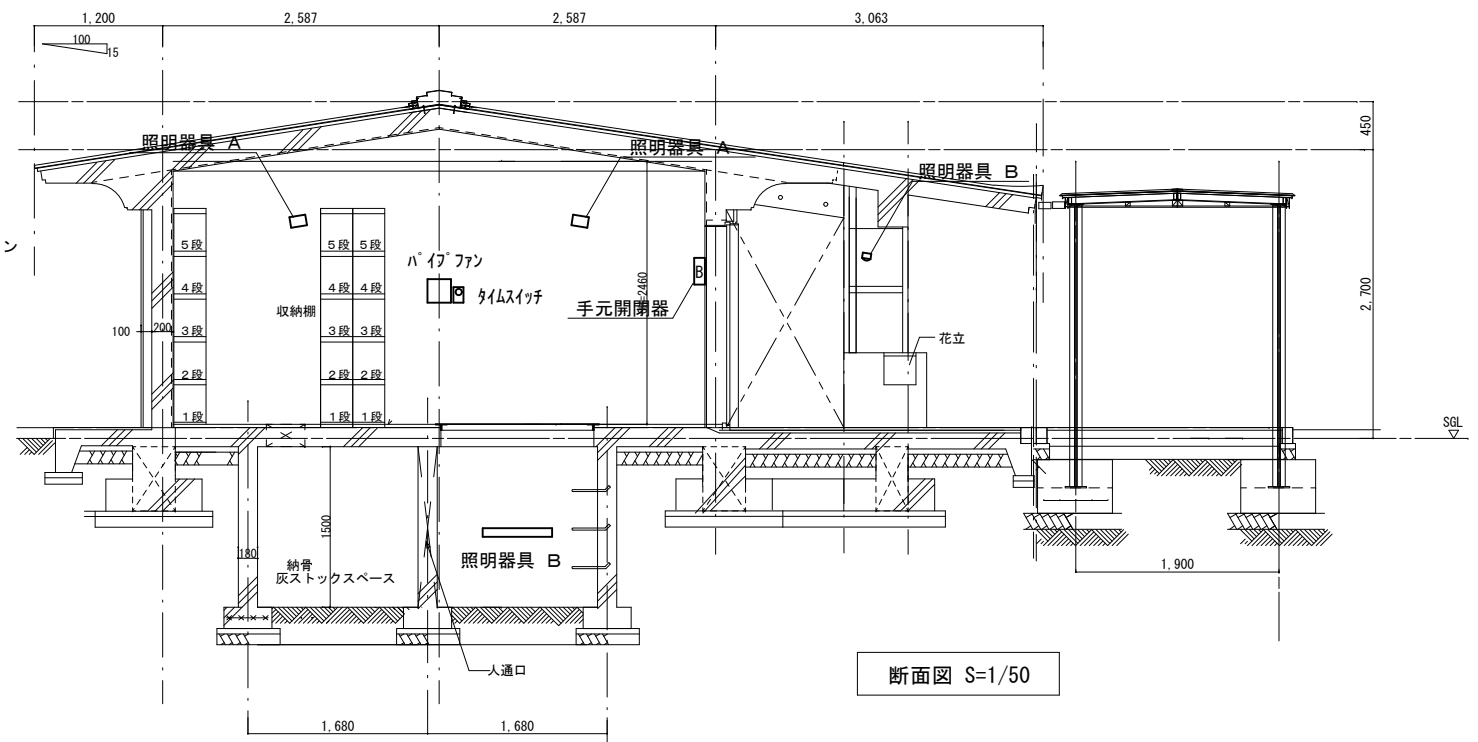
アプローチ新設並びに接続

			2026.01	A2 : 1/150	令和8年度 合葬墓2号基建設工事	E-02
					配置図	



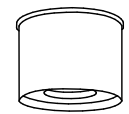

平面図 S=1/50

特記無き配管配線は下記による。
 / EM-1E 1.6×2 E1.6 (PF16) コンクリート打込み
 // EM-1E 1.6×3 E1.6 (PF16) コンクリート打込み
 - - EM-1E 1.6×2 E1.6 (PF16) コンクリート打込み
 / 2.0 EM-1E 2.0×2 E1.6 (PF16) コンクリート打込み



断面図 S=1/50

照明器具表

A	シーリングライト 軒下用100形	B	直付トラフ 防湿型20形
 <p>LEDソケット別売 電圧100~242V 本体:アルミダイカスト(ブラックつや消し仕上) パネル:アクリル(透明つや消し) 天井面取付専用</p> <p>参考: NNN54540B 相当品</p>		 <p>一般タイプ、1600lmタイプ 消費電力11.6W、定格出力型、電圧100~242V 本体:亜鉛鋼板(クロムフリー・高反射白色粉体塗装) 防湿型・防雨型ライトカバー:ポリカーボネート(乳白) IP23防湿型、昼白色(5000K)、Ra83</p> <p>参考: 直付XLW212NENZLE9 相当品</p>	

電気機器表

記号	名称	参考品番等
□	手元開閉器 LB2P20A	PEB60E 相当品
□	換気扇用タイムスイッチ 4時間式	TB311K 相当品
△	人感センサー 屋外壁取付用	WTK3481 相当品
Ⓜ	換気扇 パイプファン+丸形フード (SUS、防虫網付)	V-12PED7 相当品 + P-18FSQ5 相当品
Ⓜ	丸形給気グリル+丸形フード (SUS、防虫網付)	P-18GLC4 相当品 + P-18FSQ5 相当品

2026.01

A2: 1/150

令和8年度 合葬墓2号基建設工事

電気設備図